

「第6期岩見沢市総合計画」の
基本施策等に関する市民意識調査

令和3年(2021年)10月実施

結果報告書

令和4年5月

岩見沢市

目 次

1 調査の概要	
(1)調査の目的	1
(2)調査設計	1
(3)調査項目	1
(4)配布・回収状況	1
(5)調査結果の見方	2
(6)その他	2
2 調査結果	
問 1: あなた(回答者)のことについてうかがいます。	3
問 2: あなたは、岩見沢市は暮らしやすいまちだと思いますか。	7
問 3: あなたは、これからも岩見沢市に住み続けたいと思いますか。	7
問 4: あなたは、進学・就職・結婚・出産・定年・退職・病気や事故など、人生の 転機を迎えたとき、岩見沢市から転出する必要があると思いますか。	8
問 4-1: 問 4 で「1.転出が必要だと思う」、「2.少しそう思う」と答えた方にお聞き します。転出が必要だと思う「転機」を以下の項目のあてはまるものを選 んでください。	9
問 5: あなたは、「まちづくり基本条例」をご存知ですか。	10
問 6: 雪対策についてうかがいます。	11
問 7: 第 6 期岩見沢市総合計画における基本施策についてうかがいます。 以下の項目の「現在の満足度」について、あなたの考えに一番近いもの を選んでください。	12
問 8: あなたの普段の生活や関心についてうかがいます。 以下の項目について、あなたの考えに近いものを選んでください。	15
問 9: 防災に関する意識についてうかがいます。	17
問 10: 男女共同参画についてうかがいます。	20
問 11: 市内であなたがプライベートの目的でよく訪れる場所と、その頻度につい て記入ください。	21
問 12: 最後に、市政に対するご意見、ご提案等がございましたらご記入ください。	22
3 調査分析	
(1)重要項目の相関関係	23
(2)顧客満足度分析(CS分析)	24
(3)各基本施策の満足度分析	27
(4)満足度と定住意向の関係性	60

【参考資料】

市民意識調査票

「第6期岩見沢市総合計画」の基本施策等に関する市民意識調査ご協力をお願い

1 調査の概要

(1) 調査の目的

市では、平成 30 年 3 月に策定した今後のまちづくりの指針となる「第 6 期岩見沢市総合計画」について、事業の進捗や効果について適切に評価した上で、その結果に基づいて事業の見直しや改善を図るため、「行政評価」を実施し、計画を着実に推進することとしています。

本調査は、前回（平成 30 年 11 月実施）に引き続き、「行政評価」における重要な要素となるアウトカム指標として、市の施策に関する満足度等の現状を把握し、今後の市政の参考とするために実施しました。

(2) 調査設計

- ①調査対象 : 18 歳以上の市民の中から無作為に抽出した 4,000 人
- ②調査基準日 : 令和 3 年 10 月 1 日
- ③調査期間 : 令和 3 年 10 月 15 日から令和 3 年 10 月 31 日まで
- ④調査方法 : 郵送による配布、郵送若しくはインターネット回答

(3) 調査項目

- ①回答者の基本的属性について
- ②市の暮らしやすさについて
- ③今後の定住意向について
- ④人生の転機における転出意向について 【新規】
- ⑤まちづくり基本条例の認知度について
- ⑥総合的な雪対策に対する評価等について
- ⑦総合計画の基本施策に対する満足度について
- ⑧普段の生活や関心について
- ⑨防災に関する意識について
- ⑩男女共同参画社会の認知度について 【新規】
- ⑪サードプレイス（私的行動）の傾向について 【新規】
- ⑫市政に対するご意見・ご提案等について

(4) 配布・回収状況

配布数	回収数	回収率
4,000 件	1,396 件	34.9%
3,000 件 (H30)	1,330 件 (H30)	44.3% (H30)

(5) 調査結果の見方

- ①「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比(百分率%)で表しています。
- ②図表中の「n」は回答者数を表しており、百分率%は「n」を 100%として算出しています。
- ③百分率%は、すべて小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位までの表記としているため、選択肢の割合の合計が 100%にならない場合があります。
- ④複数回答の設問では、すべての比率の合計が 100%を超えることがあります。
(問 4-1、問 6(1)、問 9(1)~(3))
- ⑤設問の中には前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、「n」が回答者総数より増減する場合があります。(問 1(7)、問 1(9)、問 4-1、問 9(4))

(6) その他

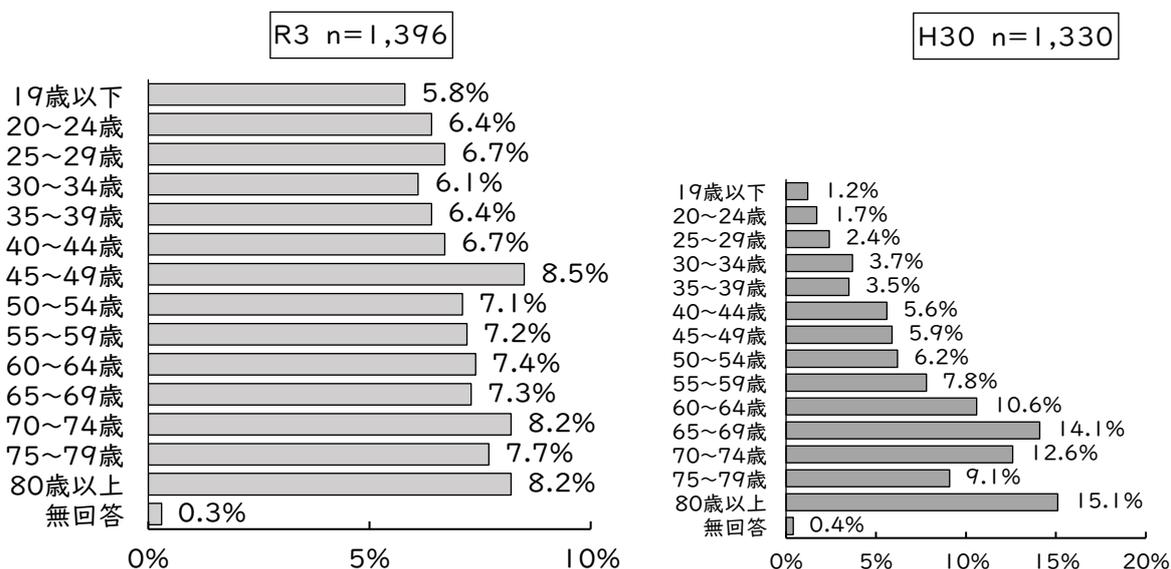
「3 調査分析」における「重要項目の相関関係」、「顧客満足度分析(CS分析)」については、北海学園大学工学部生命工学科の鈴木聡士教授に分析を依頼し、その分析結果を基に、調査結果をまとめています。

2 調査結果

問1 あなた(回答者)のことがうかがえます。

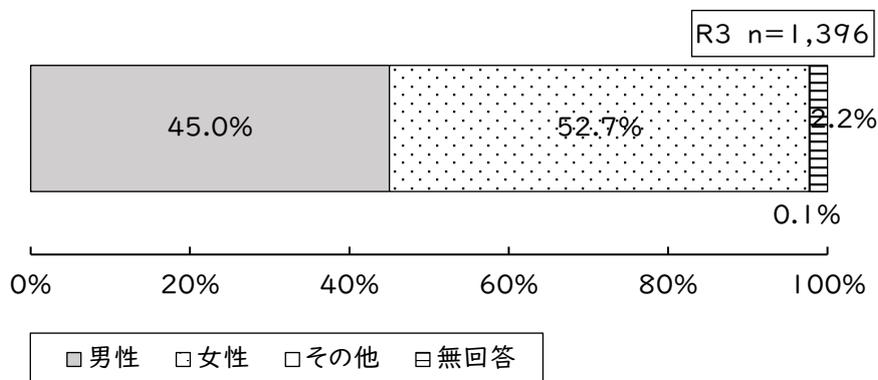
(1) 年齢

回答者の年齢は、「45～49歳以上」の割合が8.5%で最も高く、次いで「70～74歳」、「80歳以上」(8.2%)、「75～79歳」(7.7%)となっており、概ね全世代から均等な回答を得ています。



(2) 性別

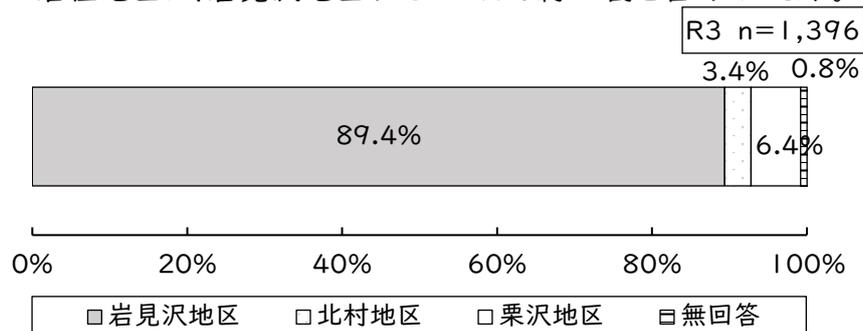
回答者の性別は、「男性」が45.0%、「女性」が52.7%、「その他」が0.1%と女性の割合が高くなっています。



【H30 n=1,330 男 35.1% 女 48.0%】

(3) お住まいの地区

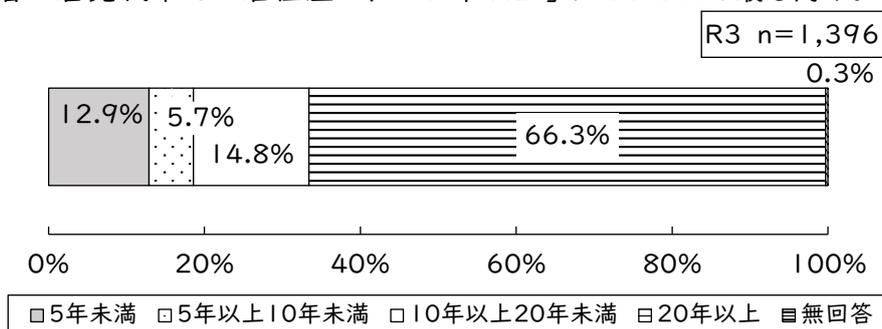
回答者の居住地区は、岩見沢地区が89.4%で約9割を占めています。



【H30 n=1,330 岩 89.0% 北 3.1% 栗 7.4%】

(4) 岩見沢市での居住歴 ※旧北村・栗沢町での居住歴を含む

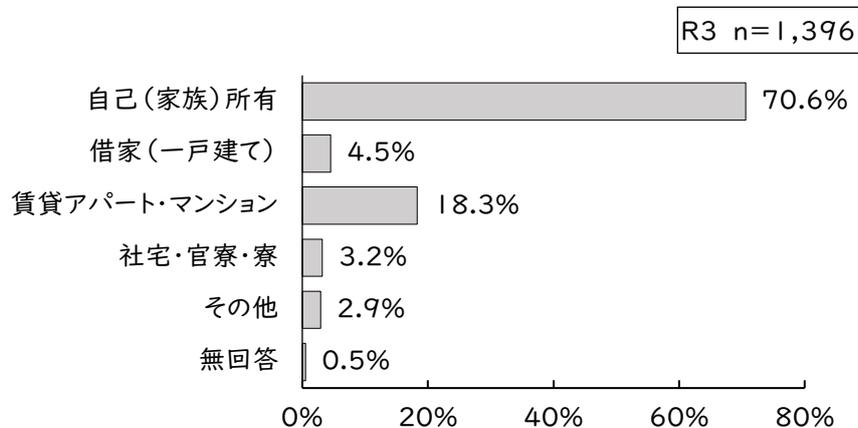
回答者の岩見沢市での居住歴は、「20年以上」が66.3%で最も高くなっています。



【H30 n=1,330 「20年以上」75.5%】

(5) 住まいの形態

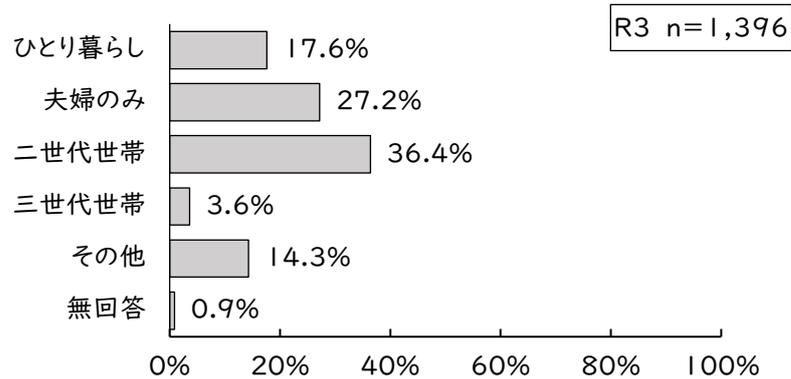
回答者の居住形態は、「自己(家族)所有」が70.6%で、全体の約7割を占めています。



【H30 n=1,330 「自己(家族)所有」80.1%】

(6) 家族構成

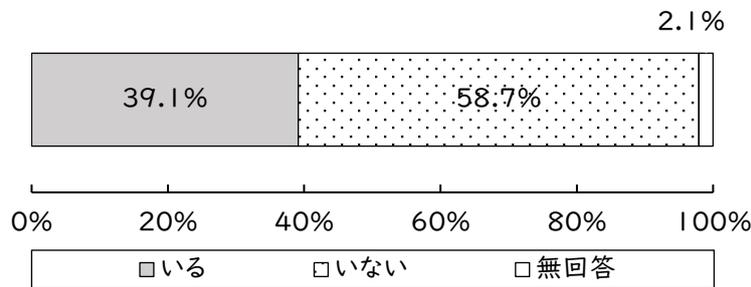
回答者の家族構成は、「二世世代世帯」が 36.4%で最も高く、次いで「夫婦のみ」(27.2%)、「ひとり暮らし」(17.6%)となっています。



【H30 n=1,330 夫婦 34.5% 二世代 32.5% ひとり 13.6%】

(7) 中学生以下の子ども ※(6)で「二世世代世帯」「三世世代世帯」「その他」を選択した方

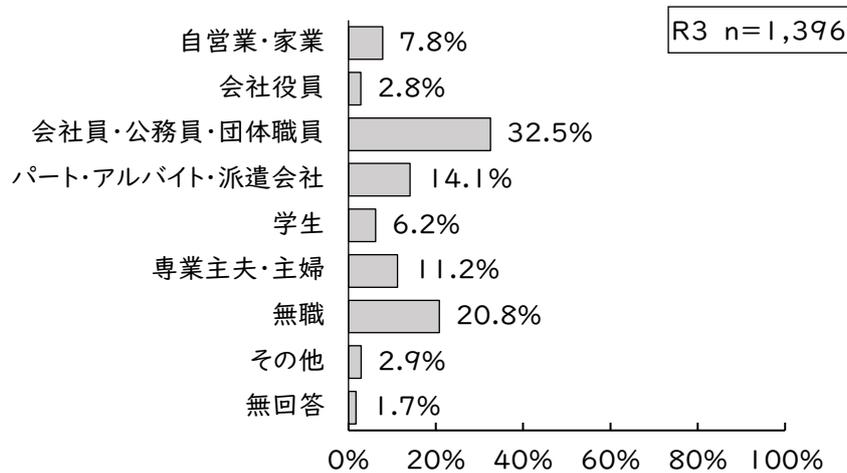
二世世代世帯、三世世代世帯等のうち、中学生以下の子どもが「いる」方の割合は、39.1%となっています。



【H30 n=676 「いる」27.8%】

(8) 職業

回答者の職業は、「会社員・公務員・団体職員」が 32.5%で最も高く、次いで「無職」(20.8%)、「パート・アルバイト・派遣社員」(14.1%)となっています。



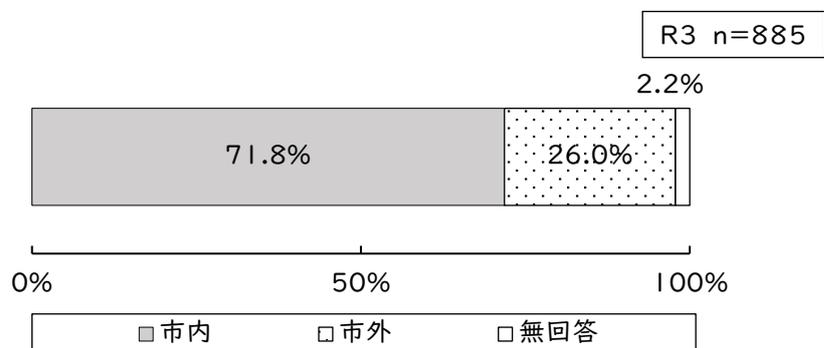
【H30 n=1,330 無職 32.7% 会社員等 22.6% パート等 13.8%】

(9) 通勤・通学先

※(8)で「自営業・家業」「会社役員」「会社員・公務員・団体職員」「パート・アルバイト・派遣会社」「学生」を選択した方

①市内・市外の別

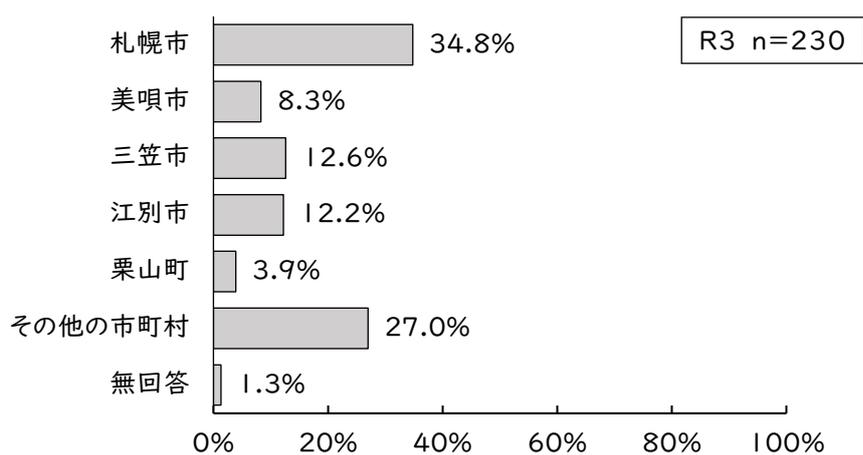
回答者の通勤・通学先は、「市内」が71.8%、「市外」が26.0%となっています。



【H30 n=669 市内 69.2% 市外 25.7%】

②市外の通勤・通学先

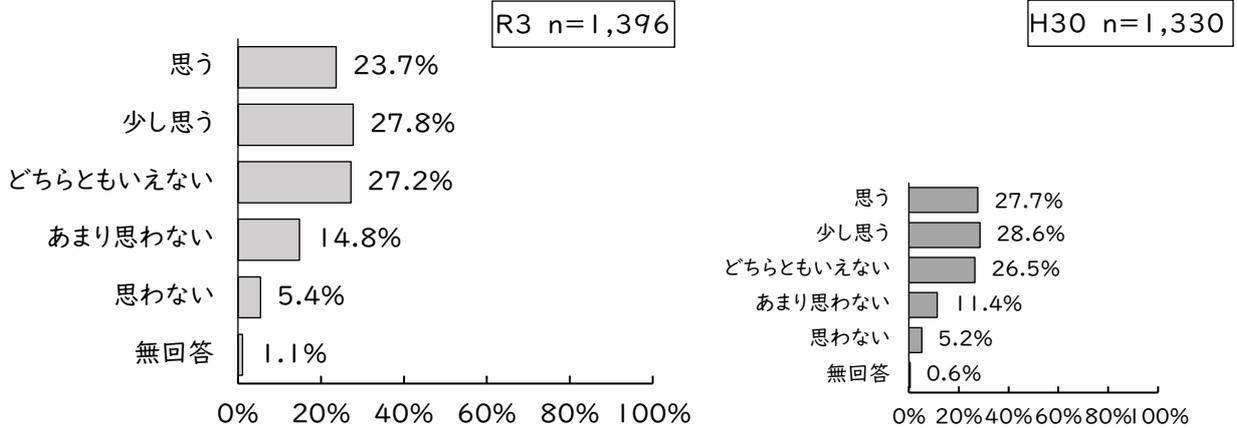
「市外」に通勤・通学している方の通勤・通学先は、「札幌市」が34.8%で最も高く、札幌圏としては全体の約5割を占めています。



【H30 n=172 札幌市 40.1% その他 29.7%】

問 2 あなたは、岩見沢市は暮らしやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

岩見沢市は暮らしやすいまちだと思うかどうかについて、「少し思う」が27.8%で最も高く、「思う」(23.7%)と合わせると、5割以上の方が『思う』と回答しています。

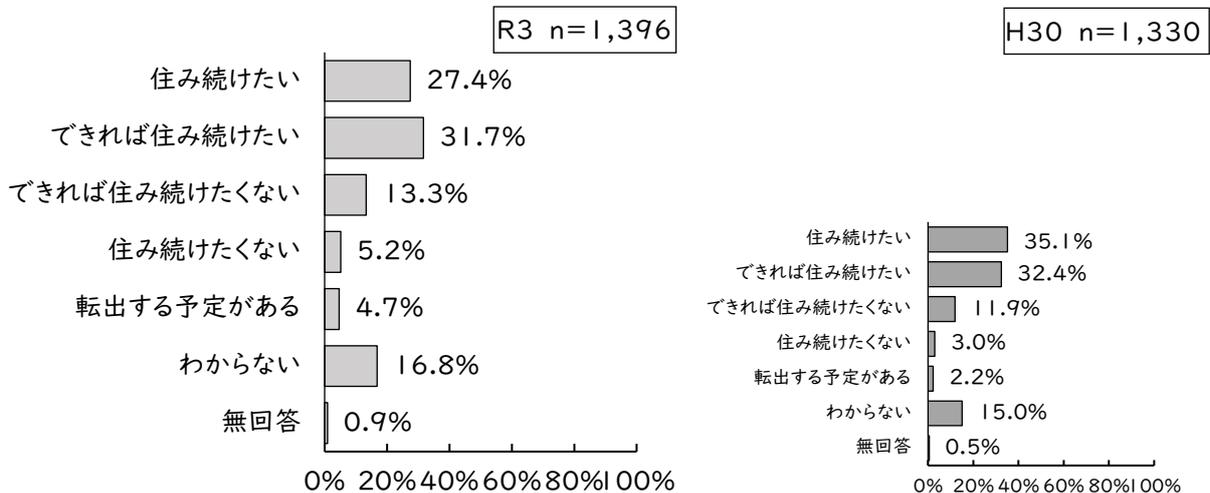


年齢別における状況は、以下のとおりです(ヤング:39歳以下 ミドル:40-64歳 シニア:65歳以上)

項目	R3			H30		
	ヤング	ミドル	シニア	ヤング	ミドル	シニア
思う	54.5%	23.3%	22.2%	57.5%	28.1%	14.4%
少し思う	48.4%	29.3%	22.2%	52.8%	30.1%	17.1%
どちらともいえない	53.8%	29.8%	16.4%	59.1%	23.8%	17.1%
思わない						
あまり思わない						

問 3 あなたは、これからも岩見沢市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

岩見沢市での定住意向について、「できれば住み続けたい」が31.7%で最も高く、「住み続けたい」(27.4%)と合わせると、約6割の方が『住み続けたい』と回答しています。

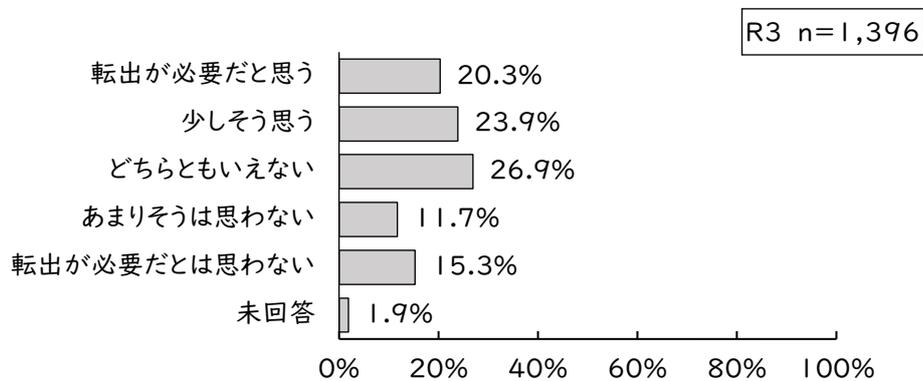


年齢別における状況は、以下のとおりです(ヤング:39歳以下 ミドル:40-64歳 シニア:65歳以上)

項目	R3			H30		
	ヤング	ミドル	シニア	ヤング	ミドル	シニア
住み続けたい できれば住み続けたい	58.2%	68.3%	85.8%	61.8%	77.1%	85.8%
できれば住み続けたくない 住み続けたくない	28.0%	27.1%	11.5%	28.2%	20.6%	13.0%
転出する予定がある	13.3%	3.6%	0.8%	9.9%	2.3%	1.2%
わからない	0.6%	1.0%	1.8%	0%	0%	0%

問4 あなたは、進学・就職・結婚・出産・定年・退職・病気や事故など、人生の転機を迎えたとき、岩見沢市から転出する必要があると思いますか。(○は1つ)

人生の転機を迎えた場合の転出意向について、「どちらともいえない」が26.9%で最も高く、次いで「少しそう思う」(23.9%)、「転出が必要だと思う」(20.3%)となっています。

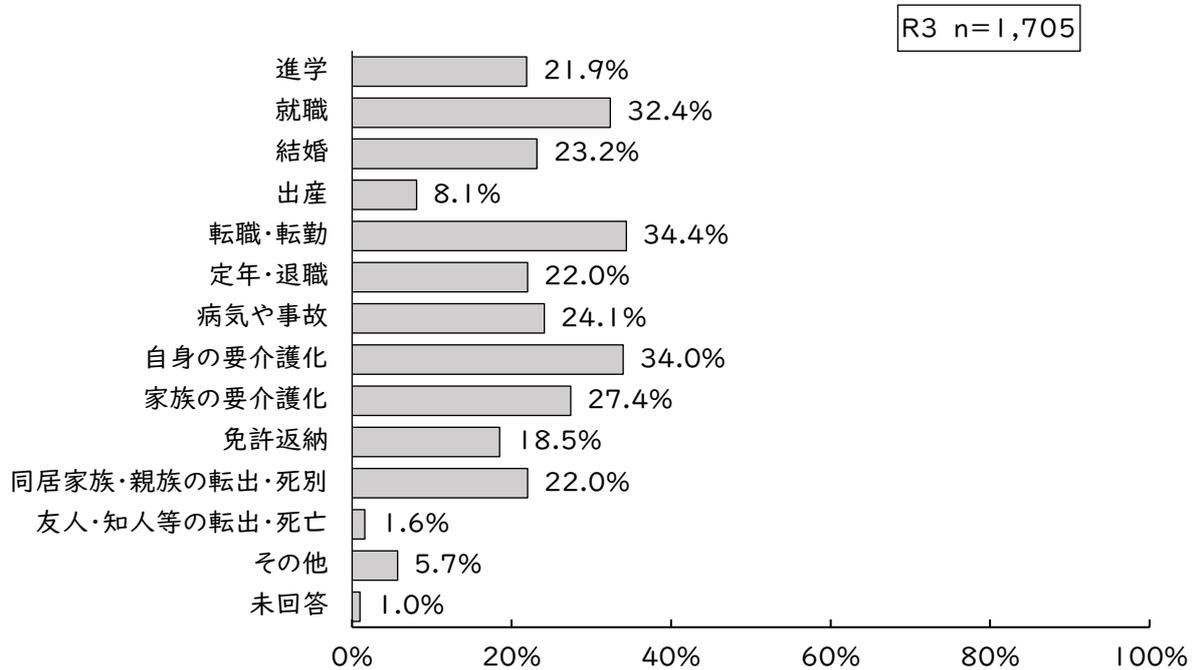


年齢別における状況は、以下のとおりです(ヤング:39歳以下 ミドル:40-64歳 シニア:65歳以上)

項目	R3(H30では設問なし)		
	ヤング	ミドル	シニア
転出が必要だと思う 少しそう思う	56.8%	49.3%	27.6%
どちらともいえない	25.8%	29.0%	27.3%
あまりそうは思わない あまり必要だとは思わない	17.4%	21.7%	45.1%

問 4-1 問4で「1. 転出が必要だと思う」、「2. 少しそう思う」と答えた方にお聞きします。転出が必要だと思う「転機」を以下の項目のあてはまるものを選んでください。(あてはまるものすべてに○)

人生の転機を迎えたときの転出理由では、「転職・転勤」が 34.4%で最も高く、次いで「自身の要介護化」(34.0%)、「就職」(32.4%)と続いています。



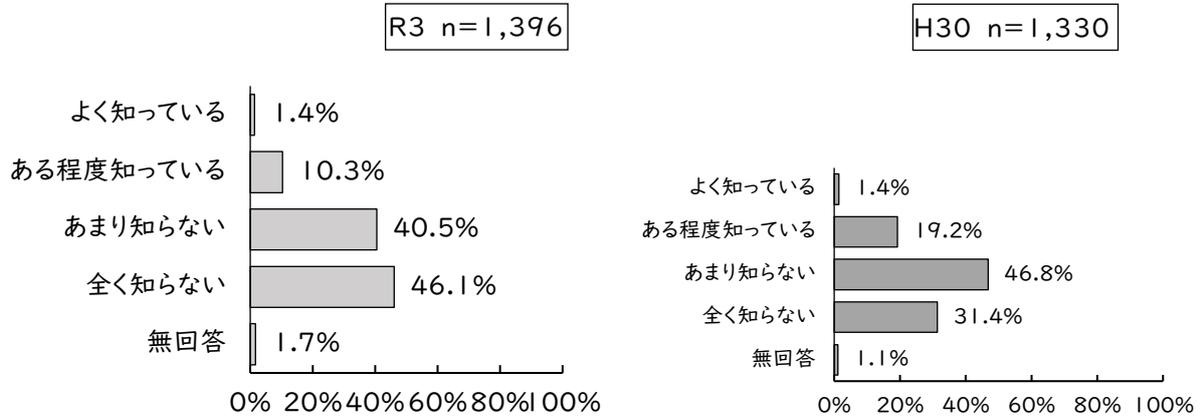
年齢別における状況は、以下のとおりです(ヤング:39歳以下 ミドル:40-64歳 シニア:65歳以上)

区分	R3(H30では設問なし)					
	1位		2位		3位	
ヤング	転職・転勤	17.8%	就職	17.5%	結婚	12.8%
ミドル	定年・退職	12.5%	自身の要介護化	12.3%	免許返納	11.2%
シニア	自身の要介護化	29.8%	病気や事故	15.5%	免許返納	13.6%

問 5 岩見沢市では、平成 27 年に「まちづくり基本条例」を制定し、市民主体による自主自立のまちづくりに取り組んでいます。

あなたは、「まちづくり基本条例」をご存知ですか。(○は1つ)

「まちづくり基本条例」の認知度は、「全く知らない」が 46.1%で最も高く、次いで「あまり知らない」(40.5%)、「ある程度知っている」(10.3%)と続いており、『知っている』と回答しているのは、1 割程度となっています。



年齢別における状況は、以下のとおりです (ヤング:39 歳以下 ミドル:40-64 歳 シニア:65 歳以上)

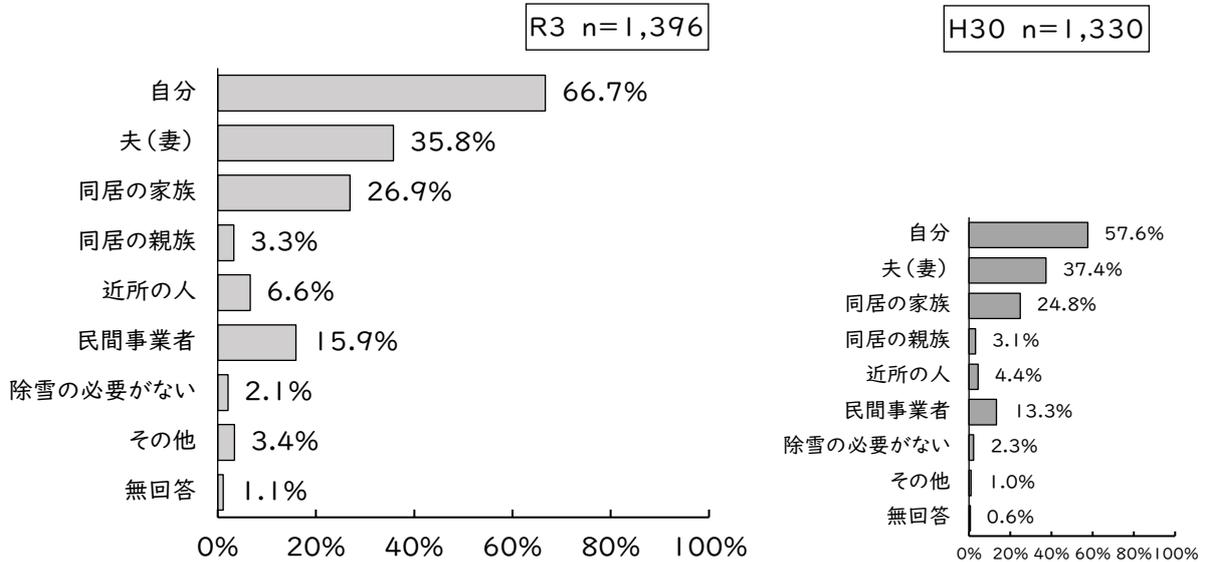
項目	R3			H30		
	ヤング	ミドル	シニア	ヤング	ミドル	シニア
よく知っている						
ある程度知っている	5.5%	12.1%	18.0%	7.9%	12.1%	30.5%
全く知らない	94.5%	87.9%	82.0%	92.1%	87.9%	69.5%
あまり知らない						

問 6 雪対策についてうかがいます。

(1) あなたのご自宅では、主にどなたが除雪作業を担っていますか。

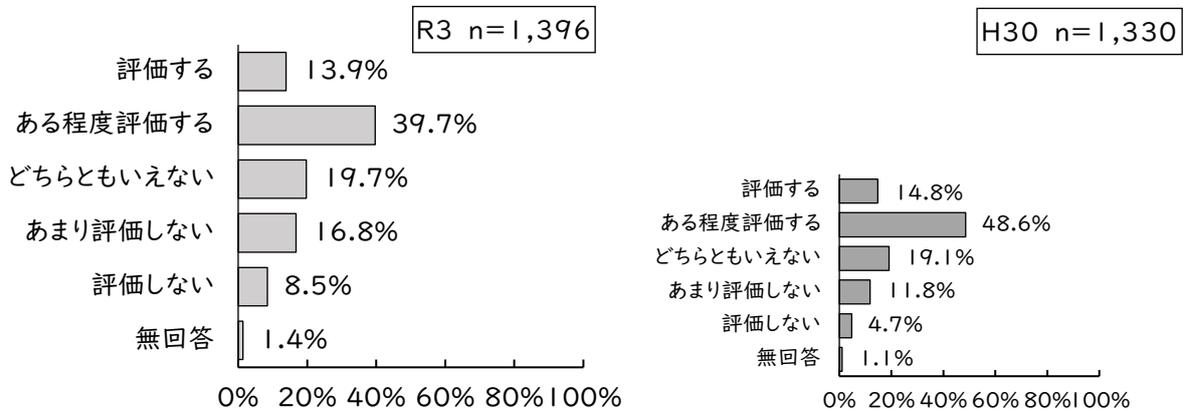
(あてはまるものすべてに○)

自宅での除雪作業の担い手について、「自分」が66.7%で最も高く、次いで「夫(妻)」(35.8%)、「同居の家族」(26.9%)となっています。



(2) 岩見沢市では、平成24年の豪雪の教訓から、「迅速・的確な除排雪対応」「情報提供の充実」「高齢者等の除雪弱者への支援」といった『総合的な雪対策』に取り組んでいます。あなたは、岩見沢市の『総合的な雪対策』をどのように評価しますか。(○は1つ)

『総合的な雪対策』に対する評価について、「ある程度評価する」が39.7%で最も高く、「評価する」(13.9%)と合わせると、5割以上の方が『評価する』と回答しています。



問 7 第 6 期岩見沢市総合計画における基本施策についてうかがいます。

以下の項目の「現在の満足度」について、あなたの考えに一番近いものを選んでください。(1から 33 について、それぞれ1つに○)

満足度が高い基本施策について、「消防・救急体制の充実」の満足度が最も高く、「十分満足している」と「まあ満足している」を合わせると 33.3%となっています。

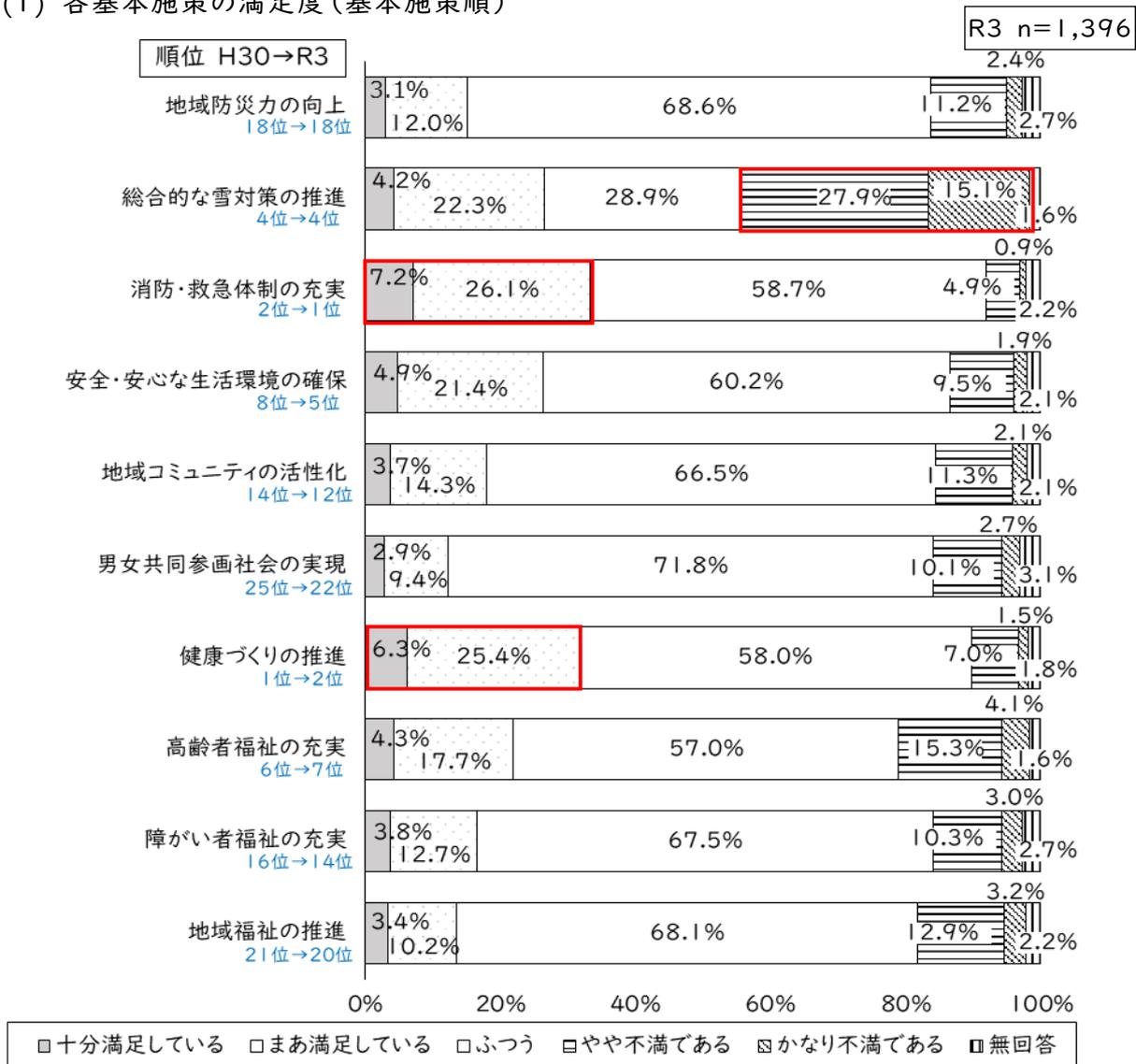
満足度が低い基本施策について、「公共交通の利便性の向上」の満足度が最も低く、「かなり不満である」と「やや不満である」を合わせると 46.1%となっています。

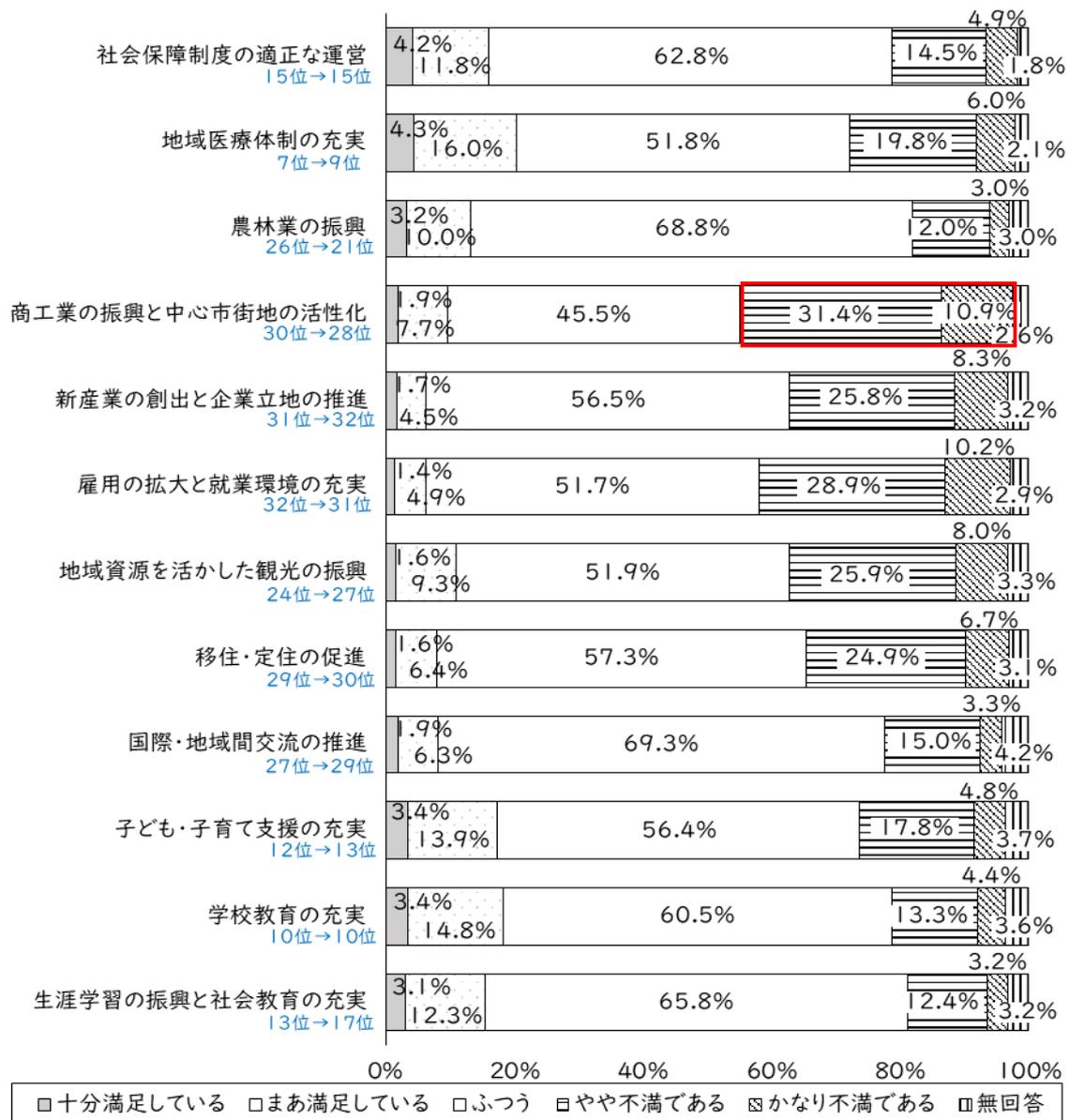
満足度の上位、下位各 3 位までの状況は、以下のとおりです。

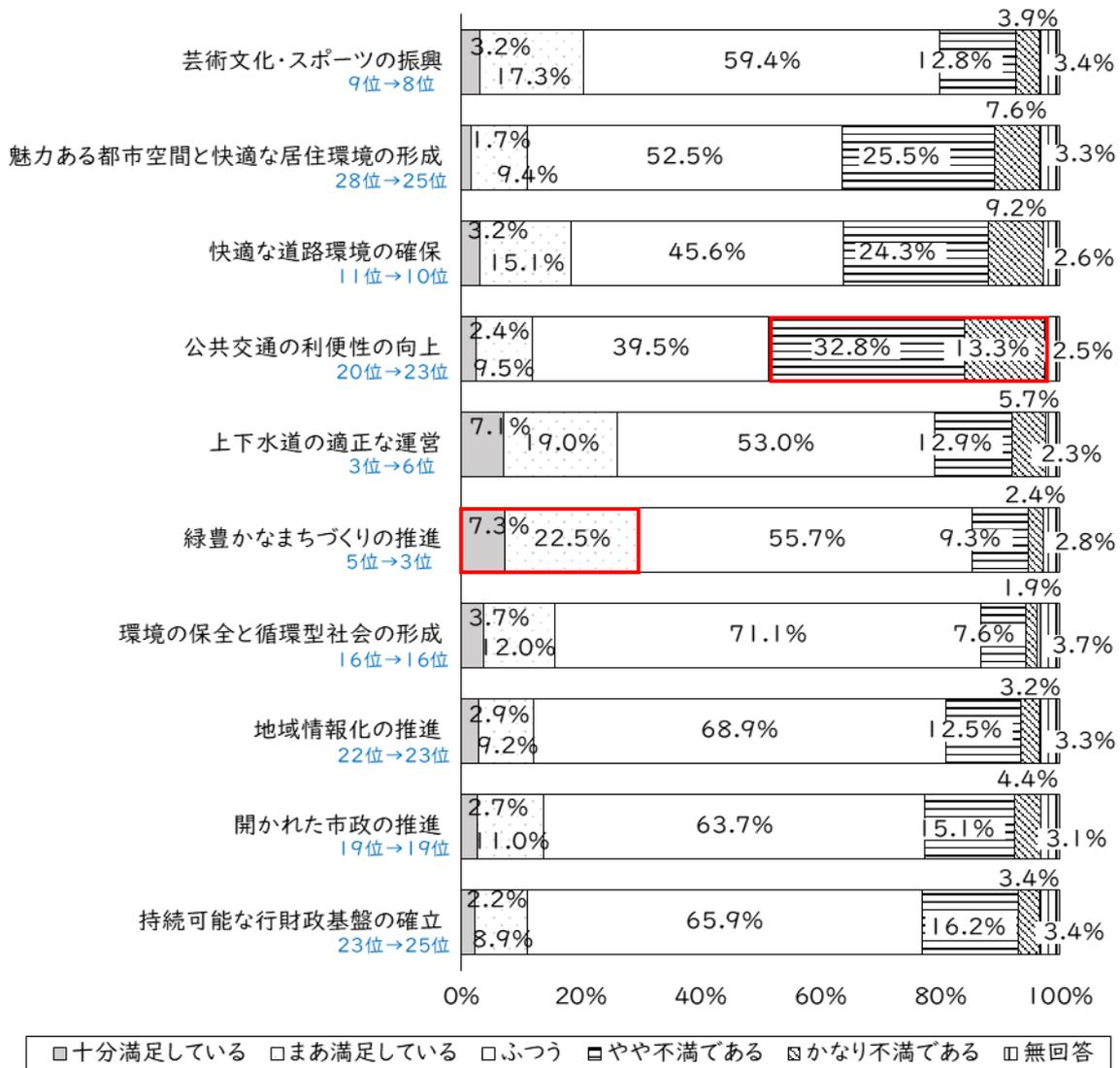
順位	満足度が高い施策		満足度が低い施策	
1 位	消防・救急体制の充実	33.3%	公共交通の利便性の向上	46.1%
2 位	健康づくりの推進	31.7%	総合的な雪対策の推進	43.0%
3 位	緑豊かなまちづくりの推進	29.8%	商工業の振興と中心市街地の活性化	42.3%

(上位:「十分満足」と「まあ満足」の合計、下位:「かなり不満」と「やや不満」の合計)

(1) 各基本施策の満足度(基本施策順)

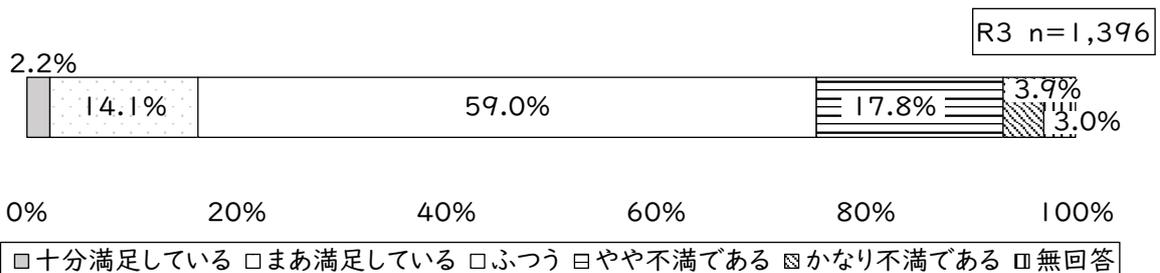






(2) 岩見沢市の施策に対する総合的な満足度

施策に対する総合的な満足度は、「十分満足している」と「まあ満足している」を合わせると 16.3%、「かなり不満である」と「やや不満である」を合わせると 21.7%となっています。



【H30 n=1,330 十分満足・まあ満足 16.6% かなり不満・やや不満 18.4%】

問 8 あなたの普段の生活や関心についてうかがいます。

以下の項目について、あなたの考えに近いものを選んでください。

(それぞれ1つに○)

普段の生活や関心について、「ごみの減量・分別や省エネルギーなど、環境への配慮を心がけている」の関心度が最も高く、「とてもあてはまる」と「少しあてはまる」を合わせると77.9%となっています。

一方、「ボランティア・NPO・市民活動を行っている」の関心度は最も低く、「全くあてはまらない」と「あまりあてはまらない」を合わせると70.7%となっています。

関心度の上位、下位各3位までの状況は、以下のとおりです。

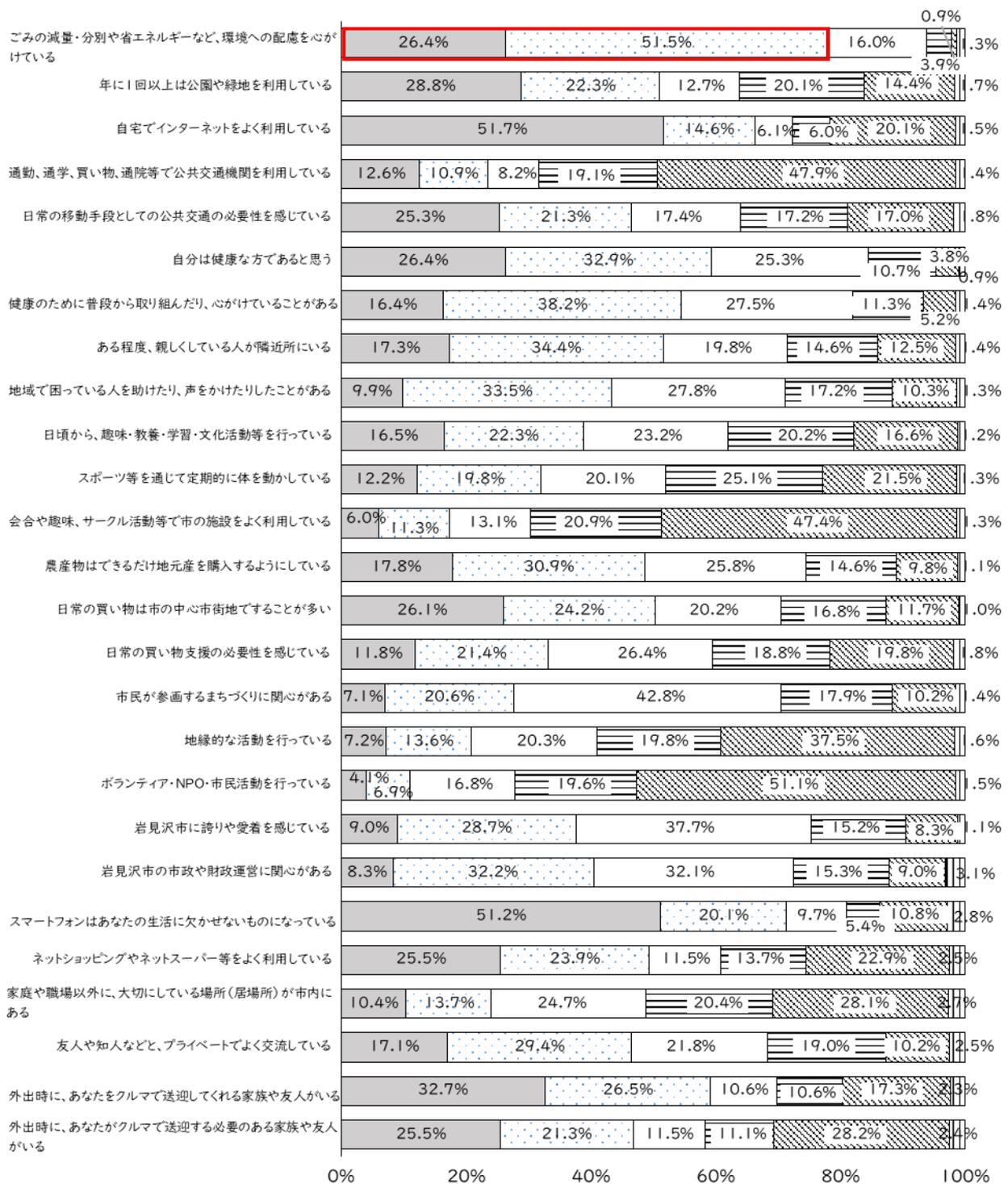
順位	関心度が高いもの		関心度が低いもの	
1位	ごみの減量・分別や省エネルギーなど、環境への配慮を心がけている	77.9%	ボランティア・NPO・市民活動を行っている	70.7%
2位	スマートフォンはあなたの生活に欠かせないものになっている	71.3%	会合や趣味、サークル活動等で市の施設をよく利用している	68.3%
3位	自宅でインターネットをよく利用している	66.3%	通勤、通学、買い物、通院等で公共交通機関を利用している	67.0%

(上位:「とてもあてはまる」と「少しあてはまる」の合計、下位「全くあてはまらない」と「あまりあてはまらない」の合計)

※参考 H30

順位	関心度が高いもの		関心度が低いもの	
1位	ごみの減量・分別や省エネルギーなど、環境への配慮を心がけている	82.1%	ボランティア・NPO・市民活動を行っている	66.8%
2位	自分は健康な方であると思う	54.2%	会合や趣味、サークル活動等で市の施設をよく利用している	64.9%
3位	ある程度、親しくしている人が隣近所にいる	54.1%	通勤、通学、買い物、通院等で公共交通機関を利用している	61.9%

R3 n=1,396



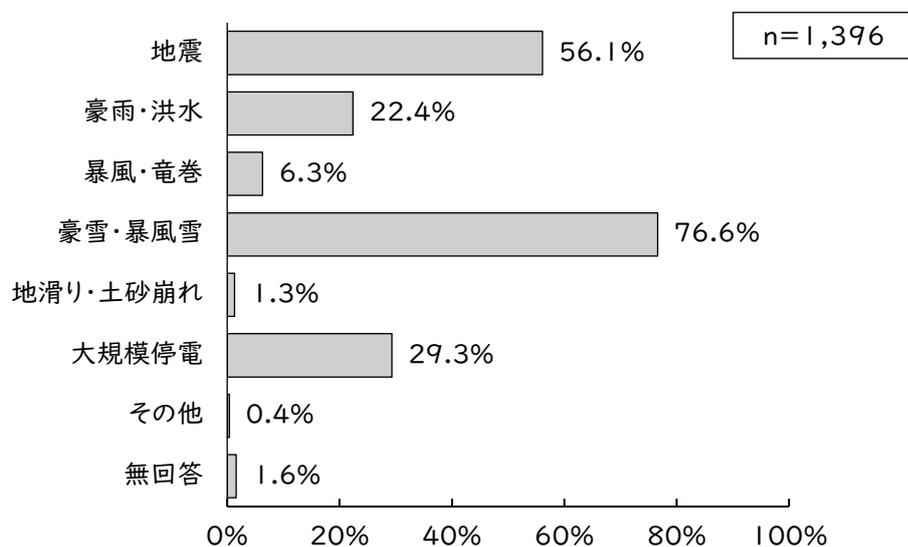
とてもあてはまる
 少しあてはまる
 どちらともいえない
 あまりあてはまらない
 全くあてはまらない
 無回答

問 9 防災に関する意識についてうかがいます。

(1) あなたの生活の中で、特に不安に思う災害を次の中から選んでください。

(○は2つまで)

回答者が特に不安に思う災害は、「豪雪・暴風雪」の76.6%が最も高く、次いで「地震」(56.1%)、「大規模停電」(29.3%)となっています。



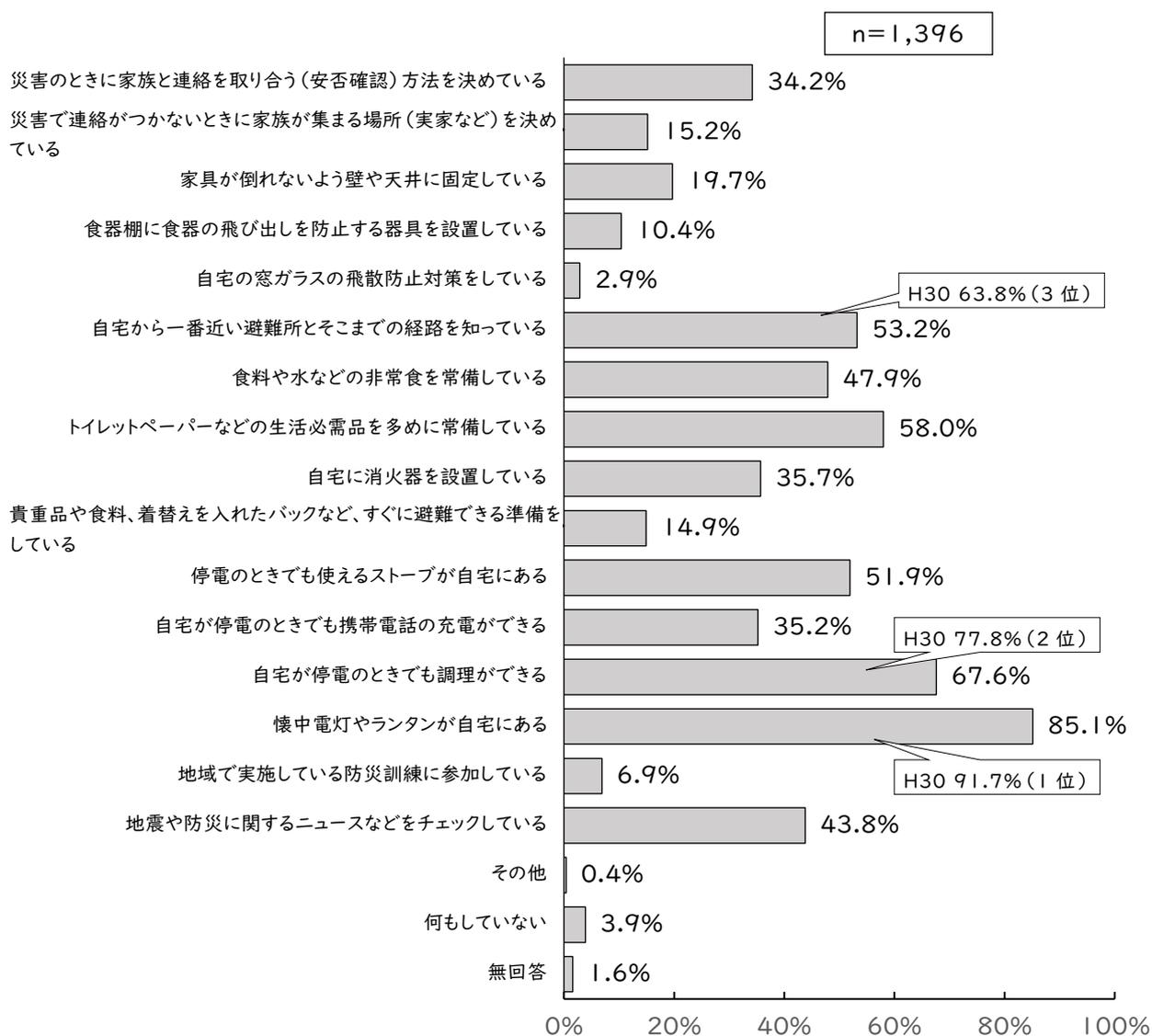
【H30 n=1,330 地震 74.4% 豪雪・暴風雪 70.5% 豪雨・洪水 25.0%】

(2) あなたのご家庭では、地震や風水害などの災害に対して、どのような備えをしていますか。
 (あてはまるものすべてに○)

災害に対する備えについて、備えている割合が高い項目は、「懐中電灯やランタンが自宅にある」(85.1%)、「自宅が停電のときでも調理ができる」(67.6%)、「トイレトペーパーなどの生活必需品を多めに常備している」(58.0%)等となっています。

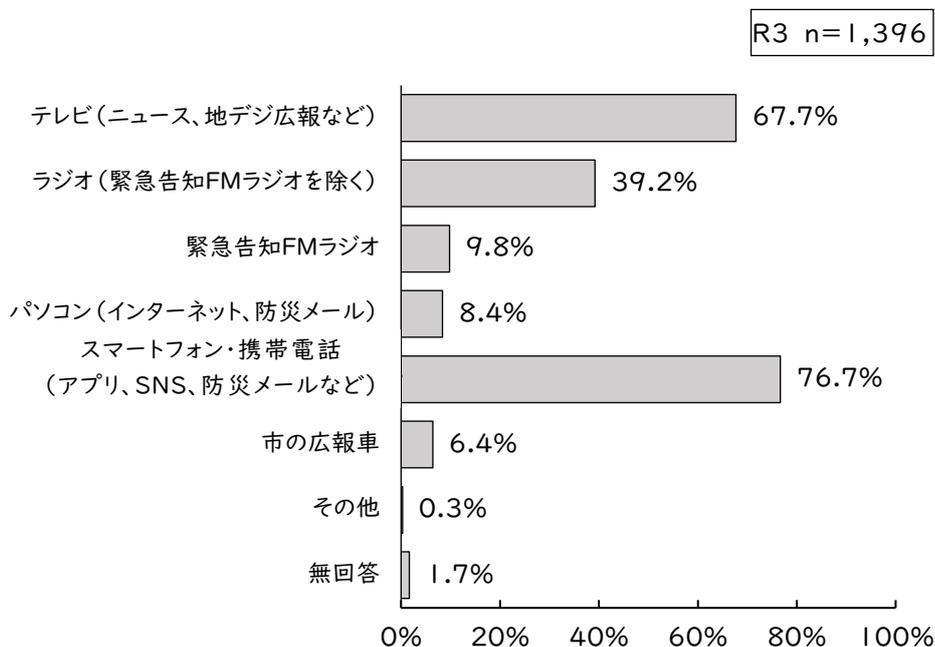
一方、備えている割合が低い項目は、「自宅の窓ガラスの飛散防止対策をしている」(2.9%)、「地域で実施している防災訓練に参加している」(6.9%)、「食器棚に食器の飛び出しを防止する器具を設置している」(10.4%)等となっています。

また、3.9%の方は「何もしていない」と回答しています。



(3) 災害が発生した場合、防災情報をどのような方法で入手することを想定していますか。
(○は2つまで)

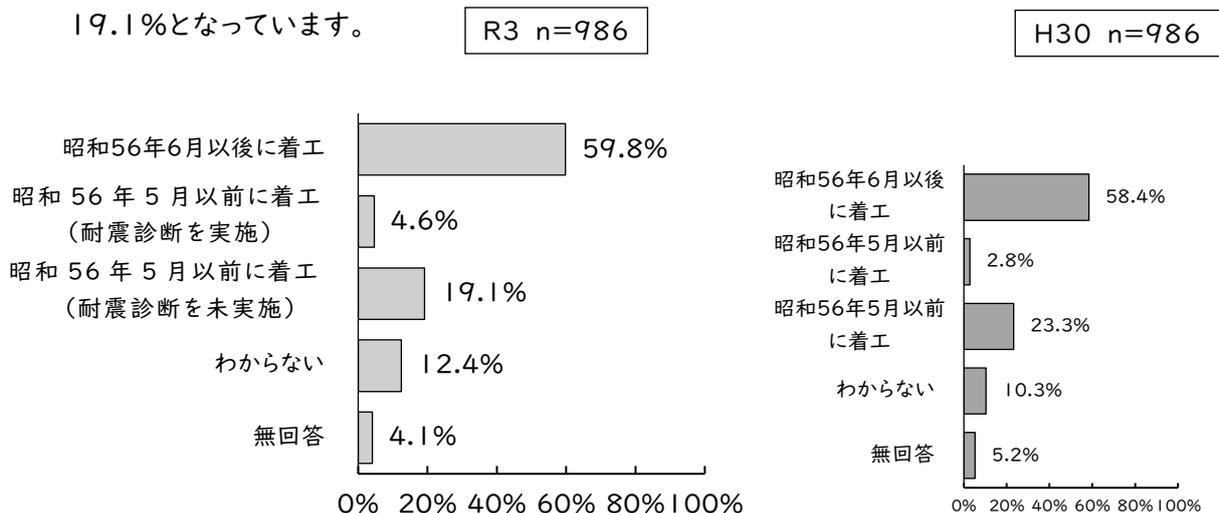
災害時の情報入手手段は、「スマートフォン・携帯電話」が 76.7%で最も高く、次いで「テレビ」(67.7%)、「ラジオ」(39.2%)となっています。



【H30 n=1,330 テレビ 61.2% ラジオ 54.7% スマホ 48.3%】

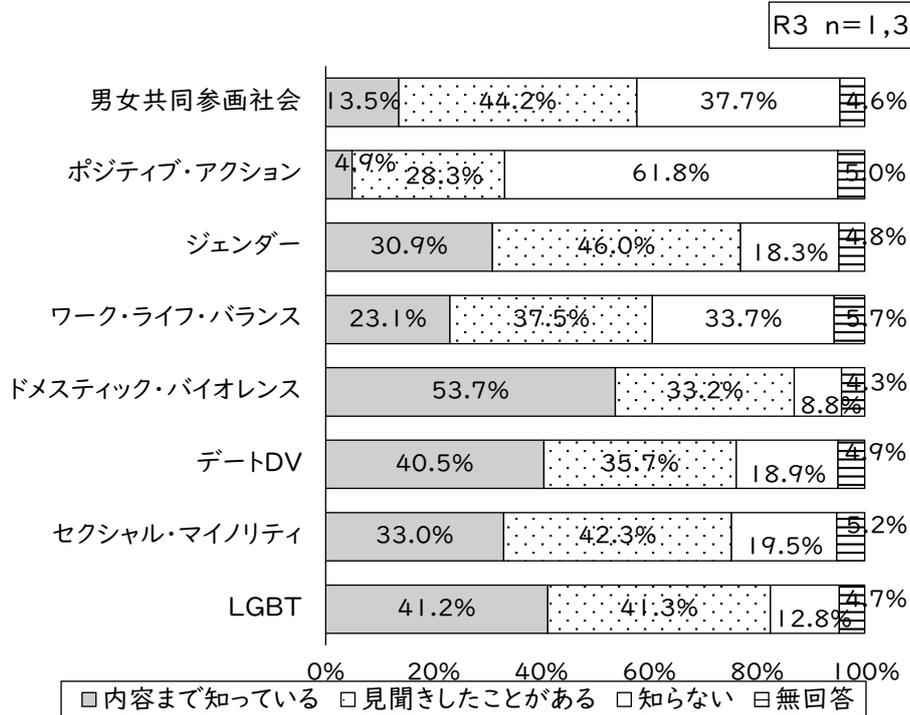
(4) 問1の(5)住まいの形態にて、「1.自己(家族)所有」を選択された方にうかがいます。
現在お住まいの家の耐震性について、以下の項目のいずれかあてはまるものを選んでください。(○は1つ)

住まいの耐震性については、昭和 56 年 6 月以後に着工した新耐震基準の家屋が 59.8%と多数を占めますが、一方で、旧耐震基準で耐震診断を実施していない家屋は 19.1%となっています。



問 10 男女共同参画についてうかがいます。あなたの認識に近いものを選んでください。
(それぞれ1つに○)

男女共同参画に関する用語の認知度は、「ドメスティック・バイオレンス」が最も高く、「内容まで知っている」と「見聞きしたことがある」を合わせると 86.9%、次いで「LGBT」(82.5%)、「ジェンダー」(76.9%)と続いています。



年齢別における状況は、以下のとおりです (ヤング:39歳以下 ミドル:40-64歳 シニア:65歳以上)

項目		R3(H30では設問なし)		
		ヤング	ミドル	シニア
男女共同参画社会	知っている・見聞きあり	66.5%	56.7%	57.9%
	知らない	33.4%	43.3%	42.1%
ポジティブ・アクション	知っている・見聞きあり	38.0%	56.7%	57.9%
	知らない	62.0%	43.3%	42.1%
ジェンダー	知っている・見聞きあり	90.4%	85.1%	64.4%
	知らない	9.6%	14.9%	35.6%
ワーク・ライフ・バランス	知っている・見聞きあり	69.4%	61.6%	62.6%
	知らない	30.6%	38.4%	37.4%
ドメスティック・バイオレンス	知っている・見聞きあり	90.5%	91.4%	90.3%
	知らない	9.5%	8.6%	9.7%
デートDV	知っている・見聞きあり	85.7%	83.7%	71.6%
	知らない	14.3%	16.3%	28.4%
セクシャル・マイノリティ	知っている・見聞きあり	81.3%	79.3%	77.8%
	知らない	18.7%	20.7%	22.2%
LGBT	知っている・見聞きあり	87.1%	87.2%	85.4%
	知らない	12.9%	12.8%	14.6%

問 11 市内であなたがプライベートの目的でよく訪れる場所と、その頻度について、あてはまるものに○をし、該当する項目に日数を記入してください。

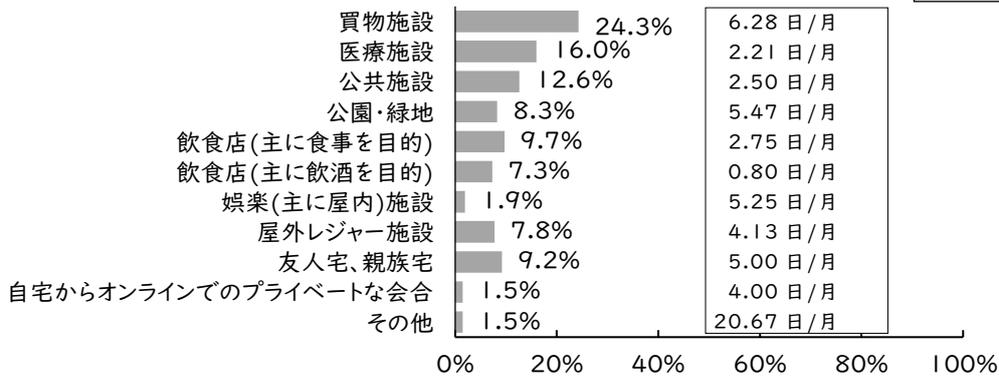
プライベートの目的でよく訪れる場所について、活動区別にみると、「町会・自治会活動」では、「買物施設」の 24.3%、「サークル活動(部活動等含む)」では、「公共施設」の 29.2%、「その他」では、「買物施設」の 29.0%となっています。

また、全体における利用頻度の多い項目では、「買物施設」が最も多く、次いで「自宅からオンラインでのプライベートな会合」、「友人宅、親族宅」の順となっています。

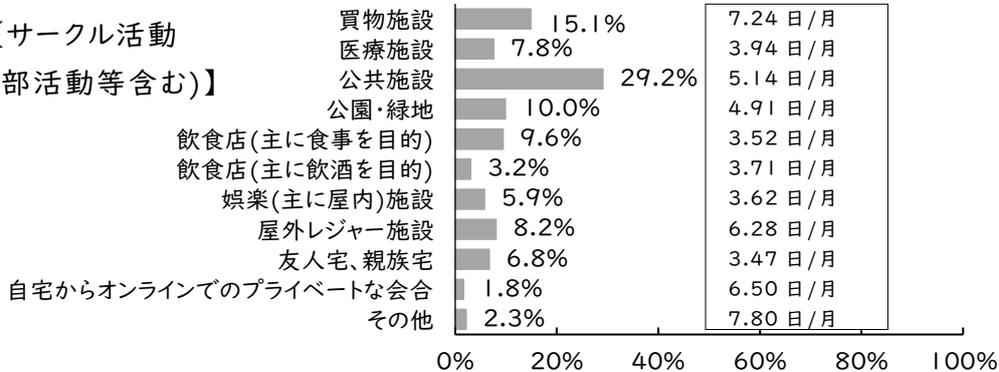
【町会・自治会活動】

【利用割合 / 利用頻度】

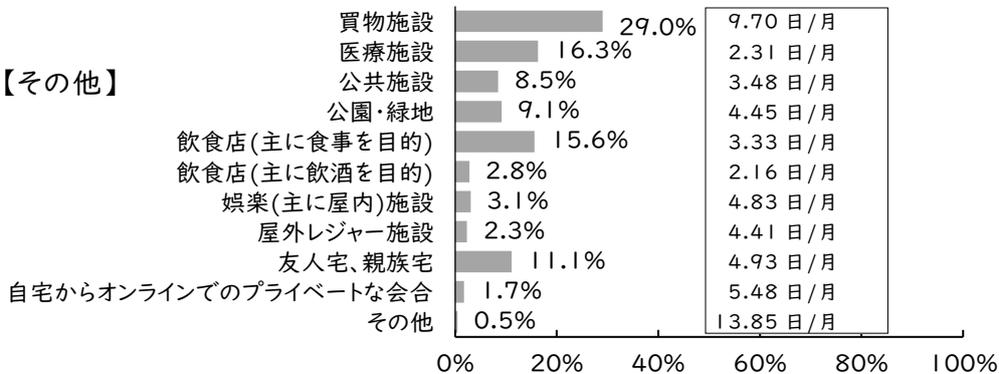
R3 n=1,396



【サークル活動(部活動等含む)】



【その他】



項目	合計		総日数	項目	合計		総日数
	該当者	平均日数			該当者	平均日数	
買物施設	967	9.44	9,124	娯楽(主に屋内)施設	110	4.70	517
医療施設	546	2.35	1,284	屋外レジャー施設	105	4.69	492
公共施設	348	3.71	1,291	友人宅、親族宅	372	4.86	1,808
公園・緑地	317	4.52	1,433	自宅からオンラインでのプライベートな会合	59	5.47	323
飲食店(主に食事を目的)	516	3.31	1,707	その他	23	12.22	281
飲食店(主に飲酒を目的)	107	2.03	217				

問 12 最後に、市政に対するご意見、ご提案等がございましたらご記入ください。

市政に対するご意見、ご提案等について、回答者全体の 30.5%にあたる 427 人の方からご回答をいただきました。

ご意見等の内容を分野別に分類すると、「雪対策」に関するご意見等が 150 件で最も多く、次いで「環境保全・都市基盤整備」が 75 件、「市民意識調査・その他」が 65 件、「産業経済・交流」、「健康・福祉・医療」がともに 50 件となっています。

分野	件数	意見内容
雪対策	150 件	除雪体制の充実、間口の置き雪対策、丁寧な除排雪対応など
産業経済・交流	50 件	道の駅の設置、中心市街地・商店会の活性化、企業誘致、観光資源の活用など
行財政運営	40 件	行政情報の発信、税金の効果的な活用、窓口対応の改善など
環境保全・都市基盤整備	75 件	道路の整備、ごみの分別・収集、光回線の普及、公園遊具更新など
健康・福祉・医療	50 件	コロナ対策、市立病院の窓口対応の改善、医療費の負担軽減など
子ども・教育・文化	34 件	子育て支援の充実・経済的負担の軽減、教育環境の整備など
公共交通	38 件	バス交通等の利便性向上、免許返納後の交通施策の検討など
移住・定住・人口減少	13 件	若者が魅力を感じる施策の推進、市の魅力の PR の強化など
防災・防犯・交通安全・地域コミュニティ	21 件	交通安全の強化、防犯対策の充実、防災訓練の実施、避難場所の確保など
市民意識調査・その他	65 件	今後の市政への期待・激励、調査内容など
計	536 件	

【H30～計 312 件】

3 調査分析

(1) 重要項目の相関関係

本調査における重要項目である問 2 の「暮らしやすさ」、問 3 の「今後の定住意向」、問 4 の「転出意向」、問 7(2)の「市の施策に対する総合的な満足度」、問 8 の「岩見沢市に誇りや愛着を感じている」などの関係性について、相関係数による分析を行った結果は以下のとおりです。

相関係数とは、マイナス1から1の範囲内で示される値であり、値が1に近づくほど相関関係が強いことを意味します。

また、結果に対する有意検定（信頼性の高さの判定）では、いずれも「1%有意」となっており、同様の調査を100回実施した場合、99回は同じような結果が得られるほど信頼性の高い結果となっています。

区分	暮らしやすさ	定住意向	転出意向	施策満足度	地域愛着
暮らしやすさ	1.000	0.489	0.335	0.443	0.487
定住意向		1.000	0.535	0.210	0.448
転出意向			1.000	0.200	0.339
施策満足度				1.000	0.406
地域愛着					1.000

以上の分析結果から、5つの項目すべてにおいて、有意に相関関係があることが分かります。

特に今後も岩見沢市に住み続けたいと思う「定住意向」と人生の転機を迎えた時の「転出意向」との間に、強い相関関係があることを意味しています。

問 4-1 の「転出が必要と考えるシーン」では、「転職・転勤」、「自身の要介護化」、「就職」などの割合が高く、これらの要因を背景とした転出を回避していくことが、定住意向の向上に結びつくものと考えられます。

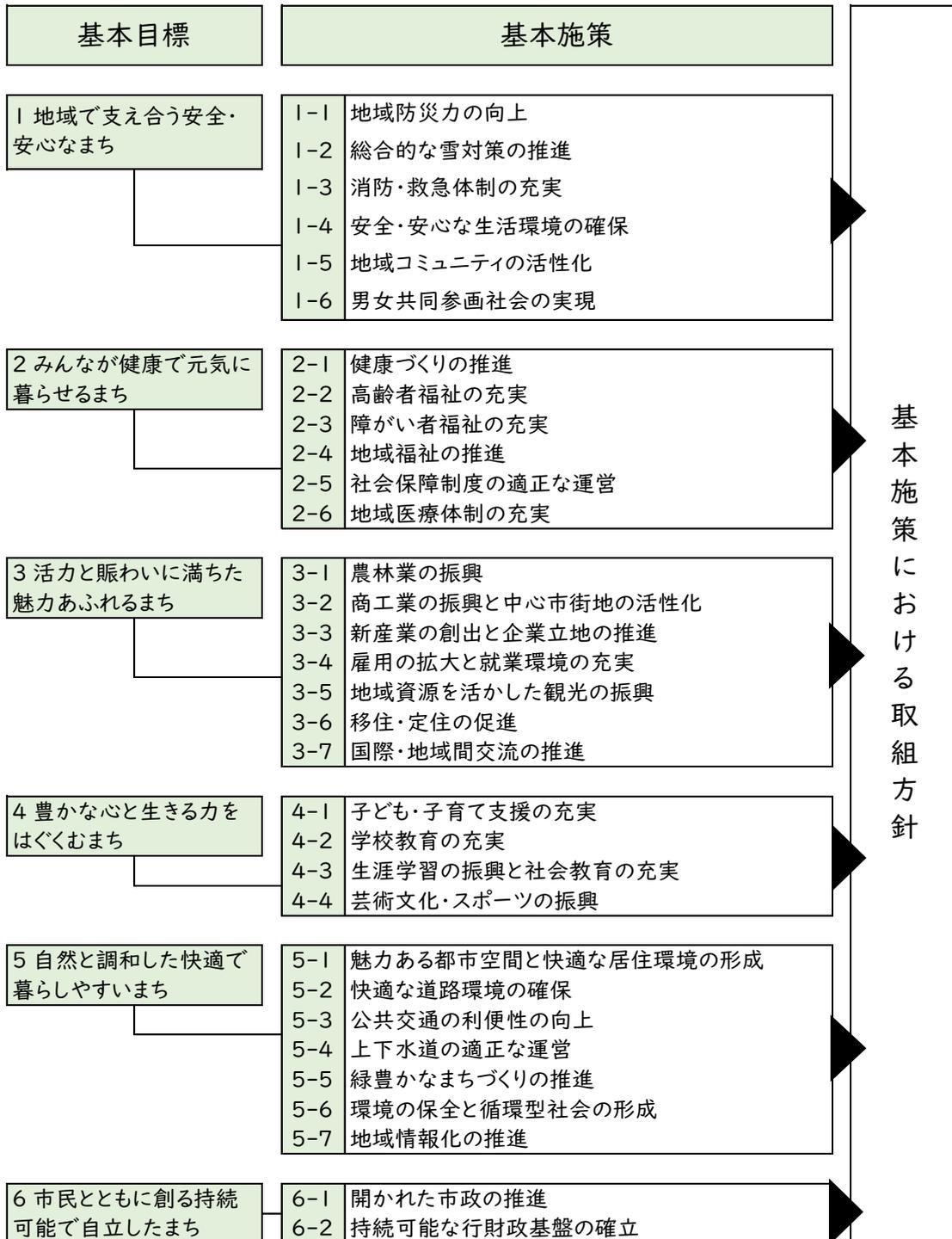
また、「地域愛着」についても強い相関関係があり、岩見沢市への誇りや愛着が高いほど、定住意向や転出回避、施策満足度も向上していくことを意味しています。

なお、「施策満足度」と「今後の定住意向」や「転出意向」との相関関係は、他の相関関係と比較すると低くなっていますが、「地域愛着」を高めることが、それぞれの項目の向上に寄与するものと考えられます。

(2) 顧客満足度分析(CS分析)

「第6期岩見沢市総合計画(平成30年~令和9年)」を着実に推進するため、顧客満足度(Customer Satisfaction:CS)分析を用いて、「岩見沢市の施策に対する総合的な満足度」を高めるために優先的に改善すべき施策は何かという課題を明確にします。

【「第6期岩見沢市総合計画」における基本目標及び基本施策の体系】



CS分析では、総合計画における32の基本施策それぞれの満足度について、「十分満足している」、「まあ満足している」と回答した合計数の全回答数に対する割合を「満足率」として数値化するとともに、市の施策に対する総合的な満足度の向上に対する各基本施策の重要度を「相関係数」により数値化し、重要度が高いにも関わらず満足度が低い場合に高くなる指標値である「改善度」を示します。

CS分析に基づく基本施策の満足度、重要度及び改善度は以下のとおりです。

【基本施策の満足度、重要度及び改善度】

基本施策	満足度 (満足率:%)		重要度 (相関係数)		改善度	
	順位	指標	順位	指標	順位	指標
1-1 地域防災力の向上	18	15.1	17	0.508	18	0.01
1-2 総合的な雪対策の推進	4	26.5	28	0.472	30	▲16.22
1-3 消防・救急体制の充実	1	33.3	31	0.450	32	▲25.95
1-4 安全・安心な生活環境の確保	5	26.3	14	0.517	27	▲9.76
1-5 地域コミュニティの活性化	12	18.1	22	0.495	23	▲4.66
1-6 男女共同参画社会の実現	22	12.2	24	0.490	16	0.48
2-1 健康づくりの推進	2	31.7	29	0.466	31	▲22.26
2-2 高齢者福祉の充実	7	22.0	21	0.501	25	▲7.71
2-3 障がい者福祉の充実	14	16.5	22	0.495	21	▲3.04
2-4 地域福祉の推進	20	13.6	10	0.528	12	4.35
2-5 社会保障制度の適正な運営	15	16.0	6	0.548	11	4.65
2-6 地域医療体制の充実	9	20.3	8	0.532	19	▲1.79
3-1 農林業の振興	21	13.2	30	0.457	24	▲5.07
3-2 商工業の振興と中心市街地の活性化	28	9.70	20	0.502	10	4.68
3-3 新産業の創出と企業立地の推進	32	6.20	19	0.503	7	8.28
3-4 雇用の拡大と就業環境の充実	31	6.40	15	0.512	5	9.38
3-5 地域資源を活かした観光の振興	27	11.0	25	0.484	15	0.93
3-6 移住・定住の促進	30	8.00	16	0.511	8	7.55
3-7 国際・地域間交流の推進	29	8.20	32	0.436	22	▲3.06
4-1 子ども・子育て支援の充実	13	17.3	17	0.508	20	▲2.19
4-2 学校教育の充実	10	18.3	9	0.531	17	0.14
4-3 生涯学習の振興と社会教育の充実	17	15.4	10	0.528	13	2.49
4-4 芸術文化・スポーツの振興	8	20.6	25	0.484	26	▲8.68
5-1 魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成	25	11.1	2	0.618	2	19.19
5-2 快適な道路環境の確保	10	18.3	6	0.548	14	2.33
5-3 公共交通の利便性の向上	23	12.0	12	0.523	9	5.33
5-4 上下水道の適正な運営	6	26.1	27	0.473	29	▲15.60
5-5 緑豊かなまちづくりの推進	3	29.8	13	0.522	28	▲12.58
5-6 環境の保全と循環型社会の形成	16	15.7	5	0.576	6	8.86
5-7 地域情報化の推進	23	12.0	4	0.609	3	17.02
6-1 開かれた市政の推進	19	13.7	3	0.614	4	16.16
6-2 持続可能な行財政基盤の確立	25	11.1	1	0.672	1	26.71

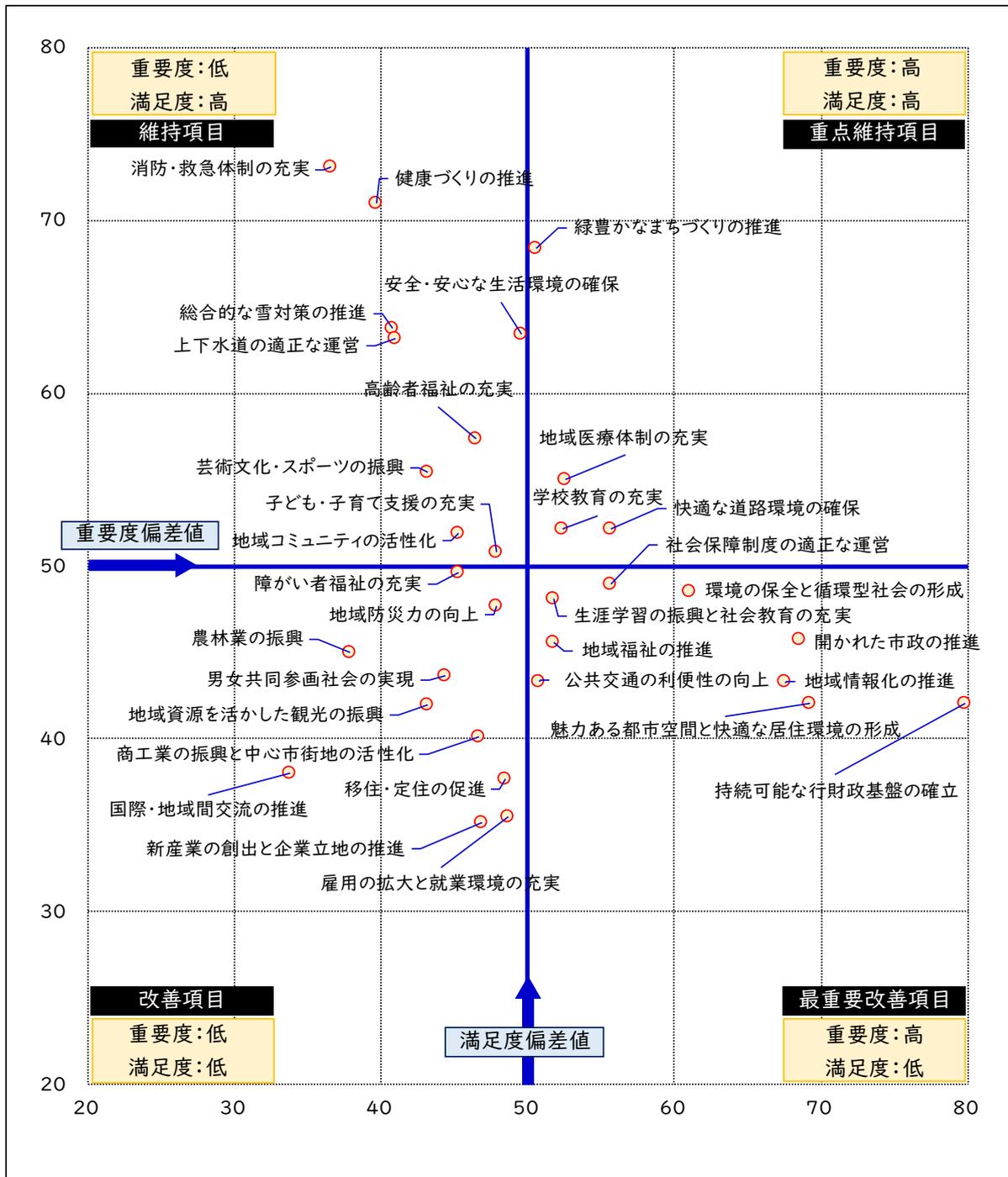
※「満足度」はアンケート調査(問7)における「十分満足」と「まあ満足」の回答の計が回答全体に占める割合。

無回答を除外しているため、問7の調査結果とは割合が異なる。

改善の必要性の高い基本施策を明確に示すため、CS分析に基づく32の基本施策の満足率と重要度を偏差値で表し、分布図で示した場合は、以下のような結果になります。

図の右下のエリアに分布する項目が、相対的にみて重要度が高いにもかかわらず満足度が低い基本施策であり、優先的に改善すべき基本施策となります。

【各基本施策の満足度と重要度による分布図】



(3) 各基本施策の満足度分析

①年齢区分別の満足度分析

CS分析に基づく改善の必要性が高い順に年齢区分別の満足度分析を行います。

また、各基本施策の特性に応じて、家族構成や普段の生活、関心などの状況と施策に対する満足度の関係性について分析を行います。

【年齢区分別の満足度、重要度及び改善度の順位】

基本施策	改善度の順位(年齢別)			
	全体	ヤング 39歳以下	ミドル 40-64歳	シニア 65歳以上
6-2 持続可能な行財政基盤の確立	1位	1位	1位	1位
5-1 魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成	2位	2位	2位	2位
5-7 地域情報化の推進	3位	3位	4位	7位
6-1 開かれた市政の推進	4位	4位	3位	3位
3-4 雇用の拡大と就業環境の充実	5位	5位	10位	6位
5-6 環境の保全と循環型社会の形成	6位	7位	12位	5位
3-3 新産業の創出と企業立地の推進	7位	9位	7位	9位
3-6 移住・定住の促進	8位	11位	5位	10位
5-3 公共交通の利便性の向上	9位	17位	11位	4位
3-2 商工業の振興と中心市街地の活性化	10位	13位	6位	17位
2-5 社会保障制度の適正な運営	11位	10位	8位	11位
2-4 地域福祉の推進	12位	16位	14位	8位
4-3 生涯学習の振興と社会教育の充実	13位	15位	21位	13位
5-2 快適な道路環境の確保	14位	14位	13位	22位
3-5 地域資源を活かした観光の振興	15位	19位	9位	18位
1-6 男女共同参画社会の実現	16位	6位	20位	20位
4-2 学校教育の充実	17位	8位	25位	15位
1-1 地域防災力の向上	18位	12位	19位	16位
2-6 地域医療体制の充実	19位	20位	15位	24位
4-1 子ども・子育て支援の充実	20位	18位	23位	19位
2-3 障がい者福祉の充実	21位	24位	22位	12位
3-7 国際・地域間交流の推進	22位	21位	26位	14位
1-5 地域コミュニティの活性化	23位	22位	17位	21位
3-1 農林業の振興	24位	25位	18位	29位
2-2 高齢者福祉の充実	25位	26位	16位	26位
4-4 芸術文化・スポーツの振興	26位	27位	27位	25位
1-4 安全・安心な生活環境の確保	27位	28位	24位	23位
5-5 緑豊かなまちづくりの推進	28位	29位	28位	28位
5-4 上下水道の適正な運営	29位	32位	31位	27位
1-2 総合的な雪対策の推進	30位	23位	30位	30位
2-1 健康づくりの推進	31位	31位	29位	31位
1-3 消防・救急体制の充実	32位	30位	32位	32位

※各区分上位6位まで網掛け

改善度	1位(前回)→1位/32施策 (26.71)	満足度	23位→25位/32施策(11.1%)
		重要度	1位→1位/32施策(0.672)
施策名	6-2 持続可能な行財政基盤の確立		

【施策の概要】

施策・事務事業の不断の見直しを通じた経営資源の最適配分や財政の健全化、公共施設の適正配置、行政組織の再構築といった行財政改革の取組みをさらに進めることにより、持続可能な行財政基盤の確立を図ります。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は32施策中25位と前回調査に比べて下がっていますが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は32施策中1位と最も高いため、改善度が1位となっています。

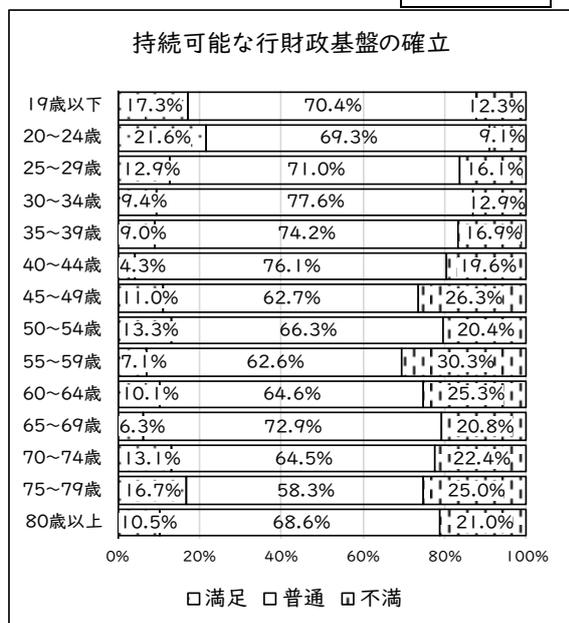
年齢区別では、各年齢層において不満の回答が満足の回答を上回っており、前回同様、55～59歳において不満の割合が高くなっています。

不満の回答に対する満足の回答比は0.57倍であり、持続可能な財政運営に対する不安感が表れています。

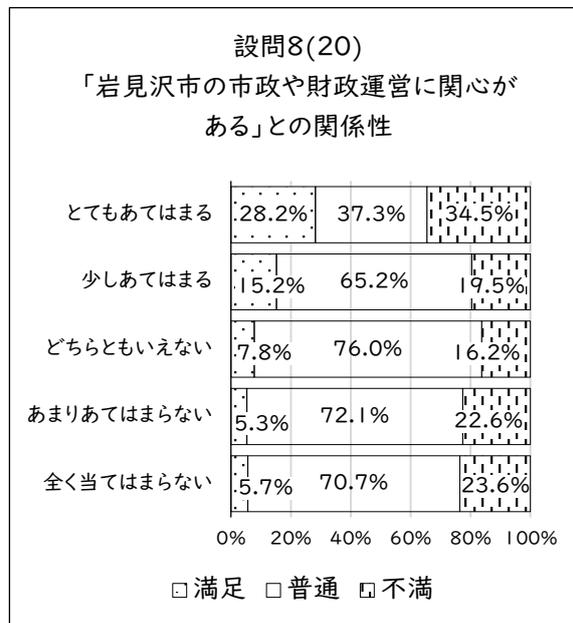
設問8の「⑳岩見沢市の市政や財政運営に関心がある」との関係性では、市の財政運営に対する関心が高くなるほど満足度が向上していることから、さらなる行政改革の推進とともに、財政の健全性に関する積極的な情報発信も必要と考えられます。

■年齢区別の満足度の状況

n= 1,346



不満に対する満足の回答比 0.57倍



改善度	3位(前回)→2位/32施策 (19.19)	満足度	28位→25位/32施策(11.1%)
		重要度	5位→2位/32施策(0.618)
施策名	5-1 魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成		

【施策の概要】

市民一人ひとりが安全で快適な生活を実感できるよう、利便性の高い市街地を形成することにより、まちの魅力や住みよさの向上を図ります。

また、市営住宅の維持管理や更新・長寿命化を計画的に進めるとともに、既存の住宅の耐震化や空家等対策に取り組むことにより、快適な居住環境の形成を推進します。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は32施策中25位と前回調査に比べて上がっていますが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は32施策中2位と上位であるため、改善度が2位となっています。

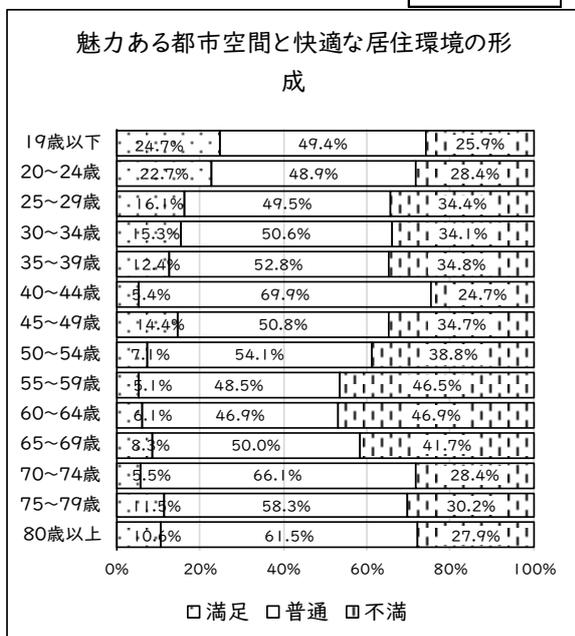
年齢区別では、前回に比べると39歳以下の満足度は向上しているものの、どの年齢層も不満の割合が高く、特に55～64歳において不満の割合が高くなっています。

不満の回答に対する満足の回答比は0.34倍であり、不満の回答が満足の回答を大きく上回っています。

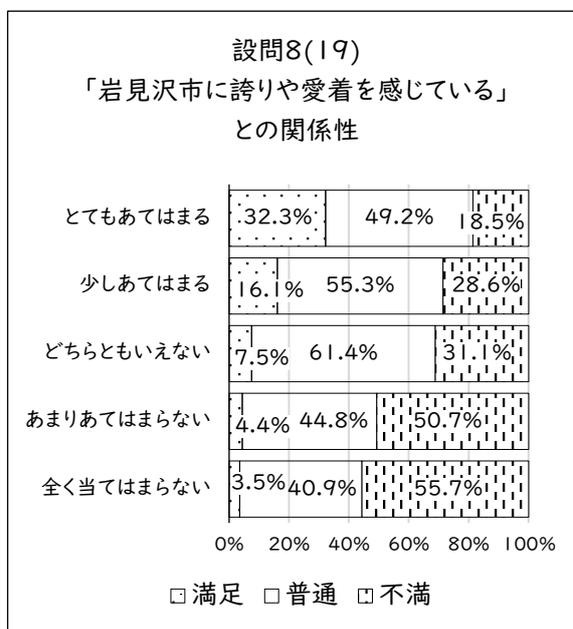
設問8の「⑨岩見沢市に誇りや愛着を感じている」との関係性では、誇りや愛着を感じているほど満足度は高く、不満の割合も低くなることから、市街地における利便性や住みよさの向上に取り組む必要があります。

■年齢区別の満足度の状況

n= 1,347



不満に対する満足の回答比 0.34倍



改善度	4位(前回)→3位/32施策 (17.02)	満足度	22位→23位/32施策(12.0%)
		重要度	3位→4位/32施策(0.609)
施策名	5-7 地域情報化の推進		

【施策の概要】

本市の特性である高度 ICT 基盤のもと、市民や企業のニーズを把握し、産業、教育・子育て、健康・医療・福祉、防災・安全・安心等の様々な分野における地域課題の解決に向けた施策を展開することにより、市民生活の質の向上と地域経済の活性化を目指します。

【満足度の分析】

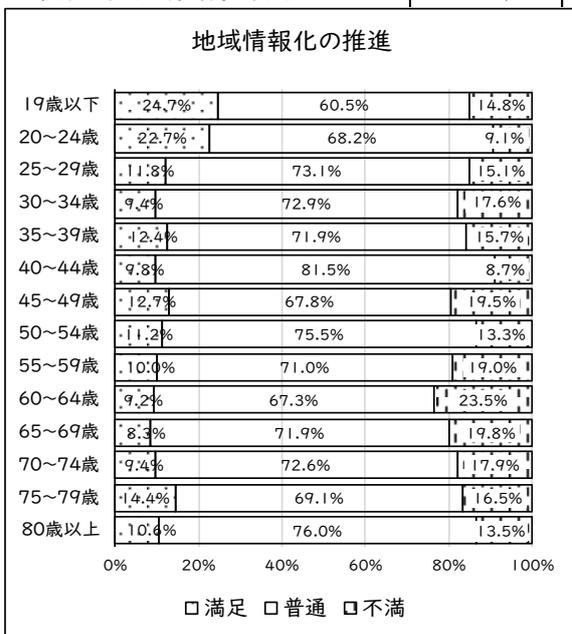
施策に対する「満足度」は 32 施策中 23 位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は 32 施策中 4 位と上位であるため、改善度が 3 位となっています。

年齢区分別では、24 歳以下では満足度が比較的高く、25 歳以上において不満の割合が高くなっています。

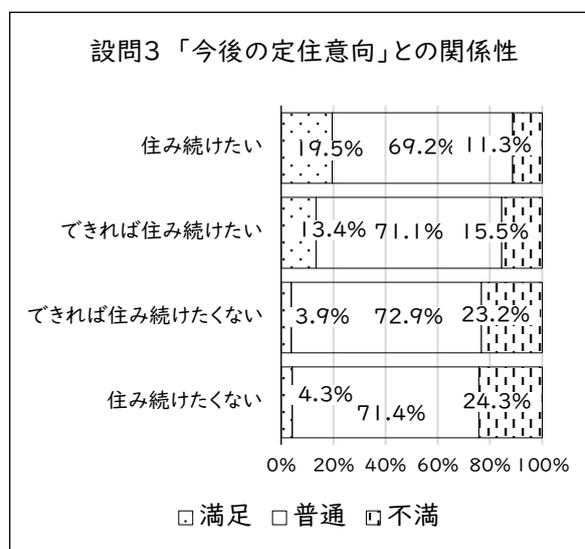
不満の回答に対する満足の回答比は 0.77 倍であり、不満の回答が満足の回答を上回っています。

設問 3 の「今後の定住意向」との関係性では、定住意向が強くなると満足度も向上し、不満の割合も低下する傾向にあり、また、設問 8 の「③自宅でインターネットをよく利用している」、「②スマートフォンは生活に欠かせない」との関係性においても同様の傾向であるため、情報通信環境の最適化やデジタルトランスフォーメーション(DX)について、計画的に推進する必要があると考えられます。

■年齢区分別の満足度の状況 n= 1,345



不満に対する満足の回答比 0.77倍



改善度	2位(前回)→4位/32施策 (16.16)	満足度	19位→19位/32施策(13.7%)
		重要度	2位→3位/32施策(0.614)
施策名	6-1 開かれた市政の推進		

【施策の概要】

市民主体による自主自立のまちづくりに向け、様々な媒体やメディアを活用した積極的な行政情報の発信に努めるとともに、市民が市政に対して意見・提言することのできる機会の充実を図ることにより、誰もが市政に参画できる環境づくりを推進します。

【満足度の分析】

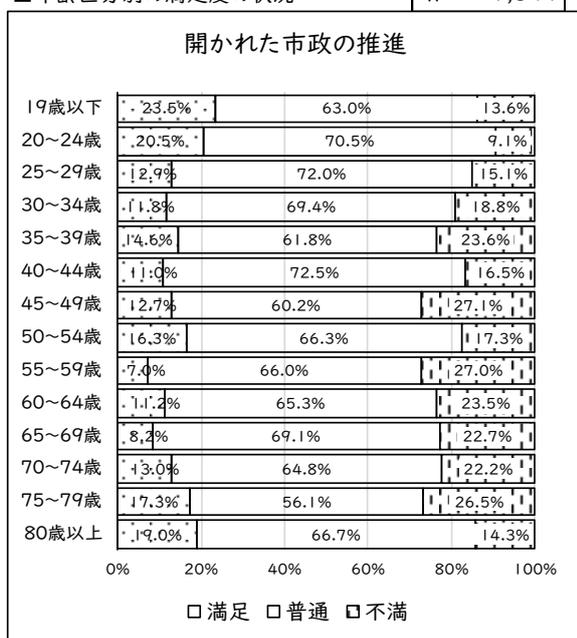
施策に対する「満足度」は32施策中19位と前回調査と同様ですが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は32施策中3位であるため、改善度が4位となっています。

年齢区分別では、24歳以下、80歳以上の満足の割合が高い傾向にあるものの、25歳～79歳では不満の割合が高く、年齢層によって満足と不満のバラツキが見られます。

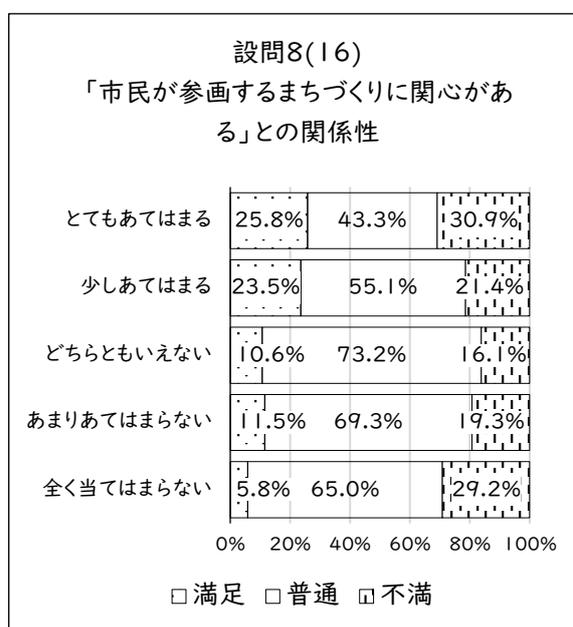
不満の回答に対する満足の回答比は0.70倍であり、不満の回答が満足の回答を上回っています。

設問8の「⑩市民が参画するまちづくりに関心がある」との関係性では、市政への参画に対する関心が高くなると、満足度も高くなる傾向にあることから、行政情報の積極かつ効果的な発信や政策形成における市民の参画など、幅広い世代が市政に参画できる仕組みづくりが必要と考えられます。

■年齢区分別の満足度の状況 n=1,349



不満に対する満足の回答比 0.70倍



改善度	8位(前回)→5位/32施策 (9.38)	満足度	32位→31位/32施策(6.4%)
		重要度	22位→15位/32施策(0.512)
施策名	3-4 雇用の拡大と就業環境の充実		

【施策の概要】

関係機関や事業者との連携により安定した雇用を確保するとともに、高度 ICT 基盤も活用した企業誘致や新分野進出、創業支援等による新しい雇用の創出を図ります。

また、若者や女性、高齢者、障がい者など働く意欲のあるすべての市民が安心して働くことができる就業環境の充実を目指します。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 31 位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係（重要度）も 32 施策中 15 位と中位であるため、改善度が 5 位となっています。

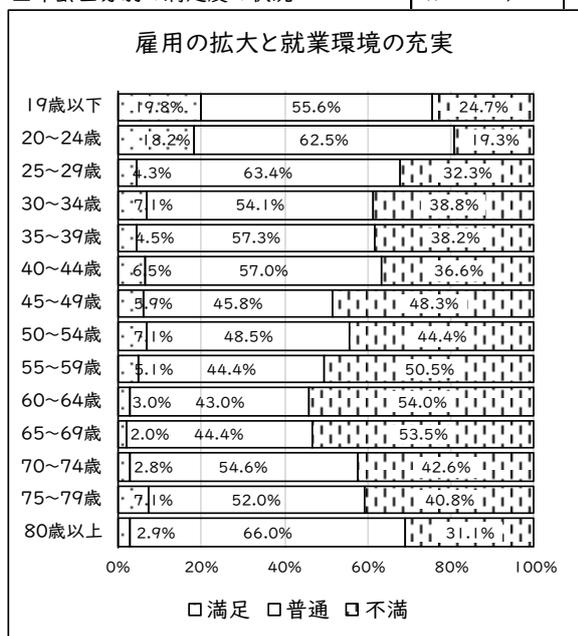
年齢区別では、24 歳以下を除き、不満の割合が顕著に表れています。

不満の回答に対する満足の回答比は 0.16 倍と 32 施策中最低であり、不満の回答が満足の回答を大きく上回っている特徴があります。

設問 3 の「今後の定住意向」との関係性においても、不満の割合が高いほど定住意向も低くなり、その傾向は前回同様となっています。

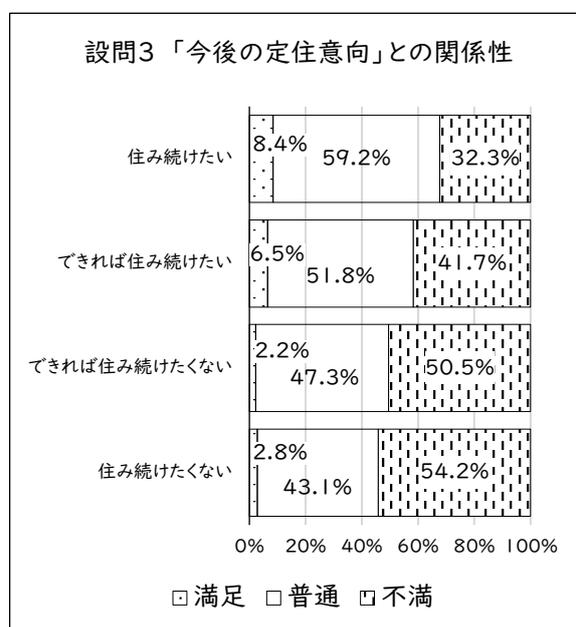
新型コロナウイルスの影響もあり、満足度は依然として低いことから、市の取組みだけでなく、関係機関や企業とも連携を図りながら、雇用機会の拡大と働き方の変化にも対応した就業環境の充実に取り組む必要があると考えられます。

■年齢区別の満足度の状況 n = 1,353



不満に対する満足の回答比 0.16倍

設問3 「今後の定住意向」との関係性



改善度	6位(前回)→6位/32施策 (8.86)	満足度	16位→16位/32施策(15.7%)
		重要度	7位→5位/32施策(0.576)
施策名	5-6 環境の保全と循環型社会の形成		

【施策の概要】

環境保全に対する意識啓発や自然エネルギーの推進、ごみの発生の抑制と再使用の推進等の総合的な環境施策を推進することにより、市民と事業者、行政が一体となって、環境への負荷の少ない社会の構築を目指します。

【満足度の分析】

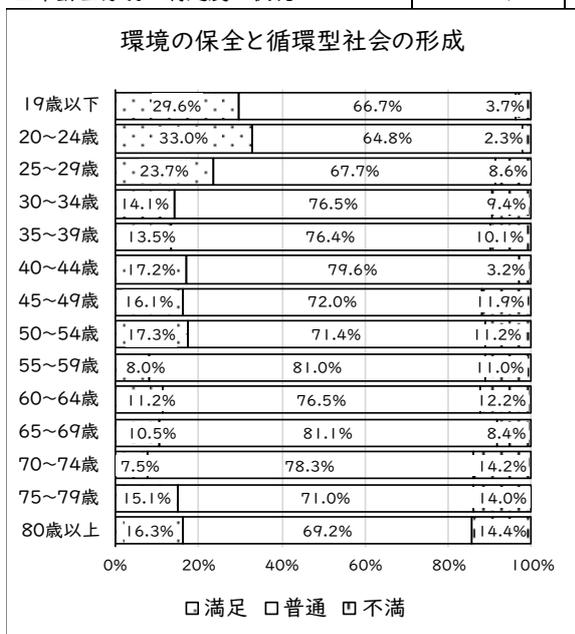
施策に対する「満足度」は32施策中16位と前回調査と同様ですが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は32施策中5位と上位であるため、改善度が6位となっています。

年齢区分別では、顕著な差は認められませんが29歳以下の満足度が高い傾向にあり、20～24歳における満足と回答した割合は前回に比べて2.5倍となっています。

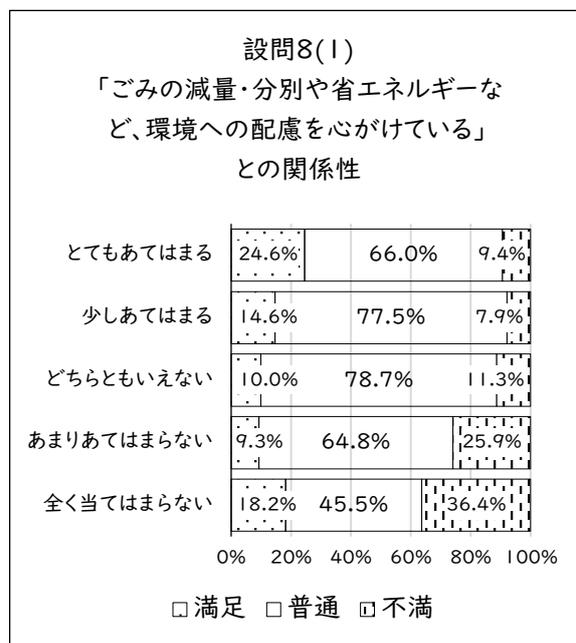
不満の回答に対する満足の回答比は1.65倍であり、満足の回答が不満の回答を上回っています。

設問8の「①ごみの減量・分別や省エネルギーなど、環境への配慮を心がけている」との関係性では、環境への配慮を心掛けているほど、満足度も高くなる傾向にあることから、環境保全活動の啓発、学習機会の充実やごみの減量化に対する市民の意識の高揚を図ることも必要と考えられます。

■年齢区分別の満足度の状況 n=1,341



不満に対する満足の回答比 1.65倍



改善度	17位(前回)→7位/32施策 (8.28)	満足度	31位→32位/32施策(6.2%)
		重要度	30位→19位/32施策(0.503)
施策名	3-3 新産業の創出と企業立地の推進		

【施策の概要】

地域経済の活性化と魅力ある雇用の拡大を図るため、高度 ICT 基盤をはじめとする地域資源を最大限活用し、成長分野における新産業の創出や新分野進出に取り組むとともに、企業立地の推進と集積を図ります。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 32 位の最下位となっていますが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)も 32 施策中 19 位と中位であるため、改善度が 7 位となっています。

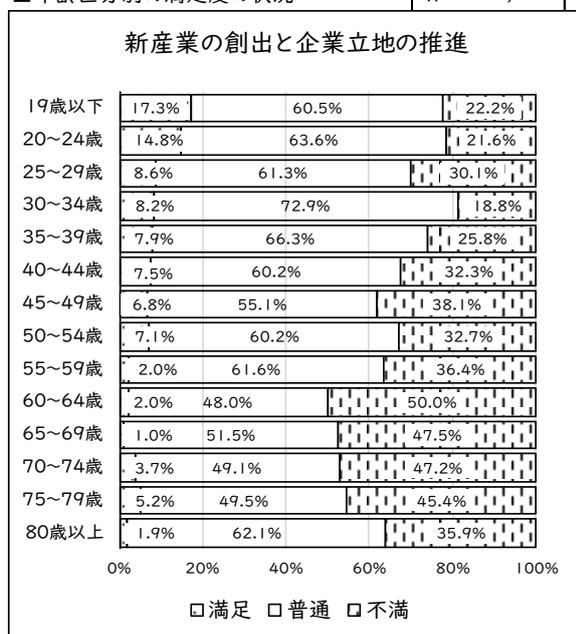
年齢区分別では、全体的に不満の割合が高く、年齢が高くなるほど不満の割合が大きくなり、その傾向は前回とほぼ同様となっています。

不満の回答に対する満足の回答比は 0.18 倍で 32 施策中 31 位であり、不満の回答が満足の回答を大きく上回っている特徴があります。

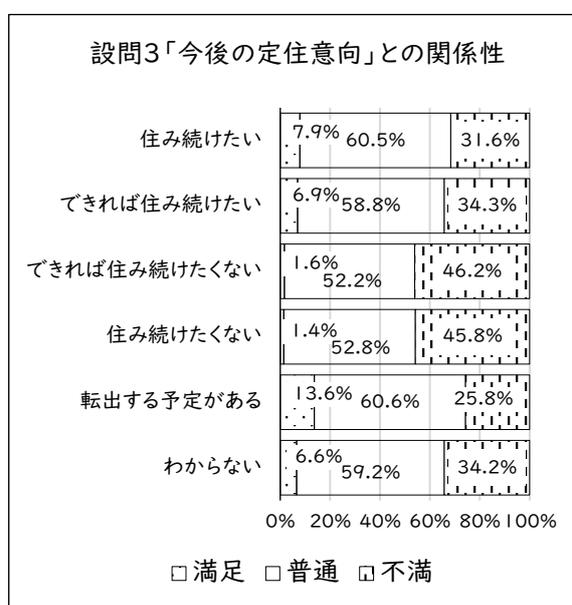
設問 3 の「今後の定住意向」との関係性では、定住意向が強くなると満足度も向上し、不満の割合も低下する傾向にあります。

満足度が最下位の施策であり、地域の特性や地域資源を活かした新産業創出に向けた戦略的な取組や企業のニーズに沿った支援策の提案や情報提供を行うなど、戦略的な誘致活動を展開する必要があると考えられます。

■年齢区分別の満足度の状況 n = 1,349



不満に対する満足の回答比 0.18倍



改善度	15位(前回)→8位/32施策 (7.55)	満足度	29位→30位/32施策(8.0%)
		重要度	24位→16位/32施策(0.511)
施策名	3-6 移住・定住の促進		

【施策の概要】

将来にわたって地域の活力を維持・発展させるため、市内在住者の定着と市外からの移住の促進に向けた住宅、就業、結婚、子育て等の多様な施策を展開するとともに、本市の魅力や優位性を効果的に発信するため、シティプロモーションの取組みを推進します。

【満足度の分析】

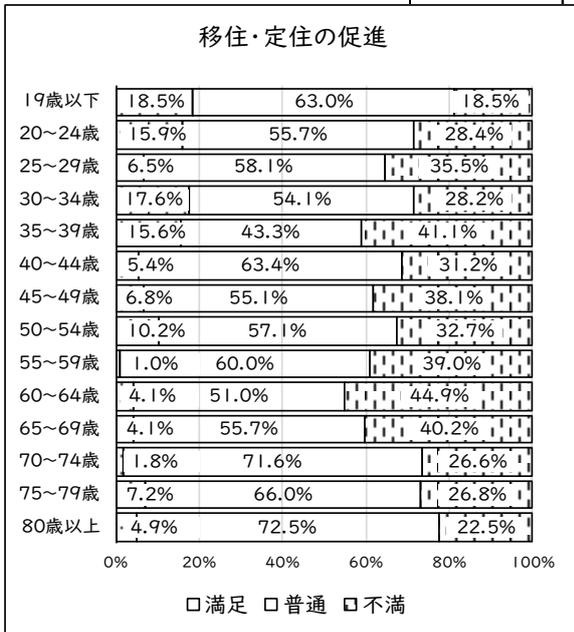
施策に対する「満足度」は 32 施策中 30 位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)も 32 施策中 16 位と中位であるため、改善度が 8 位となっています。

年齢区分別では、全体的に不満の割合が高く、その傾向は前回とほぼ同様となっています。

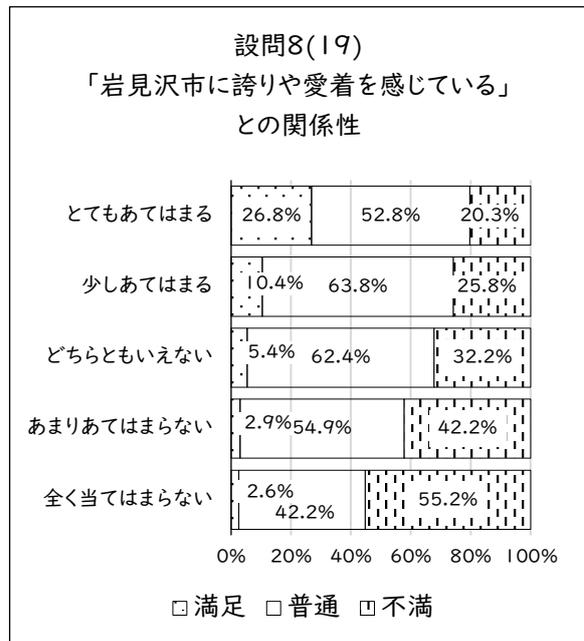
不満の回答に対する満足の回答比は 0.25 倍であり、不満の回答が満足の回答を大きく上回っている特徴があります。

設問 8 の「⑨岩見沢市に誇りや愛着を感じている」との関係性では、誇りや愛着を感じているほど満足度は高く、不満の割合も低下する傾向にあり、また、「設問 2 岩見沢市は暮らしやすいまちだと思いますか」、「⑫家庭や職場以外に、大切にしている場所(居場所)が市内にある」との関係性においても同様の傾向であるため、「シティプロモーション」の取組みを推進し、多くの方に市への興味や関心を持ってもらう必要があると考えられます。

■年齢区分別の満足度の状況 n= 1,349



不満に対する満足の回答比 0.25倍



改善度	12位(前回)→9位/32施策 (5.33)	満足度	20位→23位/32施策(12.0%)
		重要度	17位→12位/32施策(0.523)
施策名	5-3 公共交通の利便性の向上		

【施策の概要】

市民生活や交流の基盤となる公共交通の確保と利便性の向上を図るため、地域住民や交通事業者、関係自治体と協力しながら、利用者のニーズに即した路線バスの運行や新たな公共交通の導入などの取組みを進めることにより、総合的な公共交通体系を確立するとともに、住民意識の醸成と利用の促進に努めます。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は32施策中23位と前回調査に比べて下がっていますが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は32施策中12位と中位であるため、改善度が9位となっています。

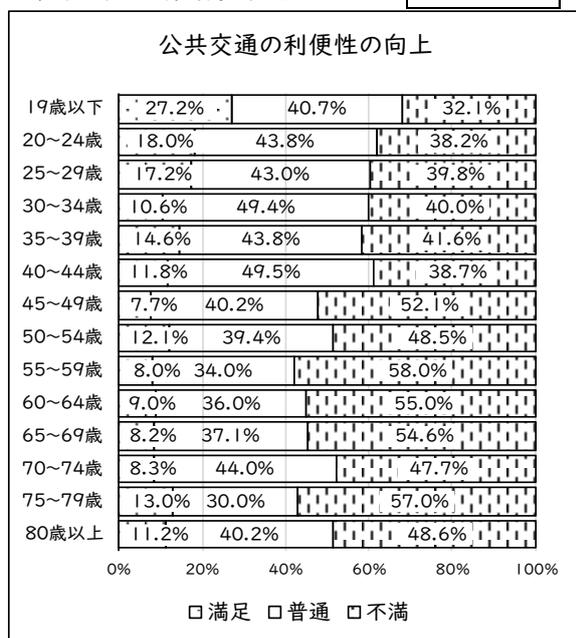
年齢区別では、全体的に不満の割合が高く、特に45歳以上における不満の割合が高い傾向となっています。

不満の回答に対する満足の回答比は0.26倍であり、不満と普通の回答がともに多く、満足の回答を上回っている特徴があります。

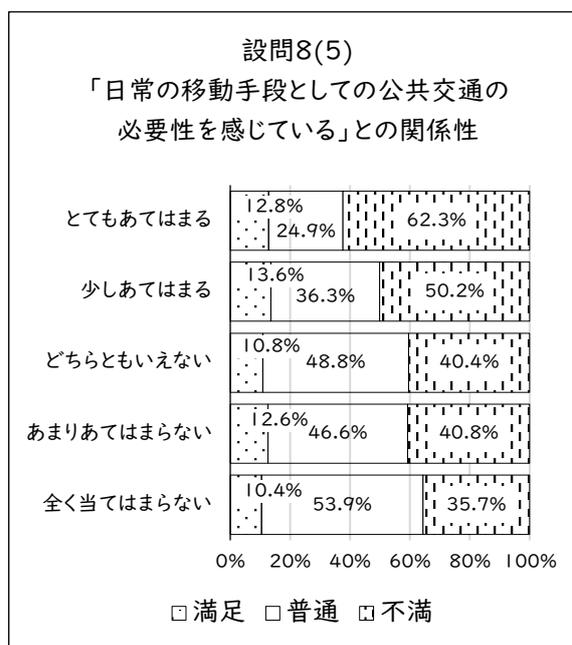
設問8の「⑤日常の移動手段としての公共交通の必要性を感じている」との関係性でも、必要性を感じているほど不満の回答が多くなることから、効率的かつ利便性の高いバスの運行体制の確保や公共交通機関の利用啓発を行うなど、持続的な利用促進に努めることが必要と考えられます。

■年齢区別の満足度の状況

n= 1,359



不満に対する満足の回答比 0.26倍



改善度	20位(前回)→10位/32施策 (4.68)	満足度	30位→28位/32施策(9.7%)
		重要度	31位→20位/32施策(0.502)
施策名	3-2 商工業の振興と中心市街地の活性化		

【施策の概要】

中小企業者における経営基盤の強化、人材育成、創業や新事業展開等に向けた取組みを関係機関とも連携して支援することにより、地域経済の活性化を図ります。

また、商業者や関係団体が行う集客・販売促進事業を支援するとともに、中心市街地の活性化に向けた賑わいの創出や都市機能の集積、居住者の誘導等を推進します。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は32施策中28位と前回調査に比べて上がっていますが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)も32施策中20位と中位であるため、改善度が10位となっています。

年齢区別では、全体的に不満の割合が高く、前回とほぼ同様の傾向となっています。

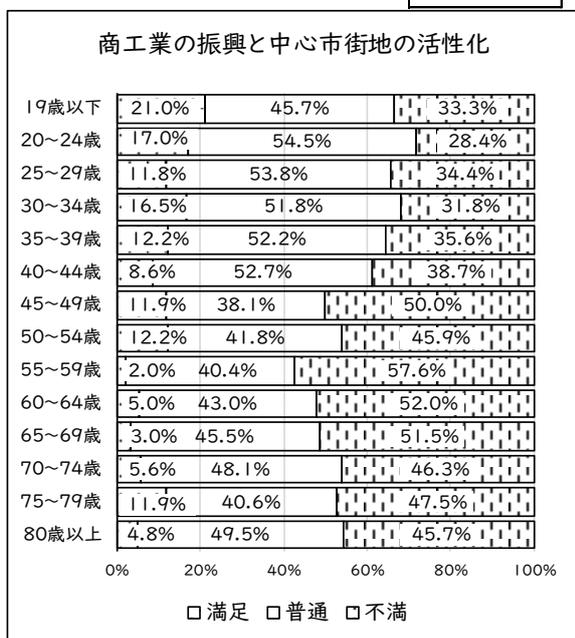
不満の回答に対する満足の回答比は0.23倍であり、不満の回答が満足の回答を大きく上回っている特徴があります。

設問8の「①岩見沢市に誇りや愛着を感じている」との関係性では、誇りや愛着を感じているほど満足度は高く、不満の割合も低くなる傾向にあります。

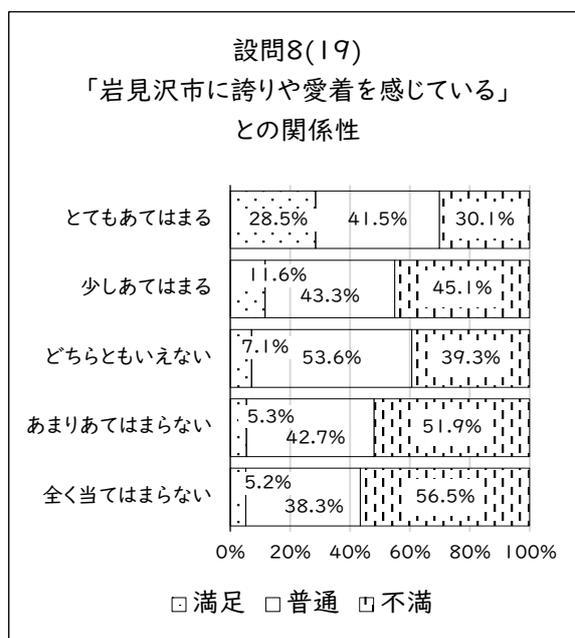
新型コロナウイルスの影響もあり、満足度は依然として低いことから、多様な経営課題に対する相談等や創業支援、中心市街地における交流拠点を活用した賑わいの創出などに取組む必要があると考えられます。

■年齢区別の満足度の状況

n= 1,358



不満に対する満足の回答比 0.23倍



改善度	9位(前回)→11位/32施策 (4.65)	満足度	15位→15位/32施策(16.0%)
		重要度	9位→6位/32施策(0.548)
施策名	2-5 社会保障制度の適正な運営		

【施策の概要】

誰もが健康で安心して生活することができるよう、国民健康保険や後期高齢者医療制度、国民年金の健全かつ持続可能な運営と適正なサービスの提供に努めます。

また、生活困窮者に対しては、生活保護制度の適正な運用を行うとともに、就労支援など自立に向けた相談・指導体制の充実を図ります。

【満足度の分析】

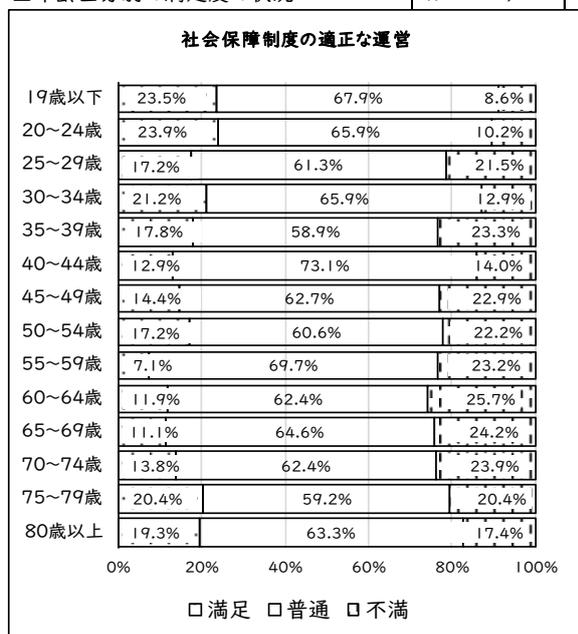
施策に対する「満足度」は32施策中15位と前回調査と同様ですが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は32施策中6位と上位であるため、改善度が11位となっています。

年齢区別では、24歳以下、75歳以上の満足度が比較的高い傾向にある一方、35～74歳では不満の割合が高くなっています。

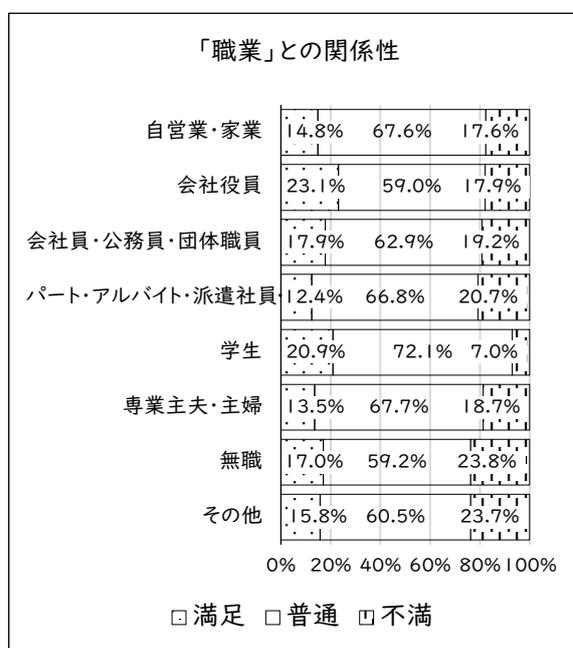
不満の回答に対する満足の回答比は0.83倍であり、不満の回答が満足の回答を若干上回っています。

「職業」との関係性では、前回調査に比べて「会社役員」における満足度が倍増したほか、満足度が低かった「会社員等」や「専業主夫・主婦」では向上した一方で、「自営業・家業」では、満足度が低下していることから、国民健康保険事業をはじめ、後期高齢者、国民年金、生活保護など各制度の適正な運用に努めていく必要があると考えられます。

■年齢区別の満足度の状況 n= 1,367



不満に対する満足の回答比 0.83倍



改善度	5位(前回)→12位/32施策 (4.35)	満足度	21位→20位/32施策(13.6%)
		重要度	11位→10位/32施策(0.528)
施策名	2-4 地域福祉の推進		

【施策の概要】

支え合いの精神に基づく地域福祉への意識醸成を図るとともに、担い手の育成や、福祉・保健・医療・介護・教育等の分野間の協働による地域福祉を推進します。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は32施策中20位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は32施策中10位と上位であるため、改善度が12位となっています。

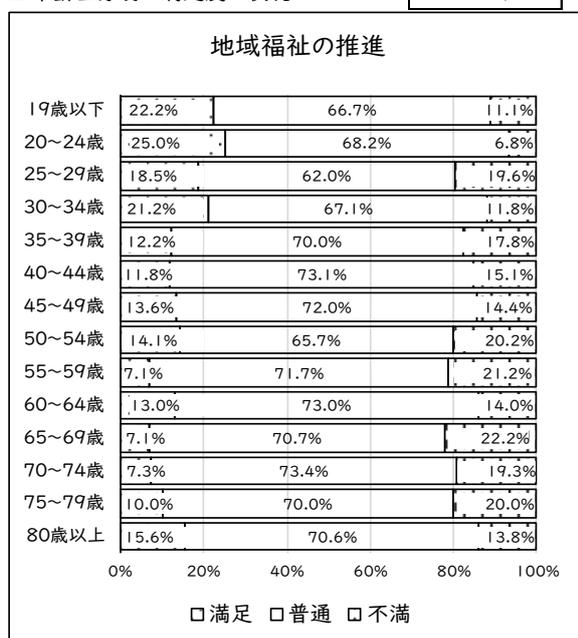
年齢区別では、24歳以下、80歳以上の満足度が比較的高い傾向にある一方、35～79歳では不満の割合が高くなっています。

不満の回答に対する満足の回答比は0.85倍であり、不満の回答が満足の回答を若干上回っています。

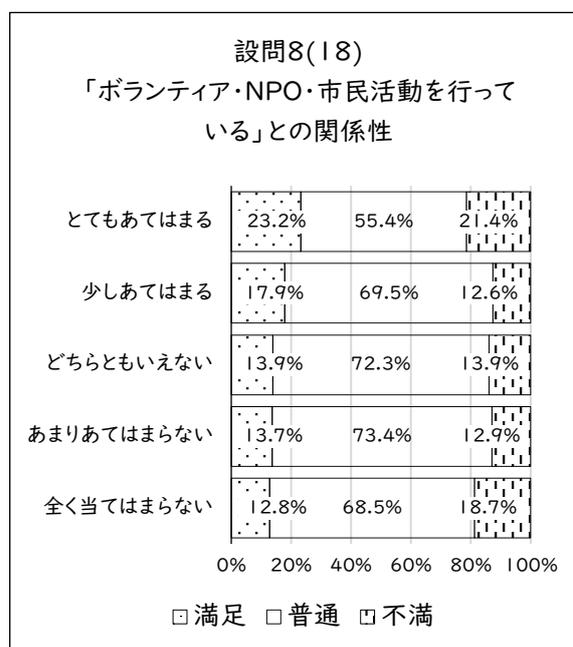
設問8の「⑩ボランティア・NPO・市民活動を行っている」との関係性では、ボランティア活動等を行っているほど、満足度も高くなる傾向にあり、また、「⑨地域で困っている人を助けたり、声をかけたりしたことがある」との関係性においても同様の傾向であるため、地域福祉の理解を深めるための情報発信や啓発、福祉活動の担い手の育成・確保を図ることも必要と考えられます。

■年齢区別の満足度の状況

n= 1,362



不満に対する満足の回答比 0.85倍



改善度	14位(前回)→13位/32施策 (2.49)	満足度	13位→17位/32施策(15.4%)
		重要度	13位→10位/32施策(0.528)
施策名	4-3 生涯学習の振興と社会教育の充実		

【施策の概要】

市民の誰もがそれぞれの関心に応じて自由に学ぶことができるよう、多様なニーズに対応した学習機会や情報の提供を行うとともに、生涯学習センターや図書館等の施設について、適切な維持管理と利便性の向上に努めます。

【満足度の分析】

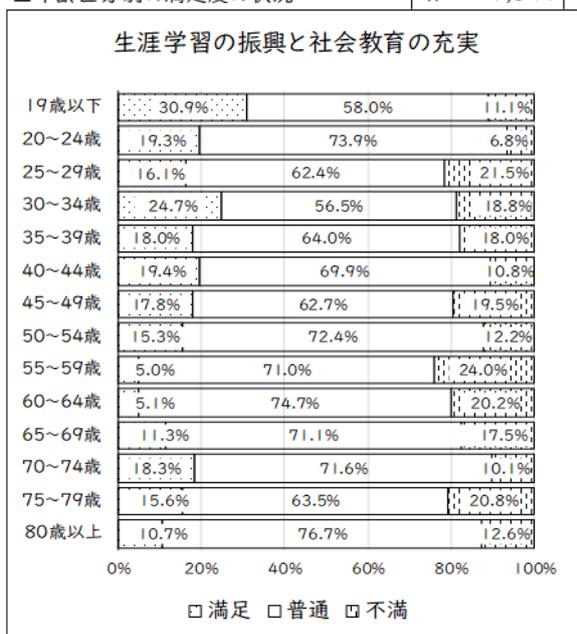
施策に対する「満足度」は32施策中17位と前回調査に比べて下がっていますが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は32施策中10位と中位であるため、改善度が13位となっています。

年齢区別では、24歳以下、70～74歳の満足度が比較的高い傾向にあります。

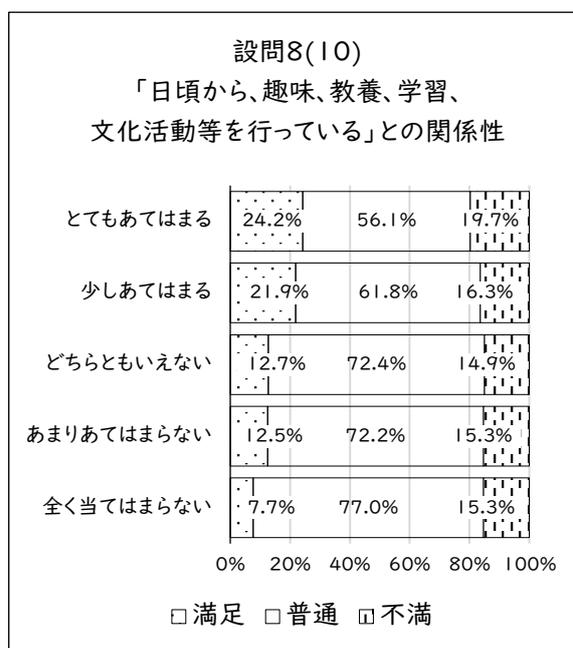
不満の回答に対する満足の回答比は0.99倍であり、満足の回答と不満の回答がほぼ均衡しています。

設問8の「⑩日頃から、趣味、教養、学習、文化活動等を行っている」との関係性では、前回同様、日頃から活動等を行っている方が満足度は高く、不満の割合も低くなることから、コロナ渦においても多様な学習機会の提供をはじめ、主体的に学ぶことのできる学習環境の充実や情報発信に努める必要があると考えられます。

■年齢区別の満足度の状況 n= 1,349



不満に対する満足の回答比 0.99倍



改善度	7位(前回)→14位/32施策 (2.33)	満足度	11位→10位/32施策(18.3%)
		重要度	4位→6位/32施策(0.548)
施策名	5-2 快適な道路環境の確保		

【施策の概要】

快適かつ安全に利用できる道路環境を確保するため、国・道とも連携し、都市の骨格となる幹線道路や市民の暮らしを支える生活道路の整備を計画的に進めるとともに、老朽化した道路・橋梁の長寿命化を図るなど、適正な維持管理に努めます。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は32施策中10位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は32施策中6位と上位であるため、改善度が14位となっています。

年齢区分別では、24歳以下では満足度がやや高い傾向にありますが、25歳以上では不満の割合が高くなっています。

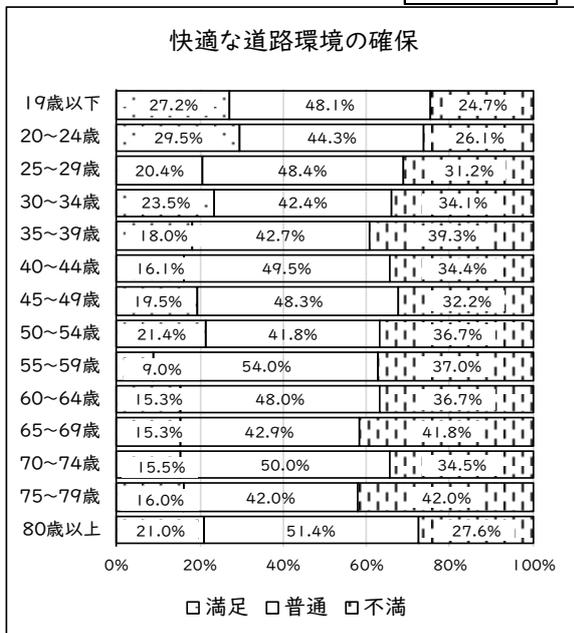
不満の回答に対する満足の回答比は0.55倍であり、不満の回答が満足の回答を上回っています。

満足の割合は「大和」地区を除き、不満の割合が高くなっている特徴があります。また、「北村」地区では、不満の割合が満足と普通の回答を上回っています。

「居住地域」との関係性では、各地区の回答数が大きく異なるため、相対的な比較はできませんが、舗装の延命化やコスト縮減、環境負荷の低減に寄与した道路環境の確保に努める必要があると考えられます。

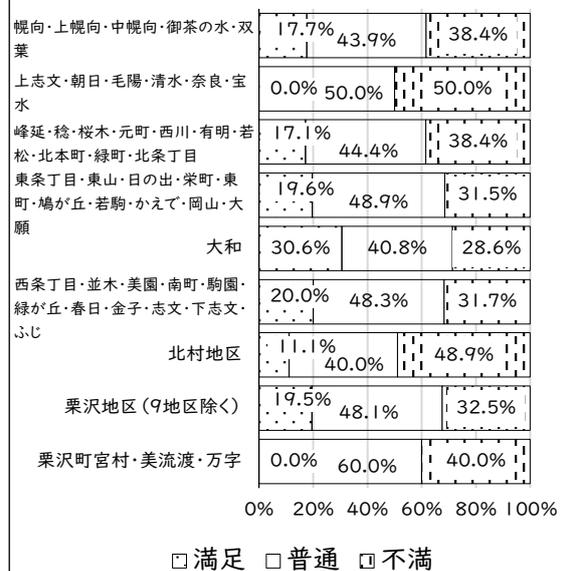
■年齢区分別の満足度の状況

n = 1,356



不満に対する満足の回答比 0.55倍

「居住地域」との関係性



改善度	16位(前回)→15位/32施策 (0.93)	満足度	24位→27位/32施策(11.0%)
		重要度	23位→25位/32施策(0.484)
施策名	3-5 地域資源を活かした観光の振興		

【施策の概要】

観光誘客の拡大による交流人口の増加や地域の活性化を図るため、関係団体や事業者、市民と行政が一体となって、本市の持つ豊富な地域資源を発掘・活用するとともに、その魅力を広く国内外に情報発信することにより、何度でも訪れたいまちづくりを推進します。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は32施策中27位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は32施策中25位と下位であるため、改善度が15位となっています。

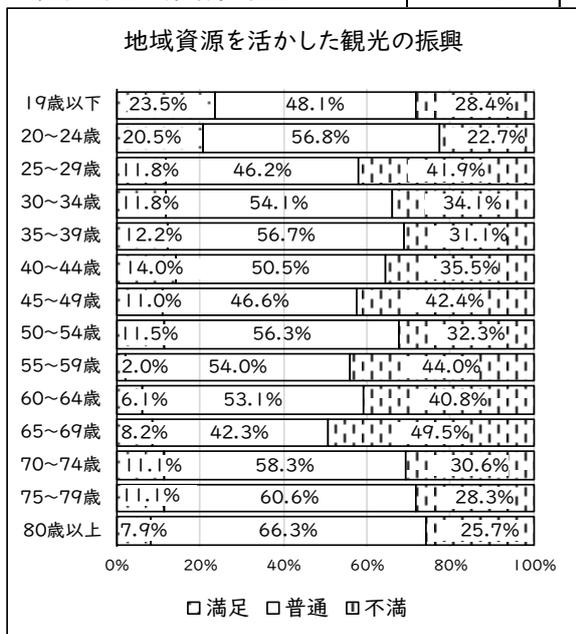
年齢区別では、全体的に不満の割合が高くなっていますが、20～24歳においては不満の割合が3割程度減少し、満足の割合が約2割増加している特徴があります。

不満の回答に対する満足の回答比は0.32倍であり、不満と普通の回答がともに多く、満足の回答を上回っている特徴があります。

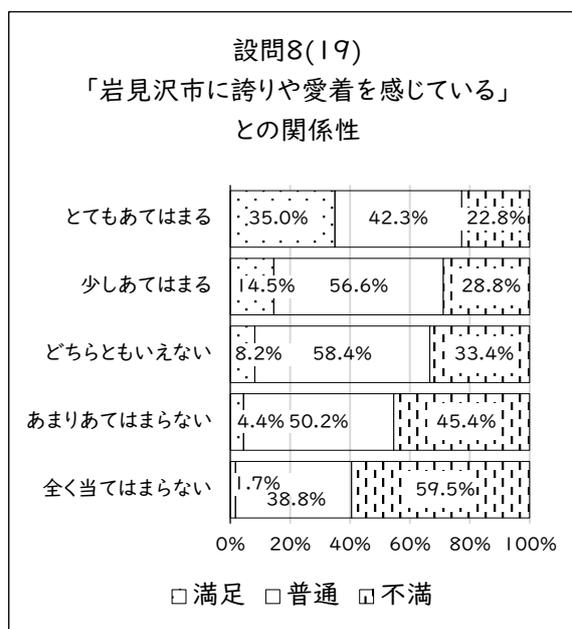
設問8の「①9岩見沢市に誇りや愛着を感じている」との関係性では、誇りや愛着を感じているほど満足度は高く、不満の割合も低くなる傾向にあります。

新型コロナウイルスの影響もあり、満足度は依然として低いことから、インバウンド回復に備えた観光基盤の強化や観光需要の回復に向けた効果的な観光戦略に取り組む必要があると考えられます。

■年齢区別の満足度の状況 n= 1,347



不満に対する満足の回答比 0.32倍



改善度	21位(前回)→16位/32施策 (0.48)	満足度	25位→22位/32施策(12.2%)
		重要度	29位→24位/32施策(0.490)
施策名	1-6 男女共同参画社会の実現		

【施策の概要】

男女が性別にかかわらず社会のあらゆる分野に参画し、その個性と能力が充分発揮できる男女参画社会の実現に向け、普及・啓発や環境づくりを推進します。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は32施策中22位と前回調査に比べて上がっていますが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は32施策中24位と下位であるため、改善度が16位となっています。

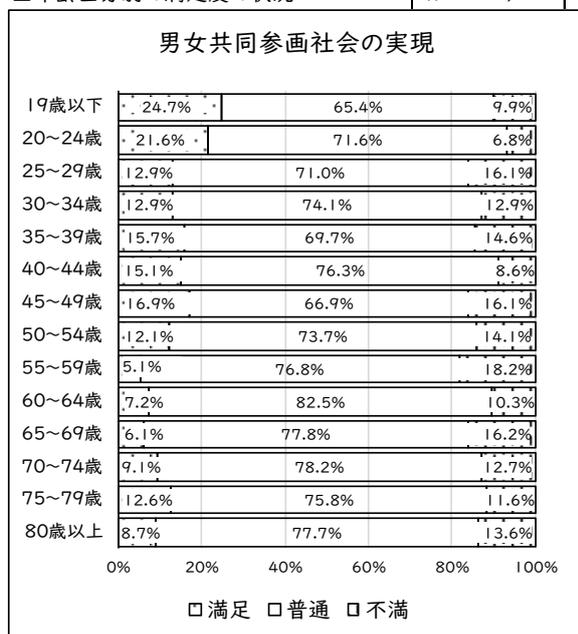
年齢区別では、24歳以下の満足度が若干高い傾向にあります。

不満の回答に対する満足の回答比は0.96倍であり、満足の回答と不満の回答がほぼ均衡しています。

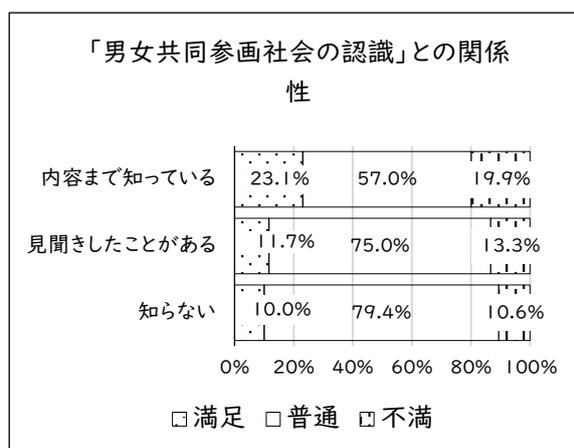
男女共同参画社会の認識度との関係性では、「内容まで知っている」の満足度は比較的高く、不満の割合を上回っている傾向があります。

満足度が下位の施策であり、性別にかかわらず互いに人権を尊重する理念と人々の多様性への理解を広めるための啓発活動や学習機会の提供に努める必要があると考えられます。

■年齢区別の満足度の状況 n= 1,349



不満に対する満足の回答比 0.96倍



改善度	10位(前回)→17位/32施策 (0.14)	満足度	10位→10位/32施策(18.3%)
		重要度	6位→9位/32施策(0.531)
施策名	4-2 学校教育の充実		

【施策の概要】

知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育み、郷土に誇りと愛着をもった子どもを育てるため、一人ひとりの個性を活かし、能力を伸ばす学校教育を推進するとともに、安心して学ぶことのできる指導体制や教育環境の充実に努めます。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は32施策中10位と前回と変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は32施策中9位と上位であるため、改善度が17位となっています。

年齢区別では、24歳以下の満足の割合は不満の割合を上回っていますが、前回調査では不満の割合が満足の割合を7~9%上回っています。

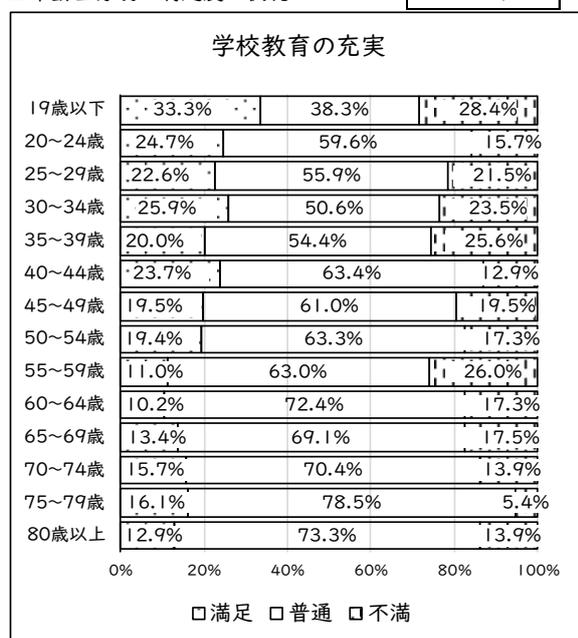
不満の回答に対する満足の回答比は1.03倍であり、満足の回答と不満の回答がほぼ均衡しています。

家族に中学生以下の子どもがいる場合では、いない場合と比較して満足度が約1.7倍となりますが、普通の回答の割合が減り、不満の割合も若干高くなります。

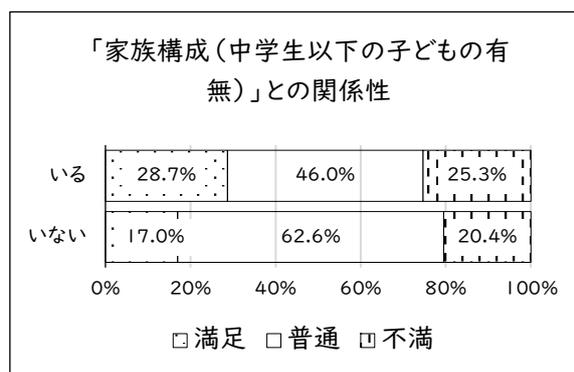
中学生以下の子どもがいる家庭においては、満足度が3割弱となっており、安心して学べる教育環境の充実などの取組みに対して一定程度の評価が得られているものと考えられますが、重要度の高い施策であり、引き続き、確かな学力の定着と向上を図るとともに、社会の変化に対応した教育の充実に努める必要があると考えられます。

■年齢区別の満足度の状況

n= 1,344



不満に対する満足の回答比 1.03倍



改善度	11位(前回)→18位/32施策 (0.01)	満足度	18位→18位/32施策(15.1%)
		重要度	12位→17位/32施策(0.508)
施策名	1-1 地域防災力の向上		

【施策の概要】

災害に強いまちづくりを推進するため、避難行動要支援者等に対する避難支援体制の構築や災害応急体制を強化するとともに、防災意識の高揚や地域内での体制づくりを通じて自助・共助・公助の精神を高め、地域防災力の向上を図ります。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は32施策中18位と前回調査と同様ですが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は32施策中17位と中位であるため、改善度が18位となっています。

年齢区別では、24歳以下、80歳以上の満足度が比較的高い傾向にありますが、前回同様、55～69歳においては不満の回答が満足を上回っています。

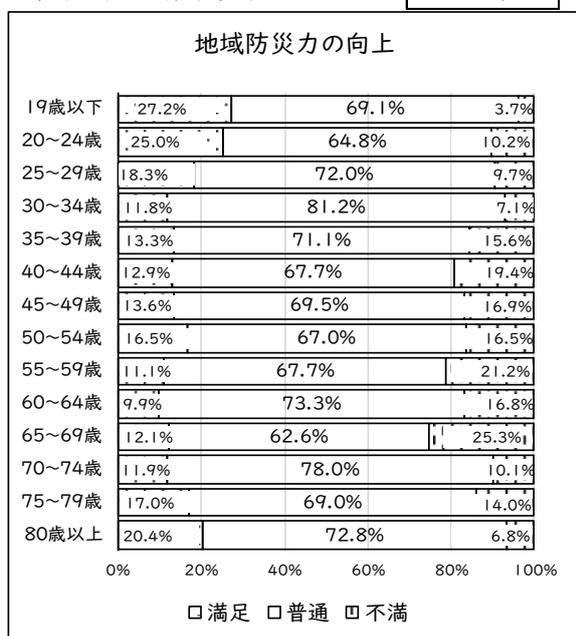
不満の回答に対する満足の回答比は1.10倍であり、満足の回答が不満の回答をやや上回っています。

「家族構成」との関係性では、ひとり暮らしの世帯の満足度が比較的高く、家族が増えるほど、満足度が低くなっています。

また、災害に対する備えとして、「自宅から一番近い避難所とそこまでの経路を知っている」と回答した方が、満足度も高い傾向にあり、災害に対する備えの意識と満足度が関係していると考えられるため、引き続き、市民参加型の防災訓練や防災教育により、市民の防災に対する意識の啓発と高揚を図る必要があると考えられます。

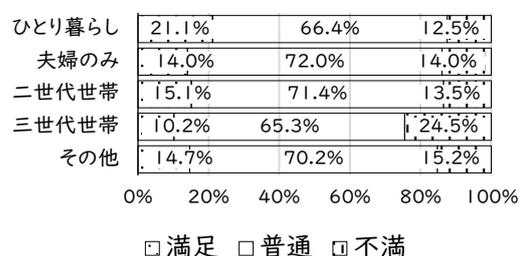
■年齢区別の満足度の状況

n = 1,356

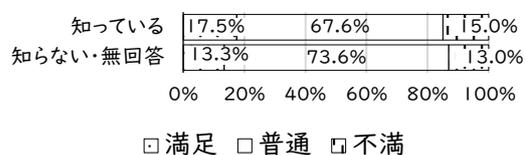


不満に対する満足の回答比 1.10倍

「家族構成」との関係性



設問9(2)⑥「避難所への経路の認知度」との関係性



改善度	23位(前回)→19位/32施策 (▲1.79)	満足度	7位→9位/32施策(20.3%)
		重要度	15位→8位/32施策(0.532)
施策名	2-6 地域医療体制の充実		

【施策の概要】

南空知圏域全体において専門性の高い良質な医療を確保できるよう、病床機能の分化を図り、医療機関相互の役割分担と連携を促進することにより、医療ニーズに即し、地域で完結する医療提供体制の構築を目指すとともに、市立総合病院は、その中核的な役割を担う基幹病院として、高度医療等を提供する体制の充実に向けた取組みを推進します。また、夜間や休日における急病患者に対する適切な医療の確保に努めます。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 9 位と前回調査に比べて下がっていますが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は 32 施策中 8 位と上位であるため、改善度が 19 位となっています。

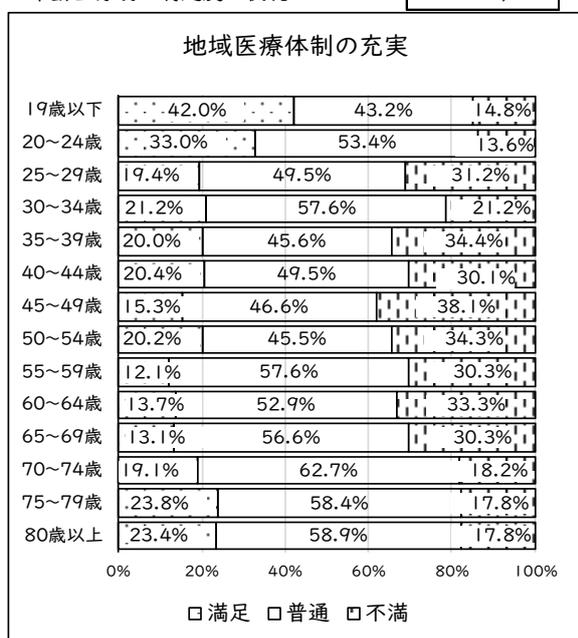
年齢区別では、24 歳以下、70 歳以上の満足度が高い傾向にありますが、前回同様、35～64 歳においては不満の回答が満足の回答を上回っています。

不満の回答に対する満足の回答比は 0.79 倍であり、不満の回答が満足の回答を上回っています。

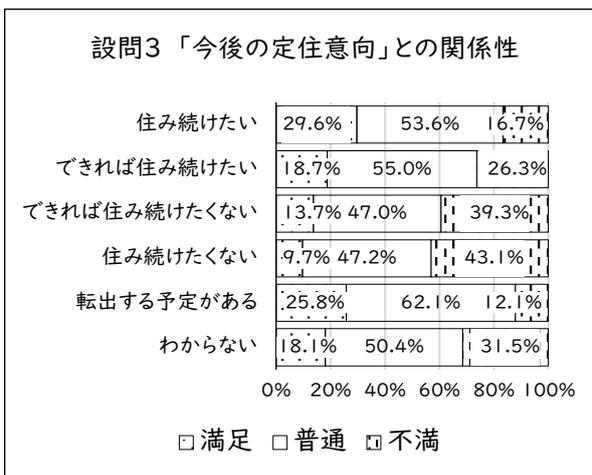
設問 3 の「今後の定住意向」との関係性では、定住意向が強いほど満足度が高く、不満の割合も低くなることから、満足度と定住意向に一定程度のある関係があると考えられます。

満足度は比較的高い施策ですが、住み慣れた地域で適切な医療サービスの提供ができるよう、地域医療体制の充実が市民生活を維持する上で重要な施策であると言えます。

■年齢区別の満足度の状況 n= 1,365



不満に対する満足の回答比 0.79倍



改善度	13位(前回)→20位/32施策 (▲2.19)	満足度	12位→13位/32施策(17.3%)
		重要度	10位→17位/32施策(0.508)
施策名	4-1 子ども・子育て支援の充実		

【施策の概要】

結婚から妊娠・出産・子育てにいたる切れ目のない支援の充実を図るとともに、地域全体で子どもの健やかな成長や子育てを支えていくための総合的な環境整備を推進します。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は32施策中13位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は32施策中17位と中位であるため、改善度が20位となっています。

年齢区別では、前回同様30～34歳の満足度が高くなっており、45歳以上においては不満の回答が満足の回答を上回っています。

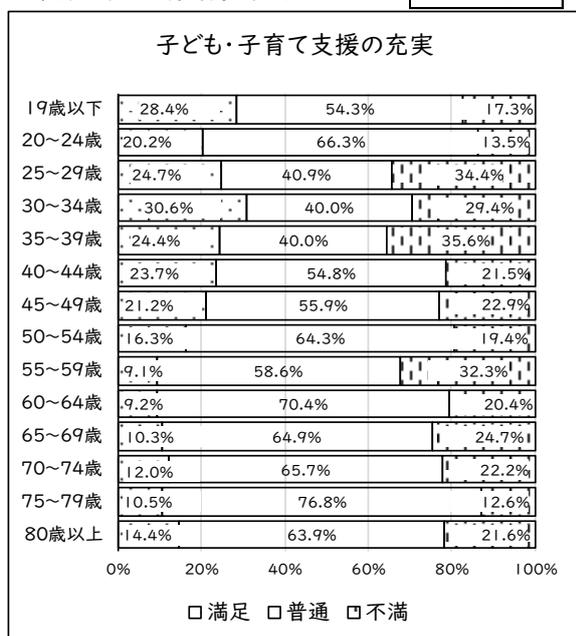
不満の回答に対する満足の回答比は0.77倍であり、不満の回答が満足の回答を上回っています。

家族に中学生以下の子どもがいる場合では、いない場合と比較して満足度が2倍以上となりますが、普通の回答の割合が減り、不満の割合も若干高くなります。

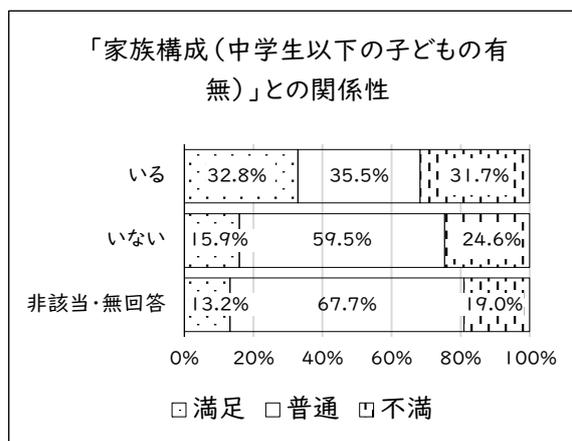
中学生以下の子どもがいる家庭においては、満足度が3割以上となっており、子育てを支える環境の整備や相談体制の充実などの取組みに対して一定程度の評価が得られているものと考えられますが、長引くコロナ禍の中にあって、子育ての不安や負担を軽減し、安心して子育てができる環境づくりに努める必要があると考えられます。

■年齢区別の満足度の状況

n= 1,341



不満に対する満足の回答比 0.77倍



改善度	19位(前回)→21位/32施策 (▲3.04)	満足度	16位→14位/32施策(16.5%)
		重要度	21位→22位/32施策(0.495)
施策名	2-3 障がい者福祉の充実		

【施策の概要】

ノーマライゼーションの理念のもと、障がいのある人も住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、市民一人ひとりが障がいや障がいのある人に対する理解を深める中で、多様なニーズに対応した相談支援やサービス提供体制の充実を図るとともに、就労支援や芸術文化・スポーツなどの社会参加の支援に取り組めます。

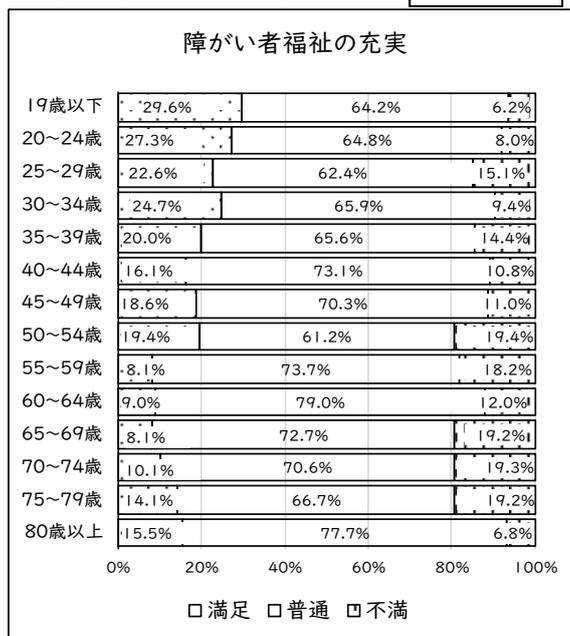
【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は32施策中14位と前回調査に比べて上がっていますが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は32施策中22位と下位であるため、改善度が21位となっています。

年齢区別では、前回同様19歳以下の満足度が最も高く、その親世代にあたる年齢層まで比較的高い傾向にあります。

不満の回答に対する満足の回答比は1.24倍であり、満足の回答が不満の回答を上回っています。

■年齢区別の満足度の状況 n= 1,355



改善度	18位(前回)→22位/32施策 (▲3.06)	満足度	27位→29位/32施策(8.2%)
		重要度	27位→32位/32施策(0.436)
施策名	3-7 国際・地域間交流の推進		

【施策の概要】

海外の姉妹都市との交流活動の推進を通じた国際感覚の醸成や多文化への理解の促進を図るとともに、市内在住の外国人や観光客が快適に過ごすことができるような共生のまちづくりを推進します。

また、国内の都市間交流を深め、地域間連携の強化や交流人口の増加を図ります。

【満足度の分析】

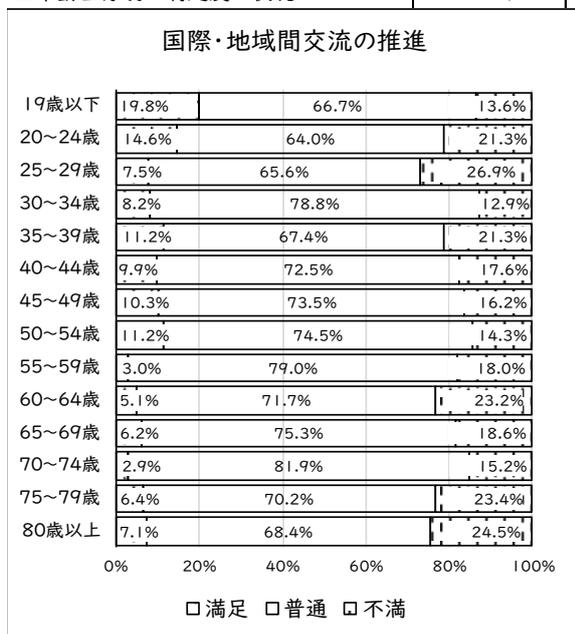
施策に対する「満足度」は 32 施策中 29 位と前回調査に比べて下がっており、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係（重要度）も 32 施策中最下位であるため、改善度が 22 位となっています。

年齢区別では、19 歳以下を除き、不満の割合が高い傾向にあります。

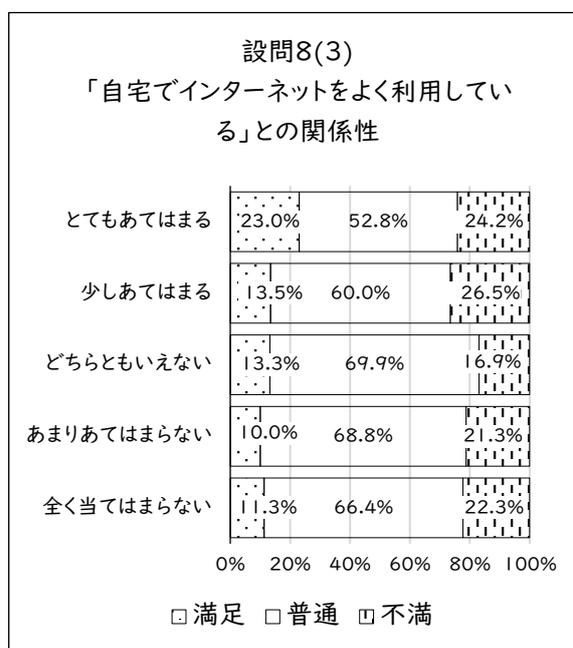
不満の回答に対する満足の回答比は 0.45 倍であり、不満の回答が満足の回答を上回っています。

設問 8 の「③自宅でインターネットをよく利用している」との関係性では、利用しているほど、満足度は高くなる傾向にありますが、新型コロナウイルスの影響を受けやすい施策でもあるため、新たな生活様式として急速に普及したオンライン機能を用いた交流や対面とミックスした形態での取組みについて検討する必要があると考えられます。

■年齢区別の満足度の状況 n= 1,336



不満に対する満足の回答比 0.45倍



改善度	27位(前回)→23位/32施策 (▲4.66)	満足度	14位→12位/32施策(18.1%)
		重要度	28位→22位/32施策(0.495)
施策名	1-5 地域コミュニティの活性化		

【施策の概要】

市民の参画と協働のもと、市民が主体となって地域課題を解決していくための取組みを支援することにより、地域コミュニティ機能の維持・向上と活性化を図ります。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は32施策中12位と前回調査に比べて上がっていますが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は32施策中22位と中位であるため、改善度が23位となっています。

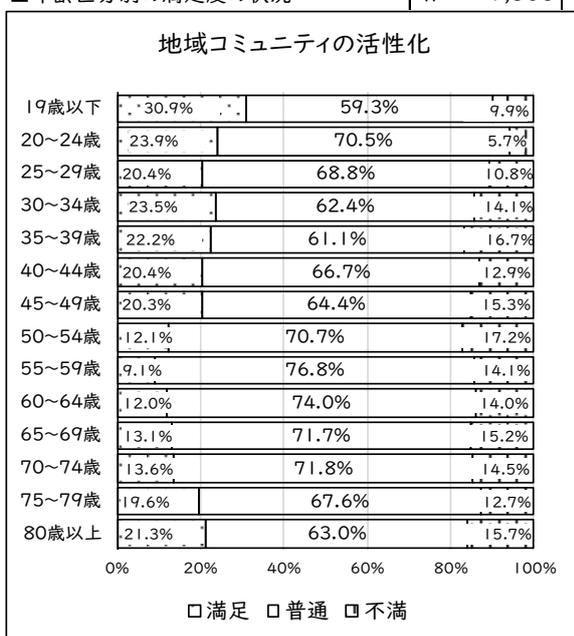
年齢区別では、49歳までの満足度が比較的高く、50～74歳では不満の割合が高くなっており、このうち50～64歳までにおいては前回同様の傾向となっています。

不満の回答に対する満足の回答比は1.35倍であり、満足の回答が不満の回答を上回っています。

設問8の「⑰地縁的な活動を行っている」との関係性では、活動を行っている方が満足度は高くなる傾向にあり、また、「⑧ある程度、親しくしている人が隣近所にいる」との関係性においても同様の傾向であるため、多くの市民や団体等がまちづくり活動に参画するための支援や普及啓発に努める必要があると考えられます。

■年齢区別の満足度の状況

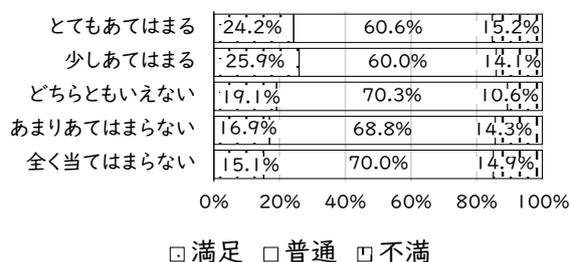
n= 1,365



不満に対する満足の回答比 1.35倍

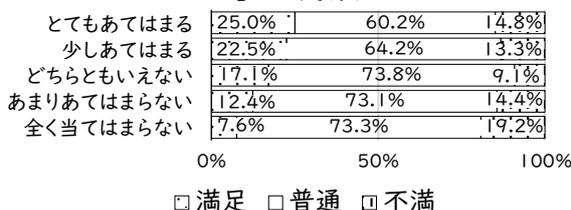
設問8(17)

「地縁的な活動を行っている」との関係性



設問8(8)

「ある程度、親しくしている人が隣近所にいる」との関係性



改善度	28位(前回)→24位/32施策 (▲5.07)	満足度	26位→21位/32施策(13.2%)
		重要度	32位→30位/32施策(0.457)
施策名	3-1 農林業の振興		

【施策の概要】

本市農業の持続的発展を目指し、農業経営の安定と農業所得の向上への取組みや、担い手の育成・確保を進めるとともに、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮等を通じた農村地域の振興を推進します。

林業の振興にあつては、森林の有する多面的機能を維持・発揮させるよう、計画的な整備と保全に努めます。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は32施策中21位と前回調査に比べて上がっていますが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)も30施策中30位と下位であるため、改善度が24位となっています。

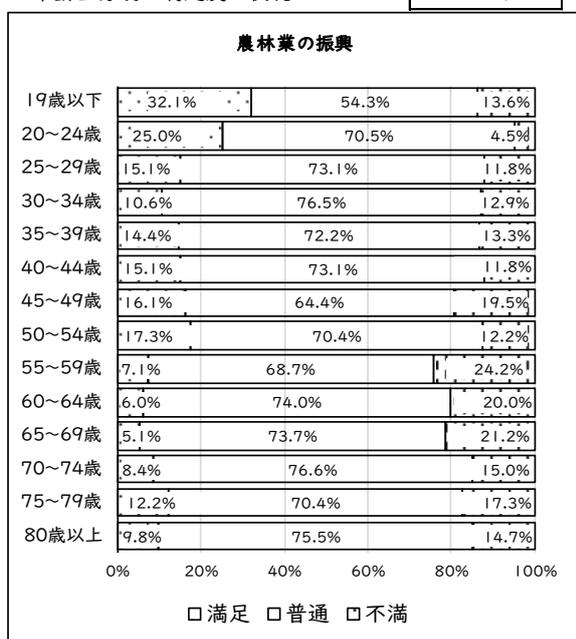
年齢区分別では、24歳以下の満足度が比較的高く、55歳以上では不満の割合が高い傾向にあり、相対的には前回同様の傾向となっていますが、依然として55～74歳における不満の割合が高い傾向にあります。

不満の回答に対する満足の回答比は0.88倍であり、不満の回答が満足の回答を若干上回っています。

「居住地域」との関係性では、各地区の回答数が大きく異なるため、相対的な比較はできませんが、北村地区においては前回調査に比べ、満足度が約4倍となっています。

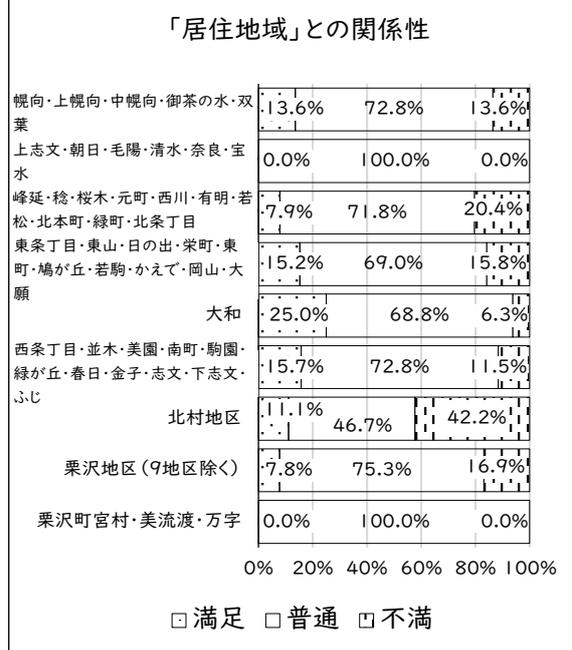
■年齢区分別の満足度の状況

n= 1,351



不満に対する満足の回答比 0.88倍

「居住地域」との関係性



改善度	22位(前回)→25位/32施策 (▲7.71)	満足度	6位→7位/32施策(22.0%)
		重要度	14位→21位/32施策(0.501)
施策名	2-2 高齢者福祉の充実		

【施策の概要】

高齢者が生きがいをもちながら、住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるよう、健康を維持し、自立した生活を送ることのできる環境づくりを進めるとともに、就労や地域活動、趣味などを通じた積極的な社会参加の機会の拡充を図ります。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 7 位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は 32 施策中 21 位と中位であるため、改善度が 25 位となっています。

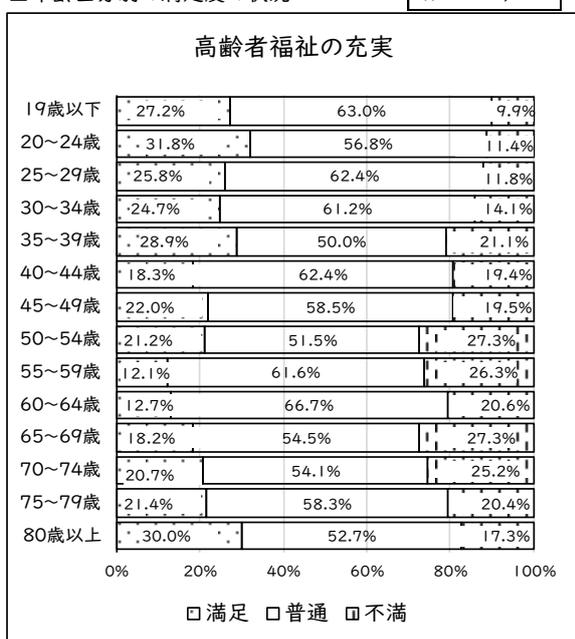
年齢区分別では、39 歳以下と 75 歳以上の満足度が比較的高い傾向にありますが、60～74 歳では前回調査から一転し、不満の回答が満足の回答を上回っています。

不満の回答に対する満足の回答比は 1.13 倍であり、満足の回答と不満の回答がほぼ均衡しています。

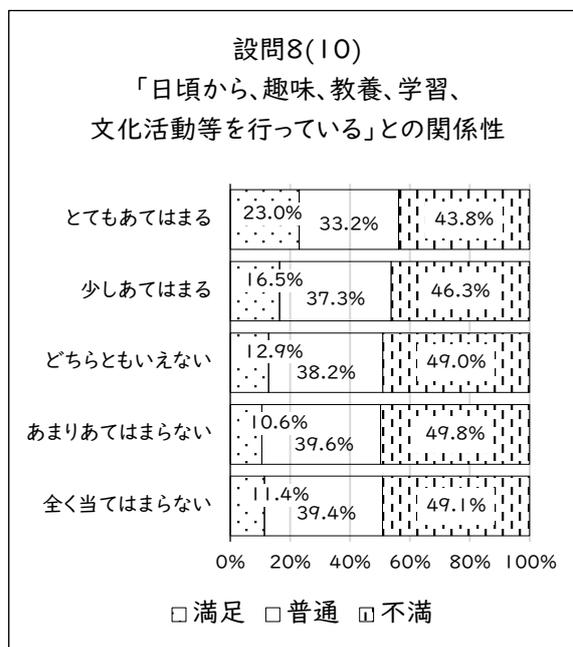
設問 8 の「⑩日頃から、趣味、教養、学習、文化活動等を行っている」との関係性では、日頃から活動等を行っている方の満足度は高く、不満の割合も低くなることから、新型コロナウイルスの感染状況に注視しながら、高齢者の知識や経験を活かした地域活動への参加や就業、趣味、交流などの多様な機会を通じ、高齢者の生きがいづくりや社会参加の推進に取り組む必要があると考えられます。

■年齢区分別の満足度の状況

n= 1,371



不満に対する満足の回答比 1.13倍



改善度	25 位(前回)→26 位/32 施策 (▲8.68)	満足度	9 位→8 位/32 施策 (20.6%)
		重要度	19 位→25 位/32 施策 (0.484)
施策名	4-4 芸術文化・スポーツの振興		

【施策の概要】

市民の芸術文化活動への支援や芸術文化に親しむ環境づくりに努めるとともに、文化財や郷土芸能の保存・継承と活用を通じ、郷土への理解と関心の醸成を図ります。

また、誰もが生涯にわたってスポーツに親しむことのできるよう、競技スポーツと生涯スポーツの推進を図ります。

さらに、北海道教育大学岩見沢校とも連携し、市民が「芸術文化・スポーツのまち」を実感することのできる取組みを推進します。

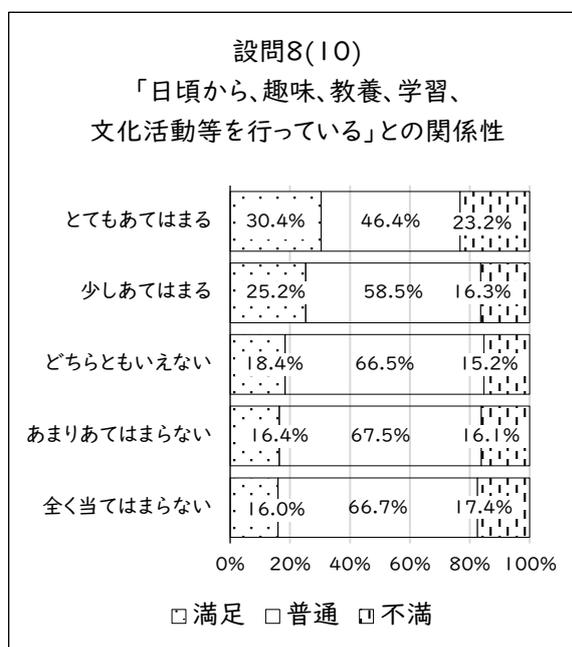
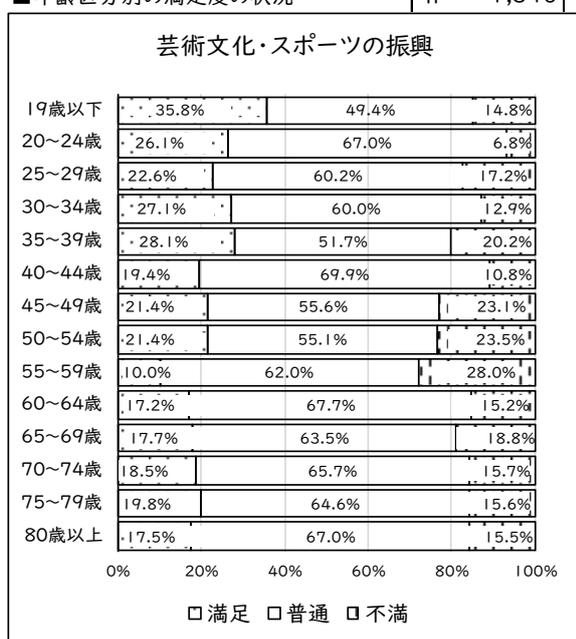
【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 8 位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係（重要度）は 32 施策中 25 位と下位であるため、改善度が 26 位となっています。

年齢区別では、39 歳以下の満足度が高い傾向にあり、前回同様の傾向にあります。不満の回答に対する満足の回答比は 1.23 倍であり、満足の回答が不満の回答を上回っています。

設問 8 の「⑩日頃から、趣味、教養、学習、文化活動等を行っている」との関係性では、日頃から活動等を行っている方の満足度は高く、また、「⑪スポーツ等を通じて定期的に体を動かしている」との関係性においても、同様の傾向となることから、誰もが生涯にわたって芸術文化・スポーツに親しむことができる環境づくりが必要であると考えられます。

■年齢区別の満足度の状況 n= 1,346



不満に対する満足の回答比 1.23倍

改善度	24位(前回)→27位/32施策 (▲9.76)	満足度	8位→5位/32施策(26.3%)
		重要度	16位→14位/32施策(0.517)
施策名	1-4 安全・安心な生活環境の確保		

【施策の概要】

市民が安心して暮らせる地域社会の実現に向け、地域が一体となって、防犯や交通安全に対する意識醸成を図るとともに、防犯活動や交通安全対策を推進します。

また、消費者被害やトラブルを未然に防ぐとともに、消費生活の安定と向上を図るため、相談体制の強化や情報提供・啓発活動の充実に努めます。

【満足度の分析】

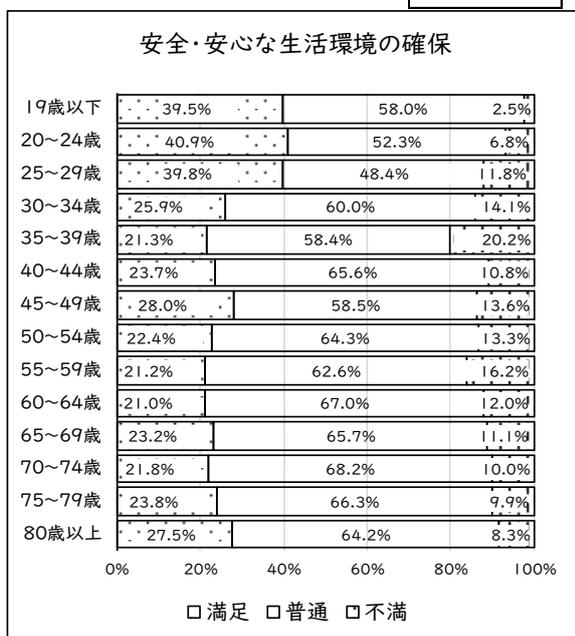
施策に対する「満足度」は32施策中5位と前回調査に比べて上がっていますが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は32施策中14位と中位であるため、改善度が27位となっています。

年齢区別では、どの年齢層も満足度が高く、30～34歳では16.3%から25.9%、50～54歳では16.0%から22.4%と前回調査と比べて満足度が上昇しています。

不満の回答に対する満足の回答比は2.32倍であり、満足の回答が不満の回答を大きく上回っています。

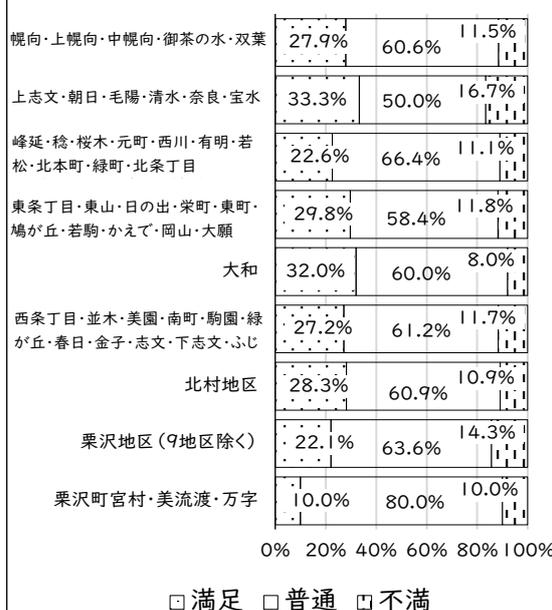
「居住地域」との関係性では、各地区の回答数が大きく異なるため、相対的な比較はできませんが、どの居住地域においても満足度の割合が不満の割合を上回っています。

■年齢区別の満足度の状況 n= 1,363



不満に対する満足の回答比 2.32倍

「居住地域」との関係性



改善度	26位(前回)→28位/32施策 (▲12.58)	満足度	5位→3位/32施策(29.8%)
		重要度	8位→13位/32施策(0.522)
施策名	5-5 緑豊かなまちづくりの推進		

【施策の概要】

地域の特性や市民のニーズに対応した公園・緑地の計画的かつ適正な維持管理に努めるとともに、市民や民間事業者との協働による緑の街並みづくりや保全活動を推進することにより、本市の特性を活かした緑あふれる都市空間の形成を図ります。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 3 位と前回調査に比べて上がっていますが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)も 32 施策中 13 位と中位であるため、改善度が 28 位となっています。

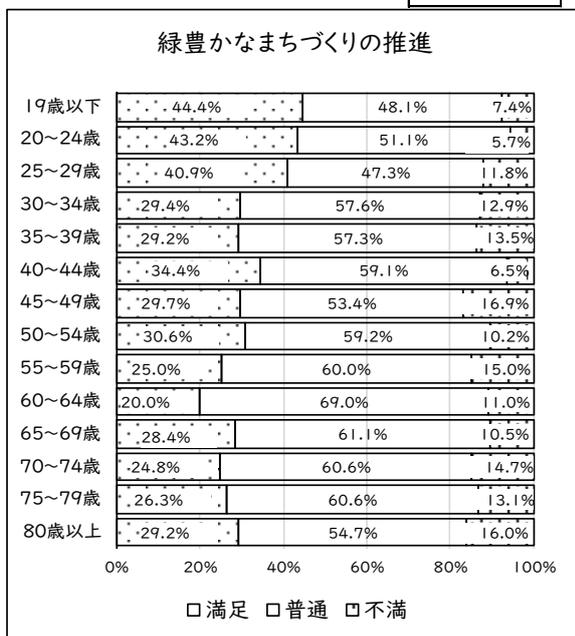
年齢区分別では、前回同様、どの年齢層も満足度が高い傾向にあります。

不満の回答に対する満足の回答比は 2.54 倍であり、満足の回答が不満の回答を大きく上回っています。

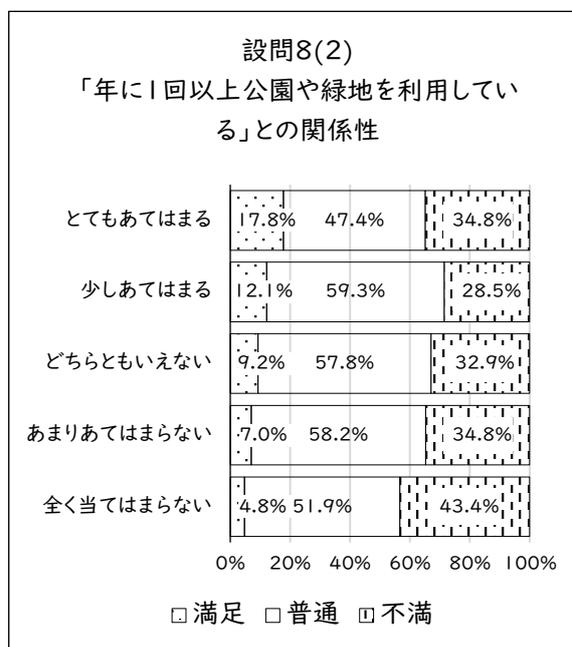
設問 8 の「②年に 1 回以上公園や緑地を利用している」との関係性では、利用している方ほど、満足度は高くなる傾向にあることから、自然環境の保全をはじめ、市民が緑や自然に親しむ機会の創出と利用の促進に取り組む必要があると考えられます。

■年齢区分別の満足度の状況

n= 1,354



不満に対する満足の回答比 2.54倍



改善度	30 位(前回)→29 位/32 施策 (▲15.60)	満足度	3 位→6 位/32 施策 (26.1%)
		重要度	20 位→27 位/32 施策 (0.473)
施策名	5-4 上下水道の適正な運営		

【施策の概要】

上水道においては安全で良質な水の安定供給、下水道においては居住環境の向上と公共用水域の水質保全の確保を基本とし、施設の更新・長寿命化を計画的に進めるとともに、効率的な維持管理を通じた健全経営の維持に努めます。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 6 位と前回調査に比べて下がっていますが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係（重要度）は 32 施策中 27 位と下位であるため、改善度が 29 位となっています。

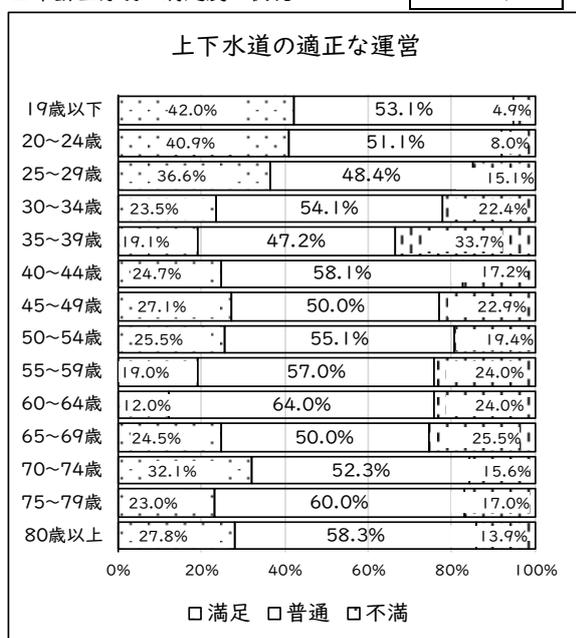
年齢区分別では、29 歳以下、70～74 歳の満足度が高い傾向にありますが、35～39 歳、55～69 歳では前回調査から一転し、不満の回答が満足の回答を上回っています。

不満の回答に対する満足の回答比は 1.41 倍であり、満足の回答が不満の回答を大きく上回っています。

設問 3 の「今後の定住意向」との関係性では、定住意向が強いほど満足度が高く、不満の割合も低くなる傾向があり、また、「家族構成」との関係性においても同様の傾向があることから、日常生活や経済活動に欠かすことのできないライフラインである水の安定供給や水質の保全、上下水道事業の健全経営を維持していくことが必要と考えられます。

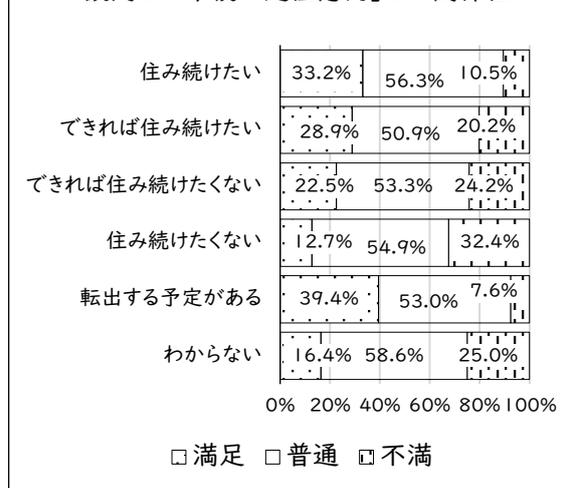
■年齢区分別の満足度の状況

n = 1,360



不満に対する満足の回答比 1.41倍

設問3 「今後の定住意向」との関係性



改善度	29位(前回)→30位/32施策 (▲16.22)	満足度	4位→4位/32施策(26.5%)
		重要度	18位→28位/32施策(0.472)
施策名	1-2 総合的な雪対策の推進		

【施策の概要】

冬期間の安全・安心な暮らしを確保するため、地域や事業者との協働により、効率的な除排雪体制の構築や地域自主排雪に対する支援を行うとともに、高齢者世帯等の除雪弱者への支援など、地域のニーズに即した「総合的な雪対策」を推進します。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 4 位と前回調査と同様ですが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は 32 施策中 28 位と下位であるため、改善度が 30 位となっています。

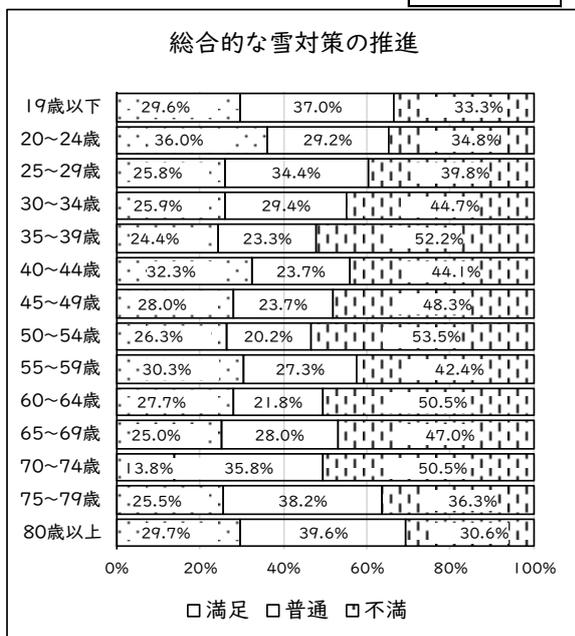
年齢区分別では、どの年齢層も一定の満足度はありますが、すべての年齢層において不満の回答割合が高く、その割合も前回に比べて上昇傾向にあります。

不満の回答に対する満足の回答比は 0.62 倍であり、普通の回答が少なく、不満の回答が満足の回答を上回っています。

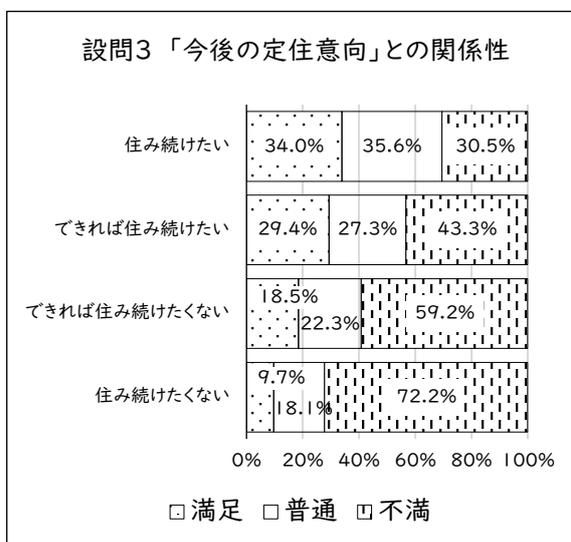
設問 3 の「今後の定住意向」との関係性では、定住意向が強いほど満足度が高く、不満の割合も低くなる傾向にあることから、引き続き、総合的な雪対策や協働による除排雪支援に取り組む必要があると考えられます。

■年齢区分別の満足度の状況

n = 1,370



不満に対する満足の回答比 0.62倍



改善度	32位(前回)→31位/32施策 (▲22.26)	満足度	1位→2位/32施策(31.7%)
		重要度	25位→29位/32施策(0.466)
施策名	2-1 健康づくりの推進		

【施策の概要】

いつまでも健康で生きがいをもった生活を送ることができるよう、市民一人ひとりのライフステージに応じた主体的な健康づくりを支援するとともに、産学官金が一体となって市民の健康を支える地域社会「健康コミュニティ」を推進します。

【満足度の分析】

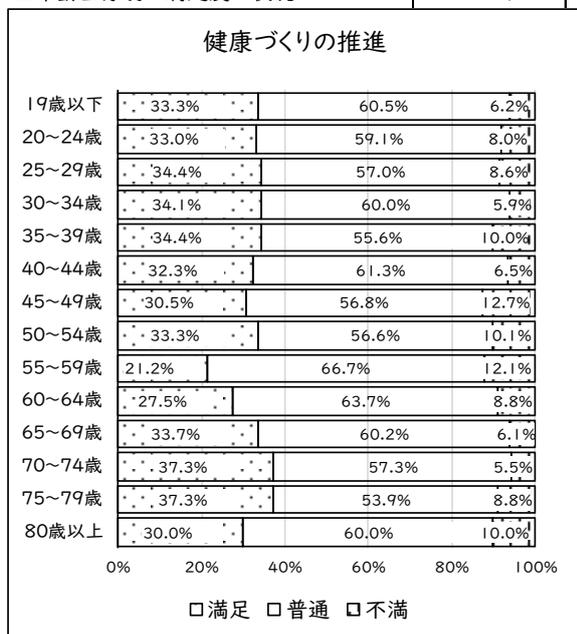
施策に対する「満足度」は 32 施策中 2 位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は 32 施策中 29 位と下位であるため、改善度が 31 位となっています。

年齢区分別では、どの年齢層も満足度が高い傾向にあります。

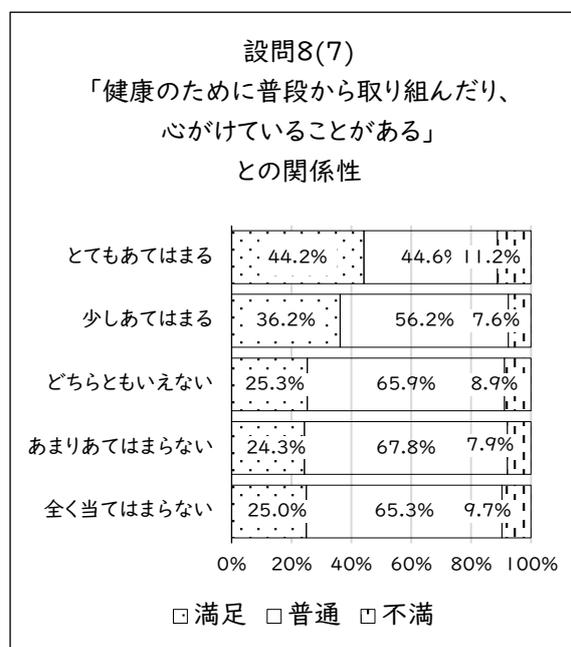
不満の回答に対する満足の回答比は 3.72 倍であり、満足の回答が不満の回答を大きく上回っています。

設問 8 の「⑦健康のために普段から取り組んだり、心がけていることがある」との関係性では、健康に対する意識が高いほど満足度が高くなる傾向にあることから、健康コミュニティの推進のほか、市民の健康への意識や関心を高めるための取組みが必要と考えられます。

■年齢区分別の満足度の状況 n= 1,368



不満に対する満足の回答比 3.72倍



改善度	31位(前回)→32位/32施策 (▲25.95)	満足度	2位→1位/32施策(33.2%)
		重要度	26位→31位/32施策(0.450)
施策名	1-3 消防・救急体制の充実		

【施策の概要】

市民の尊い生命や財産を守るため、関係機関・団体等とも連携し、火災予防対策を推進するとともに、消防力の強化と救急・救助体制の充実を図ります。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は32施策中1位となっていますが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は32施策中31位と下位であるため、改善度が32位となっています。

年齢区別では、全体的に満足度は高く、前回同様の傾向となっています。

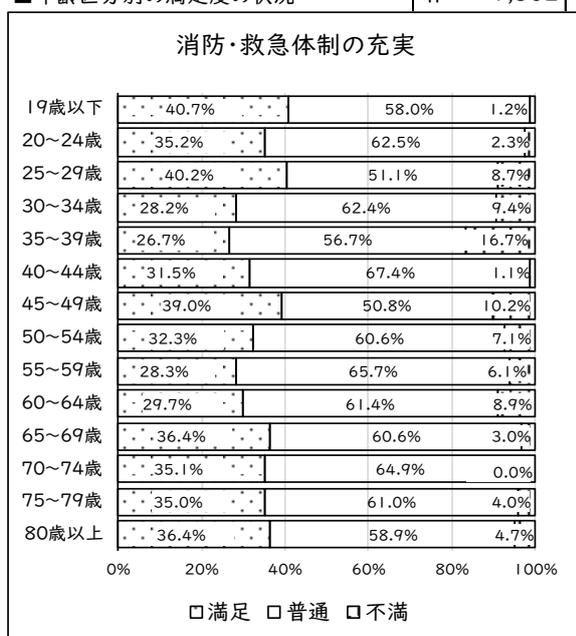
不満の回答に対する満足の回答比は5.66倍であり、満足の回答が不満の回答を大きく上回っています。

「家族構成」との関係性では、どの世帯においても満足度が高く、不満の割合が極めて低くなっています。

消防車両等の計画的な更新や地域への防火指導のほか、消防訓練や救急講習など、防火意識等の高揚を図る取組みに努めていることなどから、施策満足度が上位となることが考えられます。

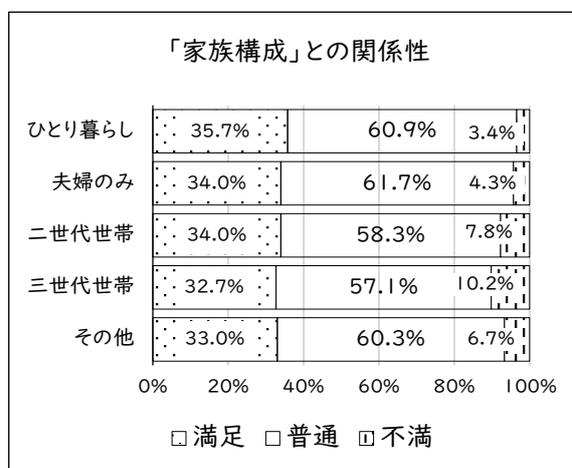
■年齢区別の満足度の状況

n= 1,362



不満に対する満足の回答比 5.66倍

「家族構成」との関係性



(4) 満足度と定住意向の関係性

①年齢区分別の関係性

基本施策の満足度と設問 3「定住意向」の相関関係から、基本施策の満足度が定住意向に与える影響(重要度)について分析を行います。

定住意向は、仕事の都合や家族との関係など、個々の事情によるところが大きく、必ずしも基本施策の満足度に左右されるものではありませんが、年齢区分別に施策の満足度と定住意向の関係性を検証し、今後の人口減少対策を検討するための要素の1つと位置づけます。

【基本施策の満足度と定住意向の相関関係】

基本施策	基本施策の満足度と定住意向の相関関係(重要度:相関係数)							
	全体		ヤング 39歳以下		ミドル 40-64歳		シニア 65歳以上	
	順位	指標	順位	指標	順位	指標	順位	指標
1-1 地域防災力の向上	14	0.202	6	0.248	29	0.165	14	0.170
1-2 総合的な雪対策の推進	1	0.269	7	0.246	10	0.226	1	0.335
1-3 消防・救急体制の充実	17	0.194	30	0.126	20	0.205	12	0.192
1-4 安全・安心な生活環境の確保	19	0.182	29	0.135	18	0.208	7	0.210
1-5 地域コミュニティの活性化	28	0.166	27	0.158	29	0.165	15	0.169
1-6 男女共同参画社会の実現	29	0.163	17	0.211	26	0.169	29	0.101
2-1 健康づくりの推進	25	0.172	22	0.175	25	0.179	22	0.128
2-2 高齢者福祉の充実	7	0.232	11	0.227	5	0.258	4	0.234
2-3 障がい者福祉の充実	12	0.207	20	0.196	9	0.237	9	0.199
2-4 地域福祉の推進	13	0.203	21	0.189	13	0.220	6	0.213
2-5 社会保障制度の適正な運営	9	0.223	8	0.233	23	0.188	2	0.253
2-6 地域医療体制の充実	4	0.241	14	0.214	12	0.221	3	0.249
3-1 農林業の振興	32	0.104	32	0.023	32	0.131	21	0.130
3-2 商工業の振興と中心市街地の活性化	8	0.230	10	0.231	1	0.271	11	0.195
3-3 新産業の創出と企業立地の推進	27	0.168	23	0.172	15	0.211	19	0.143
3-4 雇用の拡大と就業環境の充実	14	0.202	26	0.164	7	0.251	16	0.156
3-5 地域資源を活かした観光の振興	5	0.240	13	0.220	5	0.258	8	0.200
3-6 移住・定住の促進	11	0.209	19	0.197	4	0.261	24	0.119
3-7 国際・地域間交流の推進	26	0.169	5	0.249	31	0.160	32	0.076
4-1 子ども・子育て支援の充実	31	0.151	31	0.117	27	0.167	25	0.115
4-2 学校教育の充実	23	0.178	18	0.202	27	0.167	30	0.100
4-3 生涯学習の振興と社会教育の充実	18	0.186	15	0.212	14	0.212	28	0.108
4-4 芸術文化・スポーツの振興	22	0.179	12	0.225	22	0.202	31	0.084
5-1 魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成	5	0.240	2	0.291	7	0.251	20	0.133
5-2 快適な道路環境の確保	2	0.252	3	0.272	3	0.267	5	0.226
5-3 公共交通の利便性の向上	3	0.251	1	0.309	2	0.269	10	0.197
5-4 上下水道の適正な運営	20	0.180	24	0.171	16	0.209	23	0.126
5-5 緑豊かなまちづくりの推進	24	0.173	25	0.165	18	0.208	17	0.148
5-6 環境の保全と循環型社会の形成	30	0.157	28	0.149	21	0.204	26	0.109
5-7 地域情報化の推進	20	0.180	9	0.232	24	0.180	26	0.109
6-1 開かれた市政の推進	10	0.218	4	0.258	16	0.209	13	0.179
6-2 持続可能な行財政基盤の確立	14	0.202	15	0.212	11	0.225	18	0.146

※問3「定住意向」の「転出する予定がある」、「わからない」の回答及び無回答を除外して算出

※相関関係が強い順に、各区分6位まで網掛け、青字は相関関係が0.2以上の項目

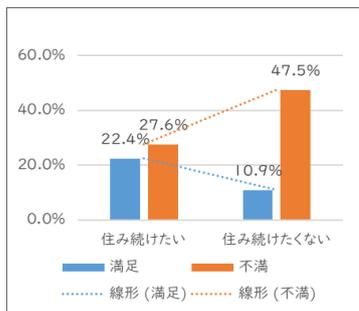
【基本施策の重要度・満足度の状況（ヤング層：39歳以下）】

基本施策	重要度（相関係数）		満足度（満足率％）	
	順位	指標	順位	指標
5-3 公共交通の利便性の向上	1	0.309	19	18.8
5-1 魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成	2	0.291	21	18.2
5-2 快適な道路環境の確保	3	0.272	13	24.4
6-1 開かれた市政の推進	4	0.258	24	16.2
3-7 国際・地域間交流の推進	5	0.249	30	11.0
1-1 地域防災力の向上	6	0.248	19	18.8
1-2 総合的な雪対策の推進	7	0.246	7	28.5
2-5 社会保障制度の適正な運営	8	0.233	17	20.8
5-7 地域情報化の推進	9	0.232	25	15.9
3-2 商工業の振興と中心市街地の活性化	10	0.231	25	15.9
2-2 高齢者福祉の充実	11	0.227	8	27.9
4-4 芸術文化・スポーツの振興	12	0.225	6	29.5
3-5 地域資源を活かした観光の振興	13	0.220	28	14.6
2-6 地域医療体制の充実	14	0.214	10	26.6
4-3 生涯学習の振興と社会教育の充実	15	0.212	14	24.0
6-2 持続可能な行財政基盤の確立	15	0.212	28	14.6
1-6 男女共同参画社会の実現	17	0.211	23	16.9
4-2 学校教育の充実	18	0.202	11	26.5
3-6 移住・定住の促進	19	0.197	25	15.9
2-3 障がい者福祉の充実	20	0.196	12	25.0
2-4 地域福祉の推進	21	0.189	18	18.9
2-1 健康づくりの推進	22	0.175	4	33.8
3-3 新産業の創出と企業立地の推進	23	0.172	31	10.7
5-4 上下水道の適正な運営	24	0.171	4	33.8
5-5 緑豊かなまちづくりの推進	25	0.165	1	39.0
3-4 雇用の拡大と就業環境の充実	26	0.164	32	9.4
1-5 地域コミュニティの活性化	27	0.158	16	23.4
5-6 環境の保全と循環型社会の形成	28	0.149	14	24.0
1-4 安全・安心な生活環境の確保	29	0.135	3	34.5
1-3 消防・救急体制の充実	30	0.126	2	34.7
4-1 子ども・子育て支援の充実	31	0.117	9	27.8
3-1 農林業の振興	32	0.023	22	17.5

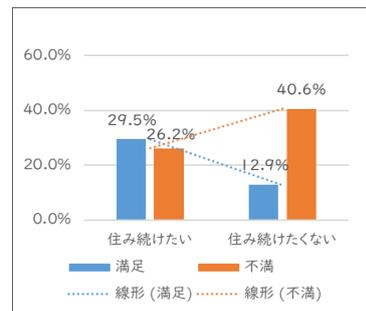
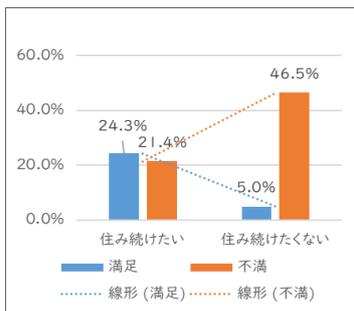
- ・ヤング層（39歳以下）の家族構成は、親と同居している「二世帯世帯」の方が46.4%で最多であり、中学生以下の子どもがいる子育て世帯は、全体の33.7%となっています。また、職業は「会社員・公務員・団体職員」が44.6%、次いで学生19.4%となっており、会社員等と学生の31.8%は市外に通勤・通学しています。
- ・定住意向との相関関係（重要度）は、「公共交通の利便性の向上」が最も高く、次いで「魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成」、「快適な道路環境の確保」の順となっています。
- ・若見沢市に「住み続けたい」と回答した方の施策別の満足と不満の割合を比較すると、「地域防災力の向上」では4.2倍と、満足の割合が不満の割合をやや上回っています。
- ・「国際・地域間交流の推進」については、重要度は5位となっていますが、満足度は30位となっています。
- ・「国際・地域間交流の推進」、「地域防災力の向上」の重要度が他の年齢区分と比較して高い傾向にあるという特徴があります。
- ・「公共交通の利便性の向上」については、若見沢市に「住み続けたい」と回答した方でも、不満の割合が満足の割合を上回っています。

ヤング層（39歳以下）では、公共交通の利便性の向上など、まちとしての機能を維持していくための施策や、魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成、快適な道路環境の確保、国際・地域間交流の推進など、まちの魅力を高める施策に対するニーズが高くなっていることが分かります。

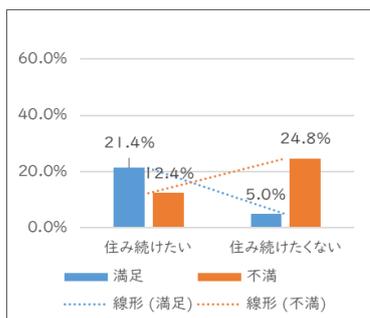
公共交通の利便性の向上



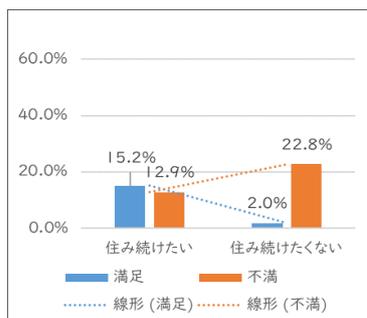
魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成 快適な道路環境の確保



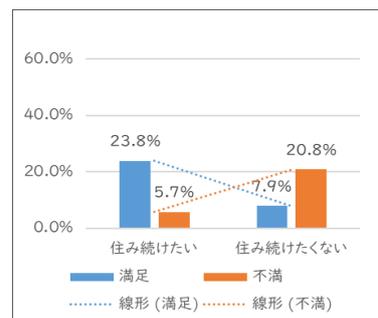
開かれた市政の推進



国際・地域間交流の推進



地域防災力の向上



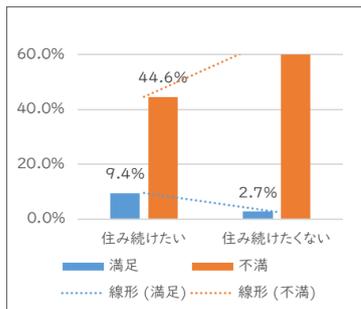
【基本施策の重要度・満足度の状況（ミドル層：40-64歳）】

基本施策	重要度（相関係数）		満足度（満足率％）	
	順位	指標	順位	指標
3-2 商工業の振興と中心市街地の活性化	1	0.271	29	7.6
5-3 公共交通の利便性の向上	2	0.269	24	10.8
5-2 快適な道路環境の確保	3	0.267	11	16.9
3-6 移住・定住の促進	4	0.261	31	6.1
2-2 高齢者福祉の充実	5	0.258	9	17.9
3-5 地域資源を活かした観光の振興	5	0.258	26	9.9
3-4 雇用の拡大と就業環境の充実	7	0.251	30	6.3
5-1 魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成	7	0.251	27	8.4
2-3 障がい者福祉の充実	9	0.237	15	14.2
1-2 総合的な雪対策の推進	10	0.226	2	30.5
6-2 持続可能な行財政基盤の確立	11	0.225	25	10.4
2-6 地域医療体制の充実	12	0.221	12	16.6
2-4 地域福祉の推進	13	0.220	22	12.1
4-3 生涯学習の振興と社会教育の充実	14	0.212	17	13.9
3-3 新産業の創出と企業立地の推進	15	0.211	32	5.3
6-1 開かれた市政の推進	16	0.209	18	13.7
5-4 上下水道の適正な運営	16	0.209	6	23.2
5-5 緑豊かなまちづくりの推進	18	0.208	3	30.0
1-4 安全・安心な生活環境の確保	18	0.208	5	23.8
1-3 消防・救急体制の充実	20	0.205	1	34.6
5-6 環境の保全と循環型社会の形成	21	0.204	14	14.6
4-4 芸術文化・スポーツの振興	22	0.202	7	18.7
2-5 社会保障制度の適正な運営	23	0.188	20	12.9
5-7 地域情報化の推進	24	0.180	21	12.2
2-1 健康づくりの推進	25	0.179	4	29.5
1-6 男女共同参画社会の実現	26	0.169	23	11.9
4-1 子ども・子育て支援の充実	27	0.167	10	17.4
4-2 学校教育の充実	27	0.167	8	18.4
1-1 地域防災力の向上	29	0.165	15	14.2
1-5 地域コミュニティの活性化	29	0.165	13	16.4
3-7 国際・地域間交流の推進	31	0.160	28	8.1
3-1 農林業の振興	32	0.131	19	13.4

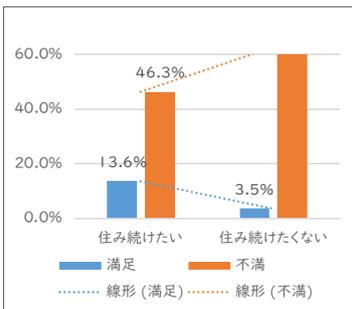
- ・ミドル層（40-64 歳）の家族構成は、中学生以下の子どもがいる「二世帯世帯」が 45.2%で最多であり、子育て世帯は全体の 21.0%となっています。
- また、職業は「会社員・公務員・団体職員」が 47.8%で最多となっており、そのうち 84.1%は市内に、15.9%は市外に通勤しています。
- ・定住意向との相関関係（重要度）は、「商工業の振興と中心市街地の活性化」が最も高く、次いで「公共交通の利便性の向上」、「快適な道路環境の確保」の順となっています。
- ・岩見沢市に「住み続けたい」と回答した方の施策別の満足と不満の割合を比較すると、「高齢者福祉の充実」では 1.1 倍と、満足の割合が不満の割合をやや上回っています。
- ・「移住・定住の促進」については、重要度は 4 位となっていますが、満足度は 31 位となっています。
- ・「移住・定住の促進」、「商工業の振興と中心市街地の活性化」の重要度が他の年齢区分と比較して高い傾向にあるという特徴があります。
- ・「高齢者福祉の充実」については、岩見沢市に「住み続けたい」と回答した方でも、不満の割合が満足の割合をやや上回っています。

ミドル層（40-64 歳）では、商工業の振興と中心市街地の活性化や公共交通の利便性の向上など、まちとしての機能を維持していくための施策や、観光や移住・定住の促進、快適な道路環境の確保など、まちの魅力を高める施策に対するニーズが高くなっていることが分かります。

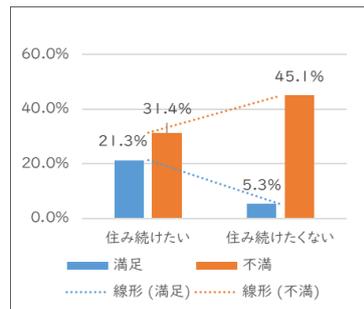
商工業の振興と中心市街地の活性化



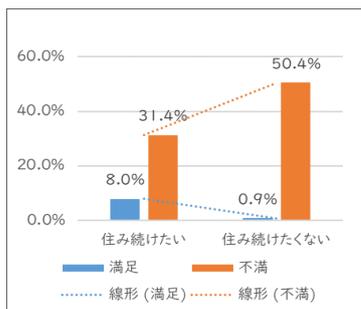
公共交通の利便性の向上



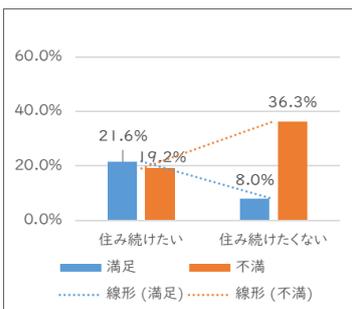
快適な道路環境の確保



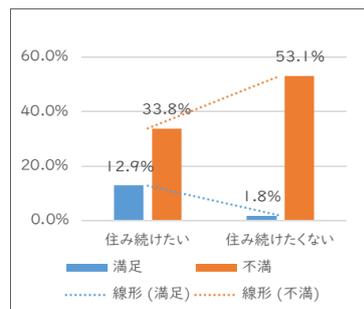
移住・定住の促進



高齢者福祉の充実



地域資源を活かした観光の振興



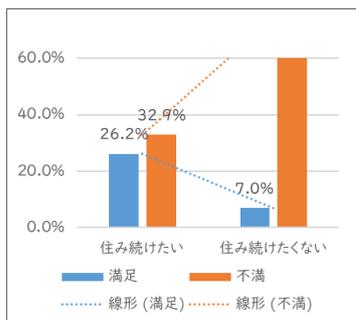
【基本施策の重要度・満足度の状況（シニア層：65歳以上）】

基本施策	重要度（相関係数）		満足度（満足率％）	
	順位	指標	順位	指標
1-2 総合的な雪対策の推進	1	0.335	6	25.1
2-5 社会保障制度の適正な運営	2	0.253	12	18.0
2-6 地域医療体制の充実	3	0.249	8	21.6
2-2 高齢者福祉の充実	4	0.234	7	24.8
5-2 快適な道路環境の確保	5	0.226	10	18.4
2-4 地域福祉の推進	6	0.213	22	10.5
1-4 安全・安心な生活環境の確保	7	0.210	5	25.7
3-5 地域資源を活かした観光の振興	8	0.200	25	9.8
2-3 障がい者福祉の充実	9	0.199	19	12.4
5-3 公共交通の利便性の向上	10	0.197	23	10.2
3-2 商工業の振興と中心市街地の活性化	11	0.195	28	6.4
1-3 消防・救急体制の充実	12	0.192	1	38.3
6-1 開かれた市政の推進	13	0.179	16	15.2
1-1 地域防災力の向上	14	0.170	13	17.0
1-5 地域コミュニティの活性化	15	0.169	11	18.1
3-4 雇用の拡大と就業環境の充実	16	0.156	31	3.2
5-5 緑豊かなまちづくりの推進	17	0.148	4	28.9
6-2 持続可能な行財政基盤の確立	18	0.146	18	12.9
3-3 新産業の創出と企業立地の推進	19	0.143	32	2.6
5-1 魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成	20	0.133	26	9.4
3-1 農林業の振興	21	0.130	27	9.2
2-1 健康づくりの推進	22	0.128	2	37.8
5-4 上下水道の適正な運営	23	0.126	3	29.4
3-6 移住・定住の促進	24	0.119	30	4.8
4-1 子ども・子育て支援の充実	25	0.115	20	11.8
5-7 地域情報化の推進	26	0.109	20	11.8
5-6 環境の保全と循環型社会の形成	26	0.109	17	13.5
4-3 生涯学習の振興と社会教育の充実	28	0.108	14	15.4
1-6 男女共同参画社会の実現	29	0.101	24	10.1
4-2 学校教育の充実	30	0.100	14	15.4
4-4 芸術文化・スポーツの振興	31	0.084	9	19.9
3-7 国際・地域間交流の推進	32	0.076	29	5.7

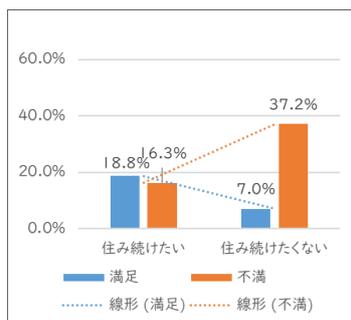
- ・シニア層（65歳以上）の家族構成は、「夫婦のみ」の世帯が51.6%で最多であり、次いで、「ひとり暮らし」18.2%となっています。
- また、職業は「無職」が54.5%で最多となっています。
- ・定住意向との相関関係（重要度）は、「総合的な雪対策の推進」が最も高く、次いで「社会保障制度の適正な運営」、「地域医療体制の充実」の順となっています。
- ・岩見沢市に「住み続けたい」と回答した方の施策別の満足と不満の割合を比較すると、「高齢者福祉の充実」では1.4倍、「地域医療体制の充実」では1.3倍と、満足の割合が不満の割合をやや上回っています。
- ・「地域福祉の推進」については、重要度は6位になっていますが、満足度は22位となっています。
- ・「総合的な雪対策の推進」、「社会保障制度の適正な運営」の重要度が他の年齢区分と比較して高い傾向にあるという特徴があります。
- ・「社会保障制度の適正な運営」、「地域医療体制の充実」、「高齢者福祉の充実」については、岩見沢市に「住み続けたい」と回答した方でも、不満の割合が満足の割合を上回っています。

シニア層（65歳以上）では、総合的な雪対策や地域医療体制など、安全・安心に関する施策、快適な道路環境の確保といった、まちの魅力を高める施策、社会保障制度や高齢者福祉などの福祉施策に対するニーズが高くなっていることが分かります。

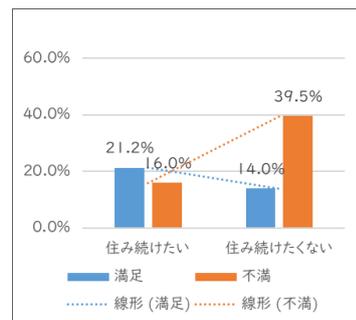
総合的な雪対策の推進



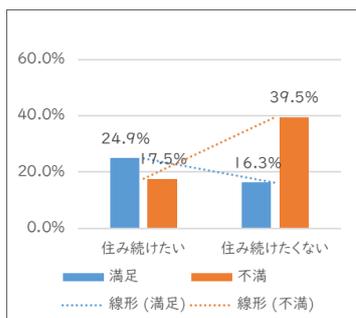
社会保障制度の適正な運営



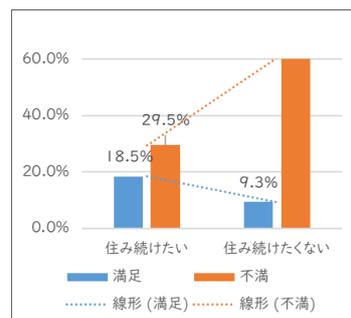
地域医療体制の充実



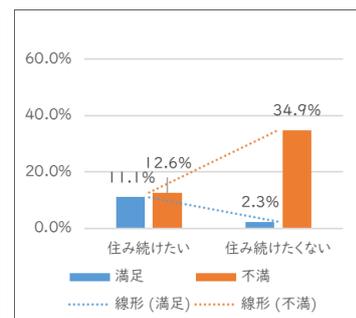
高齢者福祉の充実



快適な道路環境の確保



地域福祉の推進



参 考 资 料

「第6期岩見沢市総合計画」の基本施策等に関する 市民意識調査 ご協力をお願い

市民の皆さまには、岩見沢市のまちづくりにご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、平成30年度から令和9年度までの10年間を計画期間とする「第6期岩見沢市総合計画」に基づき、将来の都市像「人と緑とまちがつながりともに育み未来をつくる健康経営都市」をめざし、様々な施策に取り組んでおります。

本調査は、令和4年度に行う「第6期岩見沢市総合計画」の中間検証に向けて、市民の皆さまの施策に関する満足度等の現状を把握し、今後のまちづくりの参考とするため、アンケート調査を実施するものです。

お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解のうえ、率直なご意見をいただきますようお願い致します。

令和3年10月

岩見沢市長 松野 哲

[記入上の注意]

1. お送りしたあて名のご本人がお答えください。（ご本人の記入が難しいときは、ご本人の意向に沿って代理の方が記入いただいても構いません。）
 2. 回答者のお名前を記入する必要はありません。
 3. ご回答は、設問ごとに（○は1つ）（○は3つまで）などと指定されています。選択肢の番号を○で囲んでください。（濃く記入してください。）
 4. 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて、**10月31日（日）**までに郵便ポストに投函してください。（切手は不要です）
- ※ この調査は、18歳以上の市民の中から無作為に抽出した4,000人の方を対象に送付しています。皆さまのご回答は統計的に処理され、個人が特定されたり、調査目的以外で使用することは一切ありません。

【お問い合わせ先】岩見沢市企画財政部企画室
〒068-8686 岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号
TEL：0126-23-4111（内413）
FAX：0126-23-9977

【この調査はパソコンやスマートフォン等で回答いただくことも可能です】

インターネットを通じてご回答いただく場合は、下記回答フォームURL又はQRコードから回答フォームにアクセスの上、**10月31日（日）**までにご回答をお願いいたします。（調査票の送付は不要です。）

インターネット回答 トップページURL
<https://www.harp.lg.jp/eNkf8sRi>



問1 あなた（回答者）のことについてうかがいます。（それぞれ1つに○）

1. 年 齢	1. 19歳以下 2. 20～24歳 3. 25～29歳 4. 30～34歳 5. 35～39歳 6. 40～44歳 7. 45～49歳 8. 50～54歳 9. 55～59歳 10. 60～64歳 11. 65～69歳 12. 70～74歳 13. 75～79歳 14. 80歳以上
2. 性 別	1. 男性 2. 女性 3. その他
3. お住まいの地区	1. 幌向・上幌向・中幌向・御茶の水・双葉 2. 上志文・朝日・毛陽・清水・奈良・宝水 3. 峰延・稔・桜木・元町・西川・有明・若松・北本町・緑町・北条丁目 4. 東条丁目・東山・日の出・栄町・東町・鳩が丘・若駒・かえで・岡山・大願 5. 大和 6. 西条丁目・並木・美園・南町・駒園・緑が丘・春日・金子・志文・下志文・ふじ 7. 北村地区 8. 栗沢地区 (9の地区を除く) 9. 栗沢町宮村・美流渡・万字
4. 岩見沢市での居住歴 ※旧北村・栗沢町での居住歴を含む	1. 5年未満 2. 5年以上10年未満 3. 10年以上20年未満 4. 20年以上
5. 住まいの形態	1. 自己（家族）所有 2. 借家（一戸建て） 3. 賃貸アパート・マンション 4. 社宅・官舎・寮 5. その他
6. 家族構成	1. ひとり暮らし…(8)へ 2. 夫婦のみ …(8)へ 3. 二世帯世帯 …(7)へ 4. 三世帯世帯 …(7)へ 5. その他 …(7)へ
7. 中学生以下の子ども ※6で3～5を選択した方	1. いる 2. いない

8. 職 業	1. 自営業・家業 …(9)へ 2. 会社役員 …(9)へ 3. 会社員・公務員 …(9)へ 4. パート・アルバイト ・団体職員 …(9)へ ・派遣社員 …(9)へ 5. 学生 …(9)へ 6. 専業主夫・主婦…問2へ 7. 無職 …問2へ 8. その他 …問2へ
9. 通勤・通学先 ※8で1～5を選択した方	1. 市内 2. 市外 →該当する市町村に○をつけてください。 (ア 札幌市 イ 美唄市 ウ 三笠市 エ 江別市 オ 栗山町 カ その他の市町村)

問2 あなたは、岩見沢市は暮らしやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

1. 思う	2. 少し思う	3. どちらともいえない
4. あまり思わない	5. 思わない	

問3 あなたは、これからも岩見沢市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

1. 住み続けたい	2. できれば住み続けたい
3. できれば住み続けたくない	4. 住み続けたくない
5. 転出する予定がある	6. わからない

問4 あなたは、進学・就職・結婚・出産・定年・退職・病気や事故など、人生の転機を迎えたとき、岩見沢市から転出する必要があると思いますか。(○は1つ)

1. 転出が必要だと思う …問4-1へ	2. 少しそう思う …問4-1へ
3. どちらともいえない …問5へ	4. あまりそうは思わない …問5へ
5. 転出が必要だとは思わない …問5へ	

問4-1 問4で「1. 転出が必要だと思う」、「2. 少しそう思う」と答えた方にお聞きします。転出が必要だと思う「転機」を以下の項目のあてはまるものを選んでください。
(あてはまるものすべてに○)

1. 進学	2. 就職	3. 結婚
4. 出産	5. 転職・転勤	6. 定年・退職
7. 病気や事故	8. 自身の要介護化	9. 家族の要介護化
10. 免許返納	11. 同居家族・親族の転出・死別	12. 友人・知人等の転出・死亡
13. その他()		

問5 岩見沢市では、平成27年に「まちづくり基本条例」を制定し、市民主体による自主自立のまちづくりに取り組んでいます。あなたは、「まちづくり基本条例」をご存知ですか。(○は1つ)

1. よく知っている	2. ある程度知っている	3. あまり知らない
4. 全く知らない		

問6 雪対策についてうかがいます。

(1) あなたのご自宅では、主にどなたが除雪作業を担っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 自分	2. 夫(妻)	3. 同居の家族	4. 別居の親族	5. 近所の人
6. 民間事業者	7. 除雪の必要がない	8. その他()		

(2) 岩見沢市では、平成24年の豪雪の教訓から、「迅速・的確な除排雪対応」「情報提供の充実」「高齢者等の除雪弱者への支援(注)」といった『総合的な雪対策』に取り組んでいます。
あなたは、岩見沢市の『総合的な雪対策』をどのように評価しますか。(○は1つ)

1. 評価する	2. ある程度評価する	3. どちらともいえない
4. あまり評価しない	5. 評価しない	

(注)高齢者等の除雪弱者への支援

町会等が実施する除雪ボランティアへの支援、高齢者世帯等への雪下ろし助成、間口除雪助成、定期排雪助成、大雪時の市職員による高齢者世帯等の見回り・除雪支援

問7 第6期岩見沢市総合計画における基本施策についてうかがいます。
以下の項目の「現在の満足度」について、あなたの考えに一番近いものを選んでください。
(1から33について、それぞれ1つに○)

記入例 ⇒

	十分満足	まあ満足	ふつう	やや不満	満ち足りた
	1	2	3	4	5
1 地域防災力の向上 (防災対策の推進、防災意識の啓発と高揚)	1	2	3	4	5
2 総合的な雪対策の推進 (冬期間における安全・安心な生活環境の実現、協働による雪対策の推進)	1	2	3	4	5
3 消防・救急体制の充実 (消防力の強化、火災予防対策の推進、救急・救助体制の充実)	1	2	3	4	5
4 安全・安心な生活環境の確保 (交通安全対策の推進、防犯対策の推進、消費生活の安全確保)	1	2	3	4	5
5 地域コミュニティの活性化 (地域コミュニティの振興、市民活動の促進)	1	2	3	4	5
6 男女共同参画社会の実現 (男女共同参画への意識づくり、男女共同参画社会実現への環境整備)	1	2	3	4	5
7 健康づくりの推進 (健康づくりの推進、健康管理と病気の予防)	1	2	3	4	5
8 高齢者福祉の充実 (地域で安心して暮らせる環境づくり、生きがいと健康づくりの推進、介護保険サービスの充実)	1	2	3	4	5
9 障がい者福祉の充実 (地域生活支援体制の充実、コミュニケーションと社会参加の推進)	1	2	3	4	5
10 地域福祉の推進 (地域福祉の支援体制の充実、意識の高揚と担い手の育成・支援)	1	2	3	4	5
11 社会保障制度の適正な運営 (国民健康保険事業の適正な運営、後期高齢者医療制度の円滑な運用、国民年金制度の啓発、生活困窮者への支援の充実)	1	2	3	4	5
12 地域医療体制の充実 (地域医療体制の整備、市立病院の医療の充実、救急医療体制の充実)	1	2	3	4	5
13 農林業の振興 (農業所得の向上、担い手の育成・確保、農村地域の振興、森林の整備・保全と活用)	1	2	3	4	5
14 商工業の振興と中心市街地の活性化 (中小企業の活性化と経営基盤の強化、中心市街地の活性化)	1	2	3	4	5
15 新産業の創出と企業立地の推進 (新産業の創出支援、企業立地の推進)	1	2	3	4	5
16 雇用の拡大と就業環境の充実 (雇用機会の拡大、就業環境の充実)	1	2	3	4	5

記入例 ⇒

	十分 い満 る足	しま てあ い満 る足	ふ つ う	でや あや る不 満	満か でな りあ る不
	1	2	3	4	5
17 地域資源を活かした観光の振興 (観光資源の魅力向上、観光誘客の推進)	1	2	3	4	5
18 移住・定住の促進 (移住・定住施策の推進、シティプロモーションの推進)	1	2	3	4	5
19 国際・地域間交流の推進 (国際交流と多文化共生の推進、地域間交流の推進)	1	2	3	4	5
20 子ども・子育て支援の充実 (安心して子育てできるまちづくり、子どもの健やかな成長を支えるまちづくり、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援)	1	2	3	4	5
21 学校教育の充実 (生きる力を育む教育の推進、安心して学べる教育環境の充実、特色ある高等学校教育の推進)	1	2	3	4	5
22 生涯学習の振興と社会教育の充実 (多様な学びの機会の提供、学習環境の充実)	1	2	3	4	5
23 芸術文化・スポーツの振興 (芸術文化の振興、文化財や郷土芸能の保存と継承、スポーツの振興、地域における大学との連携)	1	2	3	4	5
24 魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成 (魅力ある都市空間の構築、安全で快適な住まいの実現)	1	2	3	4	5
25 快適な道路環境の確保 (道路網の整備、安全で快適な道路環境の維持)	1	2	3	4	5
26 公共交通の利便性の向上 (地域公共交通体系の再構築、広域的な公共交通の維持)	1	2	3	4	5
27 上下水道の適正な運営 (良質な水の安定供給、生活排水の適切な処理、上下水道事業の健全な経営)	1	2	3	4	5
28 緑豊かなまちづくりの推進 (緑の街並みと自然環境の保全、公園・緑地の機能再編と適正管理)	1	2	3	4	5
29 環境の保全と循環型社会の形成 (環境保全活動の推進、循環型社会の形成)	1	2	3	4	5
30 地域情報化の推進 (地域情報化の推進)	1	2	3	4	5
31 開かれた市政の推進 (広報活動の充実、市民参画による政策形成、情報公開の充実)	1	2	3	4	5
32 持続可能な行財政基盤の確立 (市民サービスの充実、効率的・効果的な行政運営の推進、組織運営の最適化、健全な財政運営の確保、公共施設の適正配置、広域行政の推進)	1	2	3	4	5
33 岩見沢市の施策に対する総合的な満足度 (1～32の施策に対する総合評価)	1	2	3	4	5

問8 あなたの普段の生活や関心についてうかがいます。
 以下の項目について、あなたの考えに近いものを選んでください。
 (それぞれ1つに○)

記入例 ⇒

	は ま て る も あ て	ま る し あ て は	い え ち な ら い も	は あ ま ら り な い て	ま あ ら な い て は
	1	2	3	4	5
1 ごみの減量・分別や省エネルギーなど、環境への配慮を心がけている	1	2	3	4	5
2 年に1回以上は公園や緑地を利用している	1	2	3	4	5
3 自宅でインターネットをよく利用している	1	2	3	4	5
4 通勤、通学、買い物、通院等で公共交通機関を利用している	1	2	3	4	5
5 日常の移動手段としての公共交通の必要性を感じている	1	2	3	4	5
6 自分は健康な方であると思う	1	2	3	4	5
7 健康のために普段から取り組んだり、心がけていることがある	1	2	3	4	5
8 ある程度、親しくしている人が隣近所にいる	1	2	3	4	5
9 地域で困っている人を助けたり、声をかけたりしたことがある	1	2	3	4	5
10 日頃から、趣味・教養・学習・文化活動等を行っている	1	2	3	4	5
11 スポーツ等を通じて定期的に体を動かしている	1	2	3	4	5
12 会合や趣味、サークル活動等で市の施設をよく利用している	1	2	3	4	5
13 農産物はできるだけ地元産を購入するようにしている	1	2	3	4	5
14 日常の買い物は市の中心市街地ですることが多い	1	2	3	4	5
15 日常の買い物支援の必要性を感じている (移動販売や宅配サービスなど)	1	2	3	4	5
16 市民が参画するまちづくりに関心がある	1	2	3	4	5
17 地縁的な活動を行っている (町会・自治会、女性部、青年団、子ども会など)	1	2	3	4	5
18 ボランティア・NPO・市民活動を行っている (まちづくり、高齢者・障がい者福祉や子育て、スポーツ指導、美化、防犯・防災、環境、国際協力活動など)	1	2	3	4	5
19 岩見沢市に誇りや愛着を感じている	1	2	3	4	5

	は ま ま る も あ て	と ま る 少 し あ て は	い ど え ち な ら い と も	は あ ま り あ い て	ま ら な い は	全 く あ い て は
(それぞれ1つに○)	1	2	3	4	5	
記入例 ⇒	1	2	3	4	5	
20 岩見沢市の市政や財政運営に関心がある	1	2	3	4	5	
21 スマートフォンはあなたの生活に欠かせないものになっている	1	2	3	4	5	
22 ネットショッピングやネットスーパー等をよく利用している	1	2	3	4	5	
23 家庭や職場以外に、大切にしている場所（居場所）が市内にある	1	2	3	4	5	
24 友人や知人などと、プライベートでよく交流している	1	2	3	4	5	
25 外出時に、あなたをクルマで送迎してくれる家族や友人がいる	1	2	3	4	5	
26 外出時に、あなたがクルマで送迎する必要のある家族や友人がいる	1	2	3	4	5	

問9 防災に関する意識についてうかがいます。

(1) あなたの生活の中で、特に不安に思う災害を次の中から選んでください。
(○は2つまで)

1. 地震	2. 豪雨・洪水	3. 暴風・竜巻	4. 豪雪・暴風雪
5. 地滑り・土砂崩れ	6. 大規模停電	7. その他 ()	

(2) あなたのご家庭では、地震や風水害などの災害に対して、どのような備えをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 災害のときに家族と連絡を取り合う（安否確認）方法を決めている
2. 災害で連絡がつかないときに家族が集まる場所（実家など）を決めている
3. 家具が倒れないよう壁や天井に固定している
4. 食器棚に食器の飛び出しを防止する器具を設置している
5. 自宅の窓ガラスの飛散防止対策をしている
6. 自宅から一番近い避難所とそこまでの経路を知っている
7. 食料や水などの非常食を常備している

8. トイレtp紙ペーパーなどの生活必需品を多めに常備している
9. 自宅に消火器を設置している
10. 貴重品や食料、着替えを入れたバッグなど、すぐに避難できる準備をしている
11. 停電のときでも使えるストーブが自宅にある
12. 自宅が停電のときでも携帯電話の充電ができる
(電池式・太陽光発電式の充電器を所有、自宅に発電設備があるなど)
13. 自宅が停電のときでも調理ができる
(プロパンガスを使用、カセットガスコンロと多めの予備ボンベを常備など)
14. 懐中電灯やランタンが自宅にある
15. 地域で実施している防災訓練に参加している
16. 地震や防災に関するニュースなどをチェックしている
17. その他 ()
18. 何もしていない

(3) 災害が発生した場合、防災情報をどのような方法で入手することを想定していますか。
(○は2つまで)

1. テレビ (ニュース、地デジ広報など)
2. ラジオ (3の緊急告知FMラジオを除く)
3. 緊急告知FMラジオ
4. パソコン (インターネット、防災メールなど)
5. スマートフォン・携帯電話 (アプリ、SNS、防災メールなど)
6. 市の広報車
7. その他 ()

緊急告知FMラジオ

「避難勧告」など災害時に必要な緊急情報について、市がFMはまなすの放送に割り込んでお伝えすることができる専用ラジオ



問11 市内であなたがプライベートの目的でよく訪れる場所と、その頻度について、あてはまるものに○をし、該当する項目に日数を記入してください。

場所	町会・自治会活動	サークル活動(部活動等含む)	その他
(例)総合体育館でウォーキングや卓球サークル活動の場合 ③. 公共施設	日/月	9日/月	15日/月
(例)両親が暮らす実家で過ごしている場合 ⑨. 友人宅、親族宅	日/月	日/月	10日/月
1. 買物施設	日/月	日/月	日/月
2. 医療施設	日/月	日/月	日/月
3. 公共施設 (市役所、いわなび、図書館、北村温泉ほか)	日/月	日/月	日/月
4. 公園・緑地 (いわみざわ公園、地域の公園ほか)	日/月	日/月	日/月
5. 飲食店(主に食事を目的)	日/月	日/月	日/月
6. 飲食店(主に飲酒を目的)	日/月	日/月	日/月
7. 娯楽(主に屋内)施設	日/月	日/月	日/月
8. 屋外レジャー施設 (パークゴルフ場・グリーンランドほか)	日/月	日/月	日/月
9. 友人宅、親族宅	日/月	日/月	日/月
10. 自宅からオンラインでのプライベートな会合	日/月	日/月	日/月
11. その他 (自由記述：)	日/月	日/月	日/月

問12 最後に、市政に対するご意見、ご提案等がございましたらご記入ください。

お忙しいところ多数の質問にお答えいただきまして、ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて10月31日(日)までに郵便ポストに投函してください。
インターネットから回答される場合は投函不要です。

